

むつ市  
地域福祉計画施策中間評価に関する

---

アンケート調査報告書  
(町内会・団体)

青森県 むつ市  
令和4年3月



## 目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査概要	1
(3)	配布・回収	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	町内会アンケート調査結果	3
1	町内会の概要について	3
(1)	組織形態	3
2	町内会の加入について	9
(1)	町内会の加入状況	9
(2)	町内会に未加入者がいる理由	10
(3)	町内会に全戸加入している理由	10
3	町内会活動について	11
(1)	町内会の活動状況	11
(2)	町内会で力を入れている福祉分野	12
(3)	活動をするうえで困っていること	13
(4)	地域において特に課題となっていること	14
4	むつ市地域福祉計画について	15
(1)	むつ市地域福祉計画の認知度	15
(2)	地域福祉に関する取り組み状況	16
5	行政・関係機関との連携について	25
(1)	行政機関との協働の形態	25
(2)	行政や社会福祉協議会に望むこと	26
6	意識・行動の変化について	27
(1)	感染症拡大による活動への影響	27
(2)	感染症拡大にともなう町内会運営の悩みや不安	27
7	今後の福祉のあり方	28
(1)	むつ市に必要なと思う取り組み	28
(2)	むつ市に最も取り組んでほしいこと	33
III	地域福祉等活動団体アンケート調査結果	34
1	団体の概要について	34

(1) 組織形態	34
(2) 構成人数	34
(3) 活動年数	35
(4) 構成員の平均年齢	36
(5) 主な活動資金	37
2 団体の活動について	38
(1) 活動分野	38
(2) 活動範囲	39
(3) 活動するうえで困っていること	40
(4) 活動の質を向上させるための取り組み	41
3 地域との関わりや交流・連携について	42
(1) 実施している社会的貢献やボランティア活動	42
(2) 社会的貢献やボランティア活動の活動形態	43
(3) 地域において特に課題となっていること	43
(4) 交流・協力関係にある他団体や公共機関	44
(5) 他団体や公共機関などとの交流・協力形式	45
(6) 行政機関との協働の形態	46
(7) 行政と協働するうえで望むこと	46
4 むつ市地域福祉計画について	47
(1) むつ市地域福祉計画の認知度	47
(2) 地域福祉に関する取り組み状況	48
5 今後の福祉のあり方	72
(1) むつ市に必要なと思う取り組み	72
(2) むつ市に最も取り組んでほしいこと	77
IV 資料編	78
1 今後の地域福祉への意見	78
(1) 町内会	78
(2) 地域福祉等活動団体	88
2 調査票	96
(1) 町内会	96
(2) 地域福祉等活動団体	108

# I 調査概要

## 1 調査の目的と実施概要

### (1) 調査の目的

「むつ市地域福祉計画」の推進にあたり、計画の中間年である本年に町内会活動をされている皆様や福祉関係団体等に御意見、活動の状況、福祉課題等をお伺いすることで、地域福祉に対する意識・ニーズの基本動向を把握・分析・整理し、より効果的な取り組みが行えるよう、アンケートを実施しました。

### (2) 調査概要

本調査の対象及び調査方式は、以下のとおりとなっています。

	町内会	地域福祉等活動団体
調査地域	むつ市全域	
調査対象	町内会	地域福祉等活動団体
抽出法	市内の全町内会	市内地域福祉活動団体より抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収	郵送配付・郵送回収
調査期間	令和3年6月18日～年7月9日	令和3年6月18日～年7月9日

### (3) 配布・回収

配布数及び回収結果は以下のとおりとなっています。

	町内会	地域福祉等活動団体
配付数	163 票	125 票
回収数	141 票	84 票
無効回収	0 票	0 票
有効回収数	141 票	84 票
有効回収率	86.5%	67.2%

## 2 集計結果を読む際の留意事項

---

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

### 《 留意事項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。  
（※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。）
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 今回のアンケート調査の地域とは、小学校区別としています。

## Ⅱ 町内会アンケート調査結果

### 1 町内会の概要について

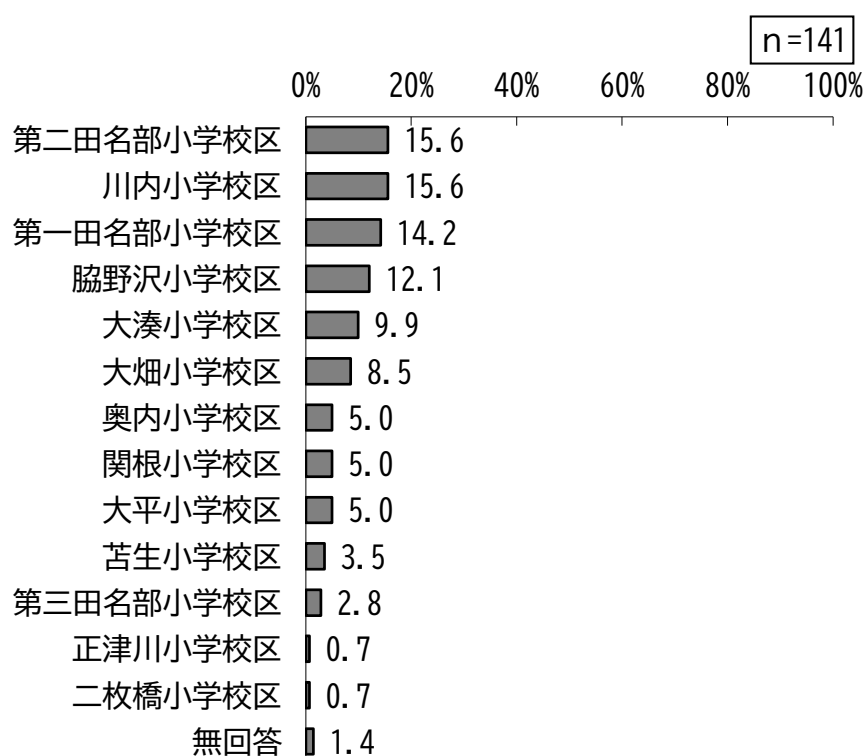
#### (1) 組織形態

問 組織体制等について、教えてください。

##### ① 小学校区（1つに○）

○ 小学校区については、「第二田名部小学校区」、「川内小学校区」がともに15.6%と最も多くなっています。次いで「第一田名部小学校区」が14.2%となっています。

図表Ⅱ-1-1 小学校区



## ② 会長の就任年数

- 会長の就任年数の平均は、7.01 年となっています。

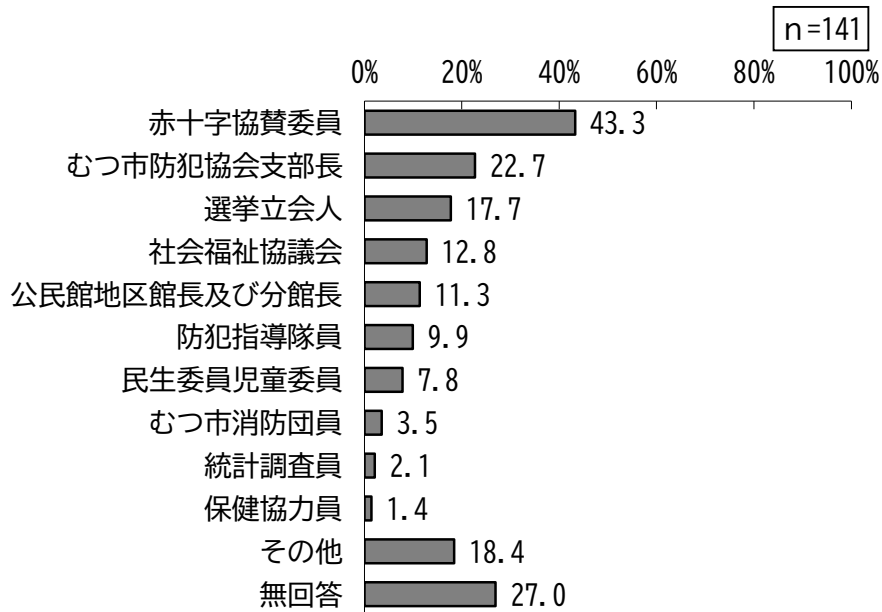
図表Ⅱ-1-2 会長の就任年数（平均）

(n=141)	
就任年数	7.01 年
通算就任年数	8.67 年

## ③ 会長が兼務している他の組織・団体の役員や活動 (あてはまるものすべて○)

- 会長が兼務している他の組織・団体の役員や活動については、「赤十字協賛委員」が 43.3%と最も多くなっています。次いで「むつ市防犯協会支部長」が 22.7%、「選挙立会人」が 17.7%となっています。

図表Ⅱ-1-3 兼務している役員や活動

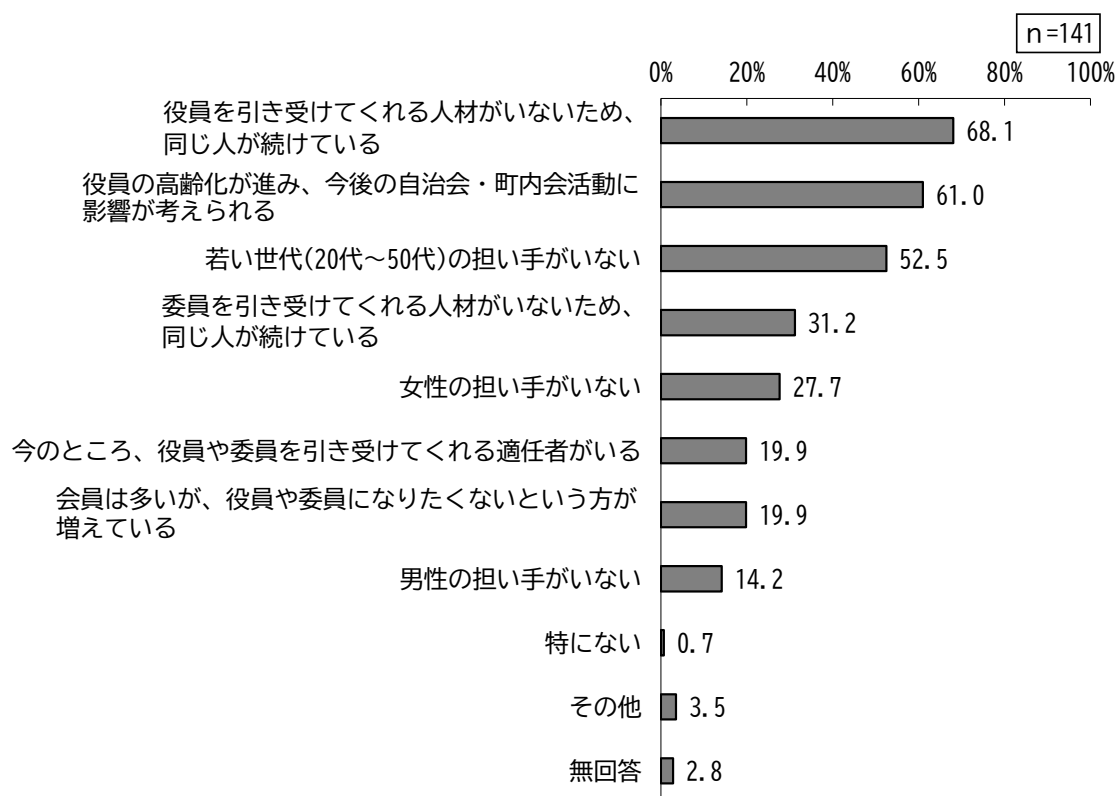




#### ④ 役員や委員の担い手の状況（あてはまるものすべて○）

- 役員や委員の担い手の状況については、「役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている」が 68.1%と最も多くなっています。次いで「役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる」が 61.0%、「若い世代(20代~50代)の担い手がない」が 52.5%となっています。

図表Ⅱ-1-4 役員や委員の担い手の状況



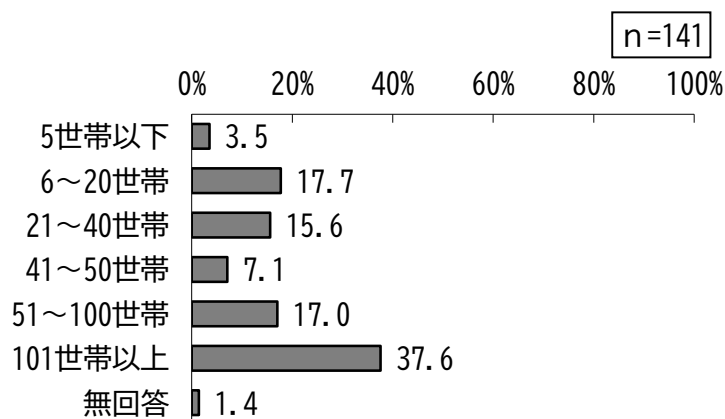
図表Ⅱ-1-5 役員や委員の担い手の状況（地域別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
第一田名部小学校区 (n=20)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 80.0%	役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 70.0%	若い世代の担い手がいない 50.0%
第二田名部小学校区 (n=22)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 59.1%	役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 54.5%	若い世代の担い手がいない 36.4%
苫生小学校区 (n=5)	役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 80.0%	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/若い世代の担い手がいない 60.0%	
第三田名部小学校区 (n=4)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/若い世代の担い手がいない/女性の担い手がいない/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 75.0%		
奥内小学校区 (n=7)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 85.7%	若い世代の担い手がいない/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 42.9%	
関根小学校区 (n=7)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 71.4%		若い世代の担い手がいない 42.9%
大平小学校区 (n=7)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 85.7%	女性の担い手がいない/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 71.4%	
大湊小学校区 (n=14)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 71.4%	委員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/若い世代の担い手がいない/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 57.1%	
川内小学校区 (n=22)	役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 72.7%	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 68.2%	若い世代の担い手がいない 63.6%
大畑小学校区 (n=12)	今のところ、役員や委員を引き受けてくれる適任者がいる 58.3%	若い世代の担い手がいない 41.7%	女性の担い手がいない 33.3%
正津川小学校区 (n=1)	若い世代の担い手がいない/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 100.0%		
二枚橋小学校区 (n=1)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/委員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている/若い世代の担い手がいない/女性の担い手がいない/会員は多いが、役員や委員になりたくないという方が増えている/役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 100.0%		
脇野沢小学校区 (n=17)	役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている 82.4%	役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる 64.7%	若い世代の担い手がいない 58.8%

### ⑤ 町内会の会員世帯数（1つに○）

○ 町内会の会員世帯数については、「101世帯以上」が37.6%と最も多くなっています。次いで「6～20世帯」が17.7%、「51～100世帯」が17.0%となっています。

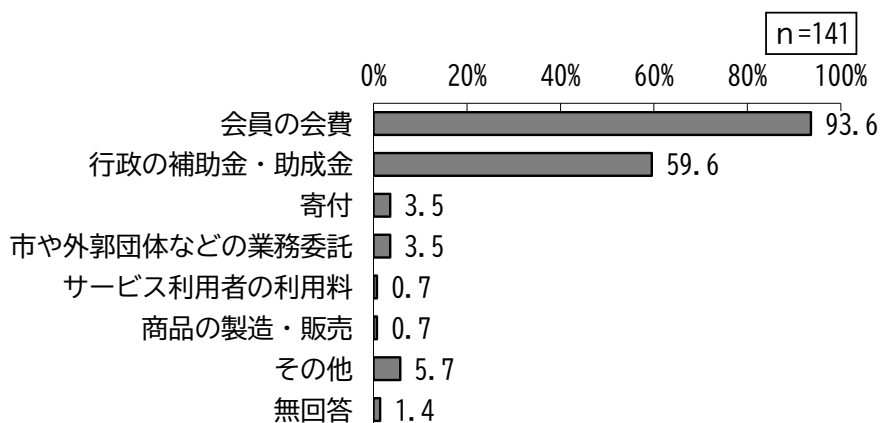
図表Ⅱ-1-6 町内会の会員世帯数



### ⑥ 町内会の主な活動資金（あてはまるものすべて○）

○ 町内会の主な活動資金については、「会員の会費」が93.6%と最も多くなっています。次いで「行政の補助金・助成金」が59.6%、「寄付」、「市や外郭団体などの業務委託」がともに3.5%となっています。

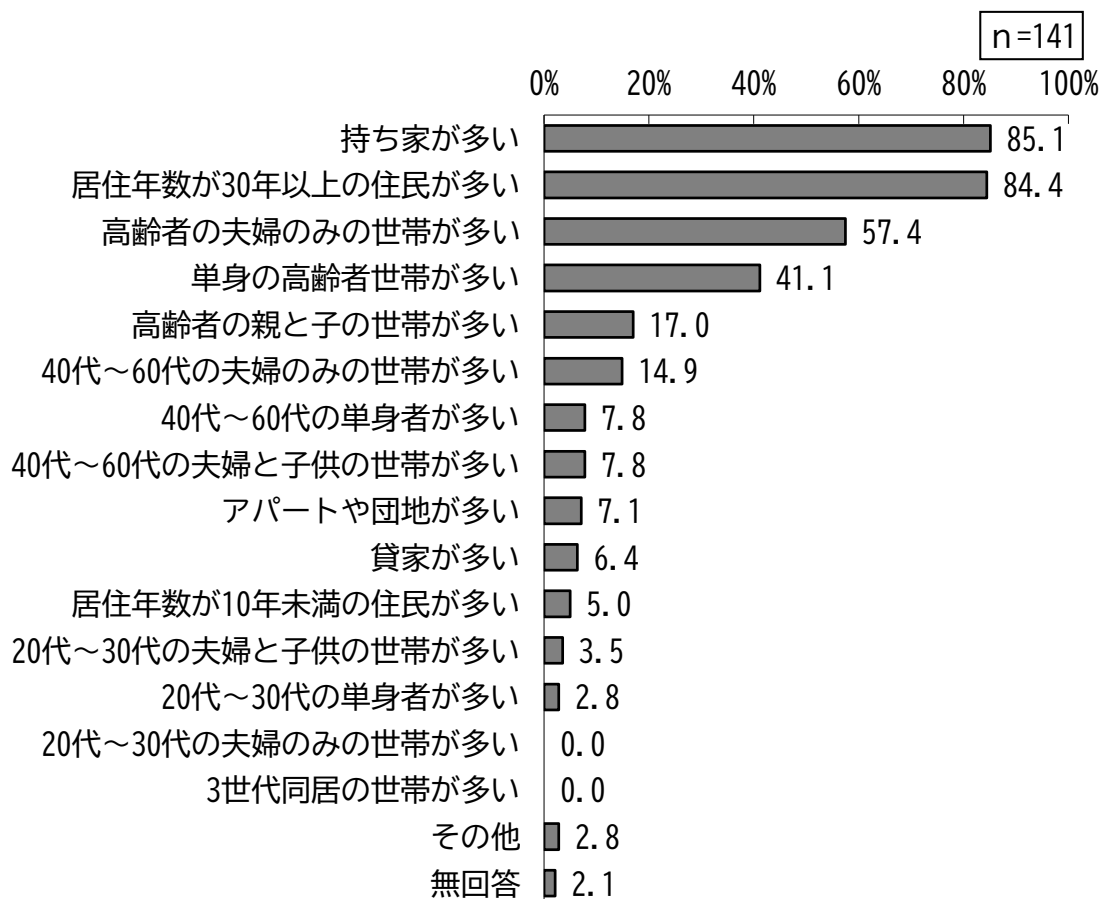
図表Ⅱ-1-7 町内会の主な活動資金



⑦ 地域の特徴（あてはまるものすべて○）

○ 地域の特徴については、「持ち家が多い」が 85.1%と最も多くなっています。次いで「居住年数が 30 年以上の住民が多い」が 84.4%、「高齢者の夫婦のみの世帯が多い」が 57.4%となっています。

図表Ⅱ-1-8 地域の特徴



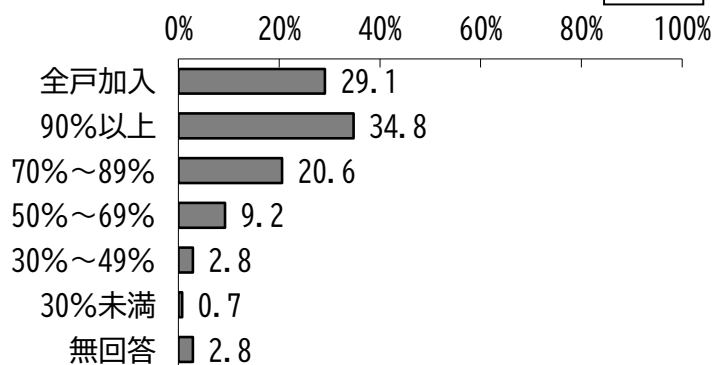
## 2 町内会の加入について

### (1) 町内会の加入状況

問 町内会の加入状況について教えてください。(1つに○)

- 町内会の加入状況については、「90%以上」が 34.8%と最も多くなっています。次いで「全戸加入」が 29.1%、「70%~89%」が 20.6%となっています。

図表Ⅱ-2-1 町内会の加入状況 n=141



図表Ⅱ-2-2 町内会の加入状況 (地域別)

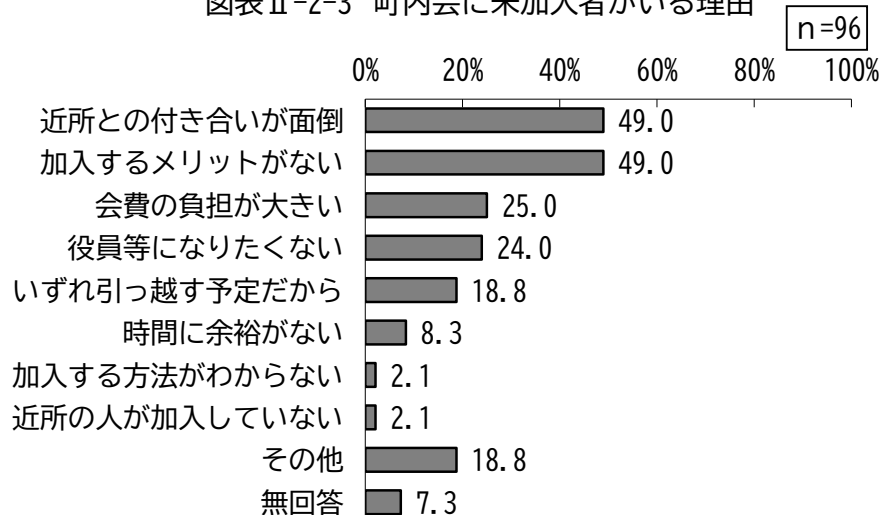
	全戸加入	90%以上	70%~89%	50%~69%	30%~49%	30%未満	無回答
第一田名部小学校区 (n=20)	15.0%	30.0%	30.0%	15.0%	5.0%	0.0%	5.0%
第二田名部小学校区 (n=22)	18.2%	27.3%	27.3%	13.6%	4.5%	4.5%	4.5%
苦生小学校区 (n=5)	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
第三田名部小学校区 (n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
奥内小学校区 (n=7)	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
関根小学校区 (n=7)	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大平小学校区 (n=7)	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
大湊小学校区 (n=14)	35.7%	35.7%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
川内小学校区 (n=22)	45.5%	22.7%	22.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
大畑小学校区 (n=12)	33.3%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
正津川小学校区 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
二枚橋小学校区 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脇野沢小学校区 (n=17)	41.2%	47.1%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## (2) 町内会に未加入者がいる理由

【前問で「2.」～「6.」(未加入者がいる)を選んだ方のみ】  
 問 未加入の理由はなぜだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 前問で町内に「未加入の方がいる」と回答した方(n=96)の未加入の理由については、「近所との付き合いが面倒」、「加入するメリットがない」がともに49.0%と最も多くなっています。次いで「会費の負担が大きい」が25.0%となっています。

図表Ⅱ-2-3 町内会に未加入者がいる理由

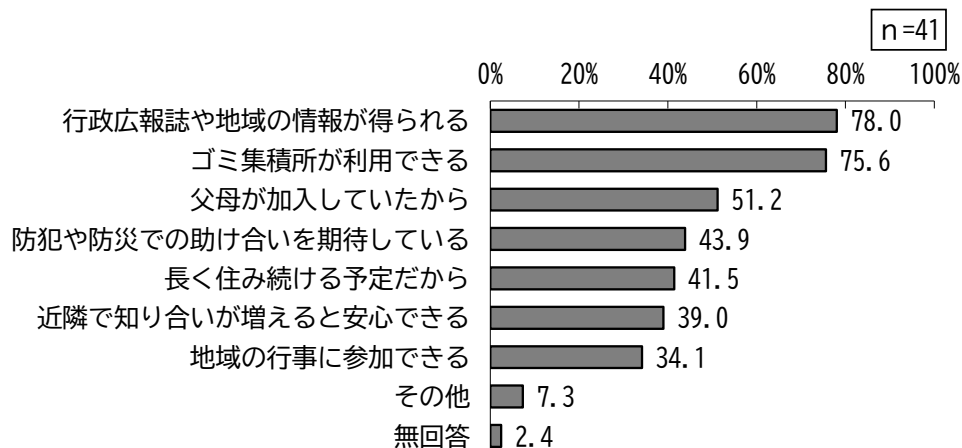


## (3) 町内会に全戸加入している理由

【(1)で「1.全戸加入」を選んだ方のみ】  
 問 全戸加入している理由はなぜだと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- 前問で町内は「全戸加入」と回答した方(n=41)の全戸加入の理由については、「行政広報誌や地域の情報が得られる」が78.0%と最も多くなっています。次いで「ゴミ集積所が利用できる」が75.6%、「父母が入会していたから」が51.2%となっています。

図表Ⅱ-2-4 町内会に全戸加入している理由



### 3 町内会活動について

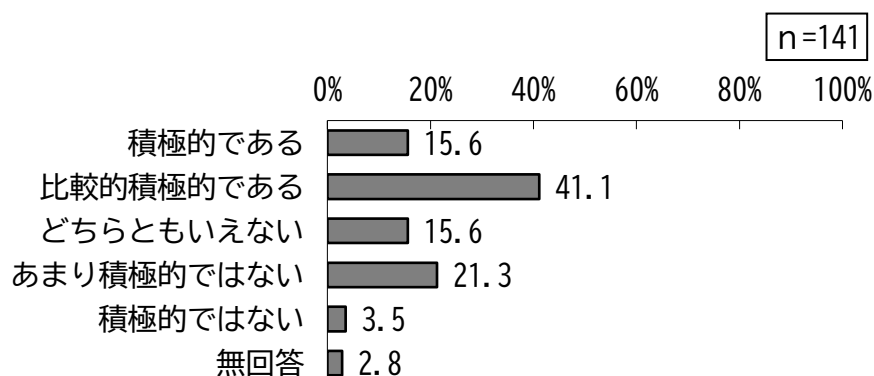
#### (1) 町内会の活動状況

問 町内会の活動状況について、教えてください。

##### ① 行事や活動に対する住民の積極性（1つに○）

- 行事や活動に対する住民の積極性については、「比較的積極的である」が41.1%と最も多くなっています。次いで「あまり積極的ではない」が21.3%、「積極的である」が15.6%となっています。
- 「どちらともいえない」は15.6%となっています。

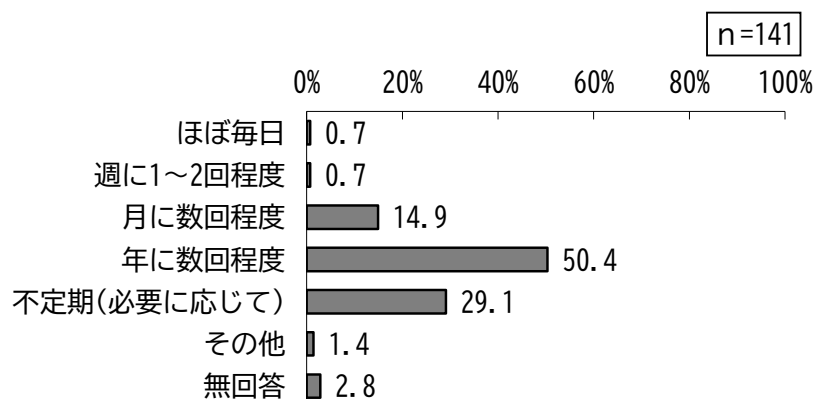
図表Ⅱ-3-1 行事や活動に対する住民の積極性



##### ② 町内会の活動頻度（1つに○）

- 町内会の活動頻度については、「年に数回程度」が50.4%と最も多くなっています。次いで「不定期（必要に応じて）」が29.1%、「月に数回程度」が14.9%となっています。

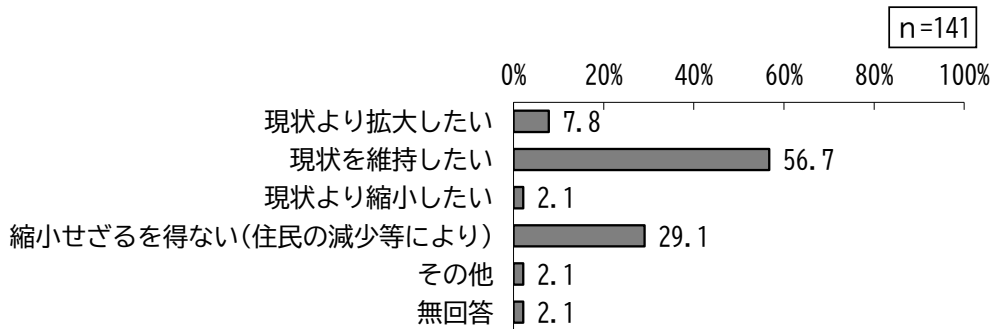
図表Ⅱ-3-2 町内会の活動頻度



### ③ 町内会の規模や活動に関する今後の意向（1つに○）

- 町内会の規模や活動に関する今後の意向については、「現状を維持したい」が56.7%と最も多くなっています。次いで「縮小せざるを得ない（住民の減少等により）」が29.1%、「現状より拡大したい」が7.8%となっています。

図表Ⅱ-3-3 町内会の規模や活動に関する今後の意向

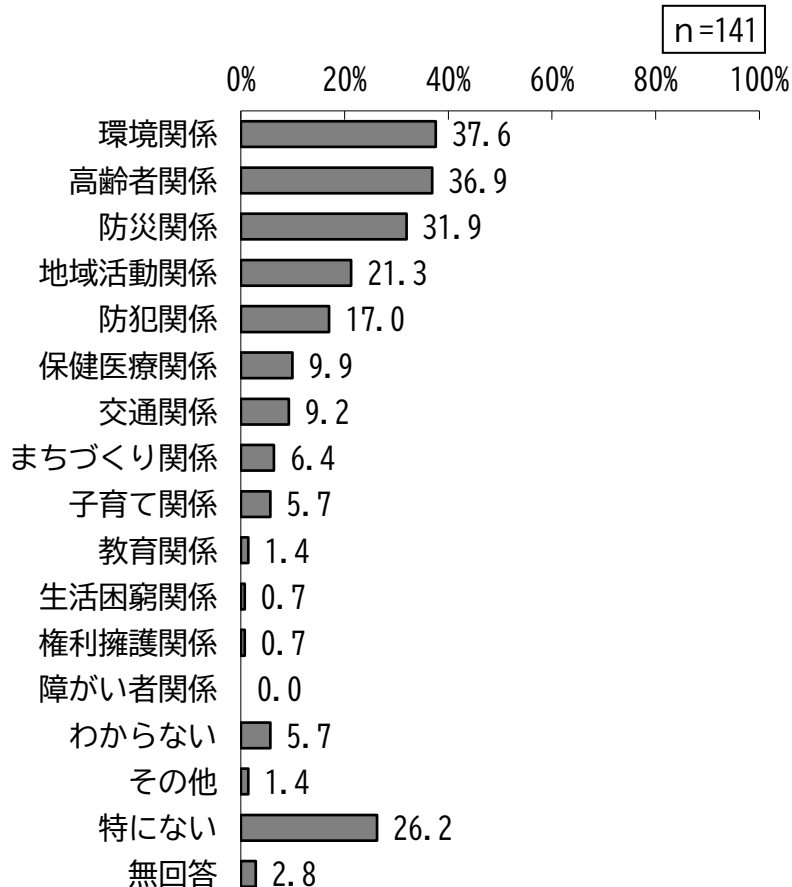


### (2) 町内会で力を入れている福祉分野

問 町内会で力を入れている福祉分野はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 町内会で力を入れている福祉分野については、「環境関係」が37.6%と最も多くなっています。次いで「高齢者関係」が36.9%、「防災関係」が31.9%となっています。

図表Ⅱ-3-4 町内会で力を入れている福祉分野



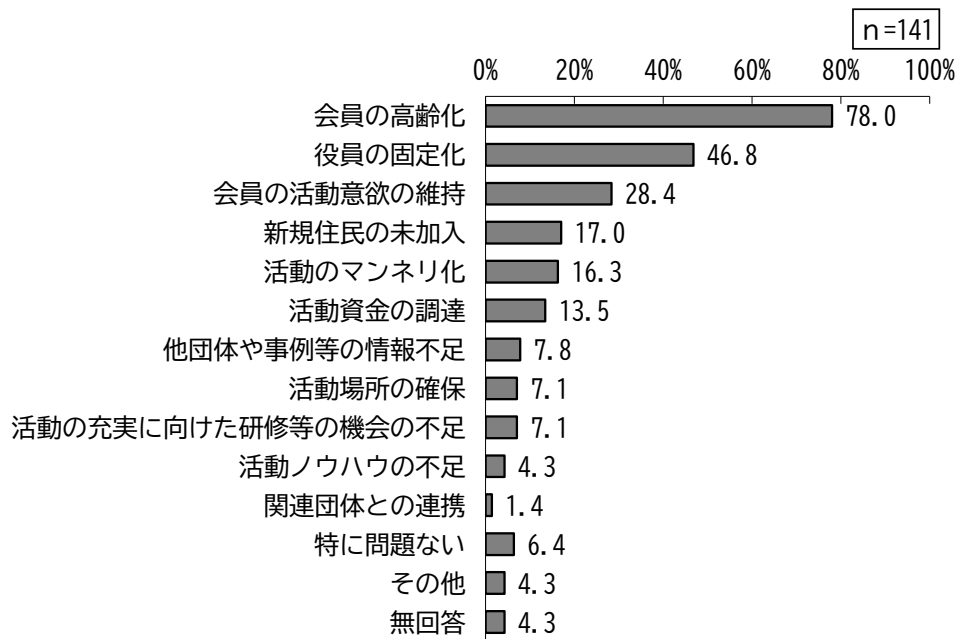


### (3) 活動をするうえで困っていること

問 町内会が活動するうえで、困っていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 活動をするにあたり困っていることについては、「会員の高齢化」が 78.0%と最も多くなっています。次いで「役員の固定化」が 46.8%、「会員の活動意欲の維持」が 28.4%となっています。

図表Ⅱ-3-5 活動をするうえで困っていること

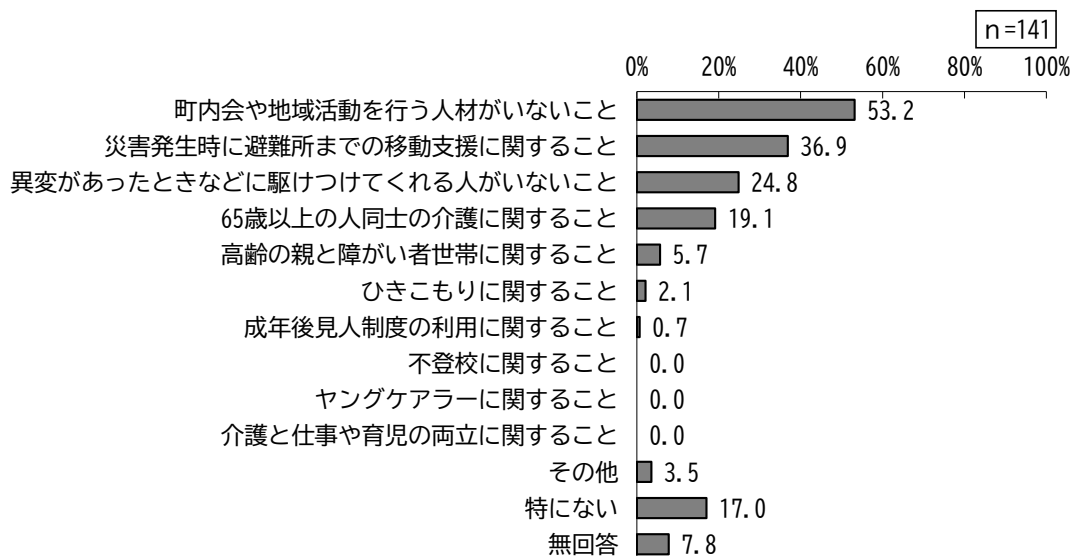


## (4) 地域において特に課題となっていること

問 地域において特に課題となっていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 地域において特に課題となっていることについては、「町内会や地域活動を行う人材がないこと」が53.2%と最も多くなっています。次いで「災害発生時に避難所までの移動支援に関すること」が36.9%、「異変があったときなどに駆けつけてくれる人がいないこと」が24.8%となっています。

図表Ⅱ-3-6 地域において特に課題となっていること



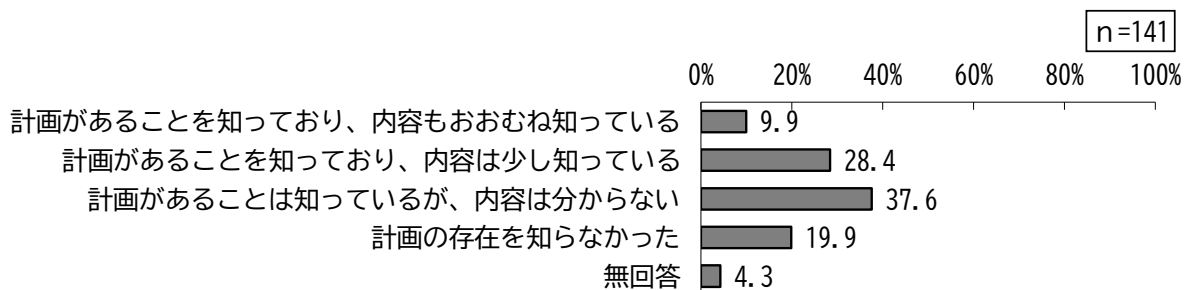
## 4 むつ市地域福祉計画について

### (1) むつ市地域福祉計画の認知度

問 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画を基に地域福祉に関する様々な施策を行っています。この計画について知っていますか。(1つに○)

- むつ市地域福祉計画の認知度については、「計画があることは知っているが、内容は分からない」が 37.6%と最も多くなっています。次いで「計画があることを知っており、内容は少し知っている」が 28.4%、「計画の存在を知らなかった」が 19.9%となっています。

図表Ⅱ-4-1 むつ市地域福祉計画の認知度



## (2) 地域福祉に関する取り組み状況

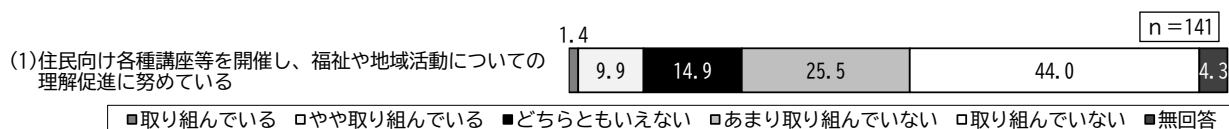
問 「むつ市地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほかに、地域が主体となって取り組めることを記載しています。  
各項目について地域の取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

### 【基本目標1 理解と交流づくり】

#### 施策1 地域を担う人材の育成

- 地域を担う人材の育成の「住民向け各種講座等を開催し、福祉や地域活動についての理解促進に努めている」取り組み状況は、「取り組んでいない」が44.0%と最も多くなっています。次いで「あまり取り組んでいない」が25.5%、「やや取り組んでいる」が9.9%となっています。
- 「どちらともいえない」は14.9%となっています。

図表Ⅱ-4-2 地域を担う人材の育成



		(n=141)	
		回答数	構成比
(1) 住民向け各種講座等を開催し、福祉や地域活動についての理解促進に努めている	1 取り組んでいる	2	1.4%
	2 やや取り組んでいる	14	9.9%
	3 どちらともいえない	21	14.9%
	4 あまり取り組んでいない	36	25.5%
	5 取り組んでいない	62	44.0%
	無回答	6	4.3%

## 施策2 地域資源の維持と有効活用

- 地域資源の維持と有効活用のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(3) 支援が必要な人を地域のなかで見守り、必要に応じて民生委員等へ相談している」(14.9%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 転入者にも声かけをするなど、地域行事に参加しやすい雰囲気づくりを心がけている」(22.0%)となっています。

図表Ⅱ-4-3 地域資源の維持と有効活用

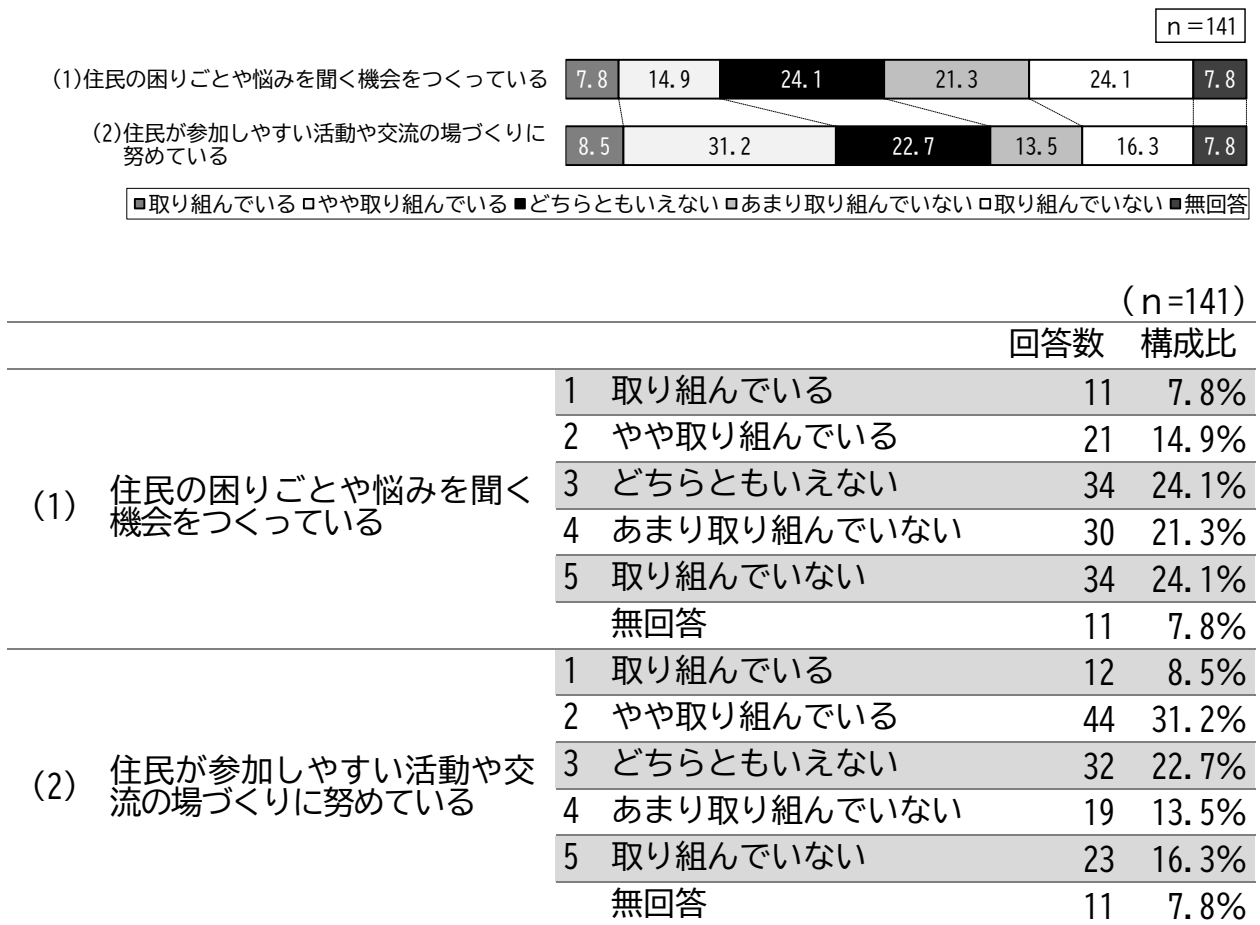


## 【基本目標2 参加と居場所づくり】

### 施策4 集いと憩い地域社会の保全

- 集いと憩い地域社会の保全のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 住民が参加しやすい活動や交流の場づくりに努めている」(8.5%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 住民の困りごとや悩みを聞く機会をつくっている」(24.1%)となっています。

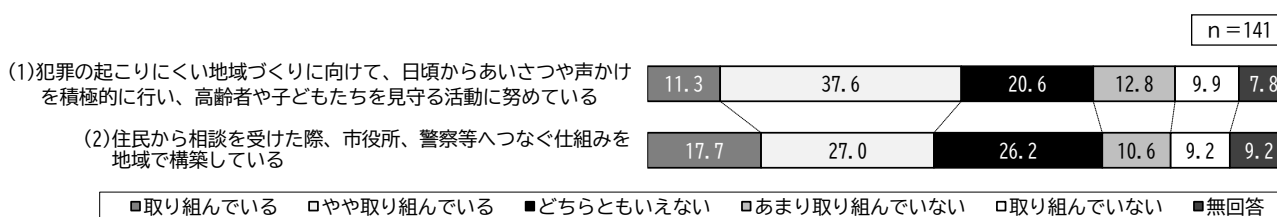
図表Ⅱ-4-4 集いと憩い地域社会の保全



## 施策5 地域の防犯力の向上

- 地域の防犯力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 住民から相談を受けた際、市役所、警察等へつなぐ仕組みを地域で構築している」(17.7%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に努めている」(9.9%)となっています。

図表Ⅱ-4-5 地域の防犯力の向上

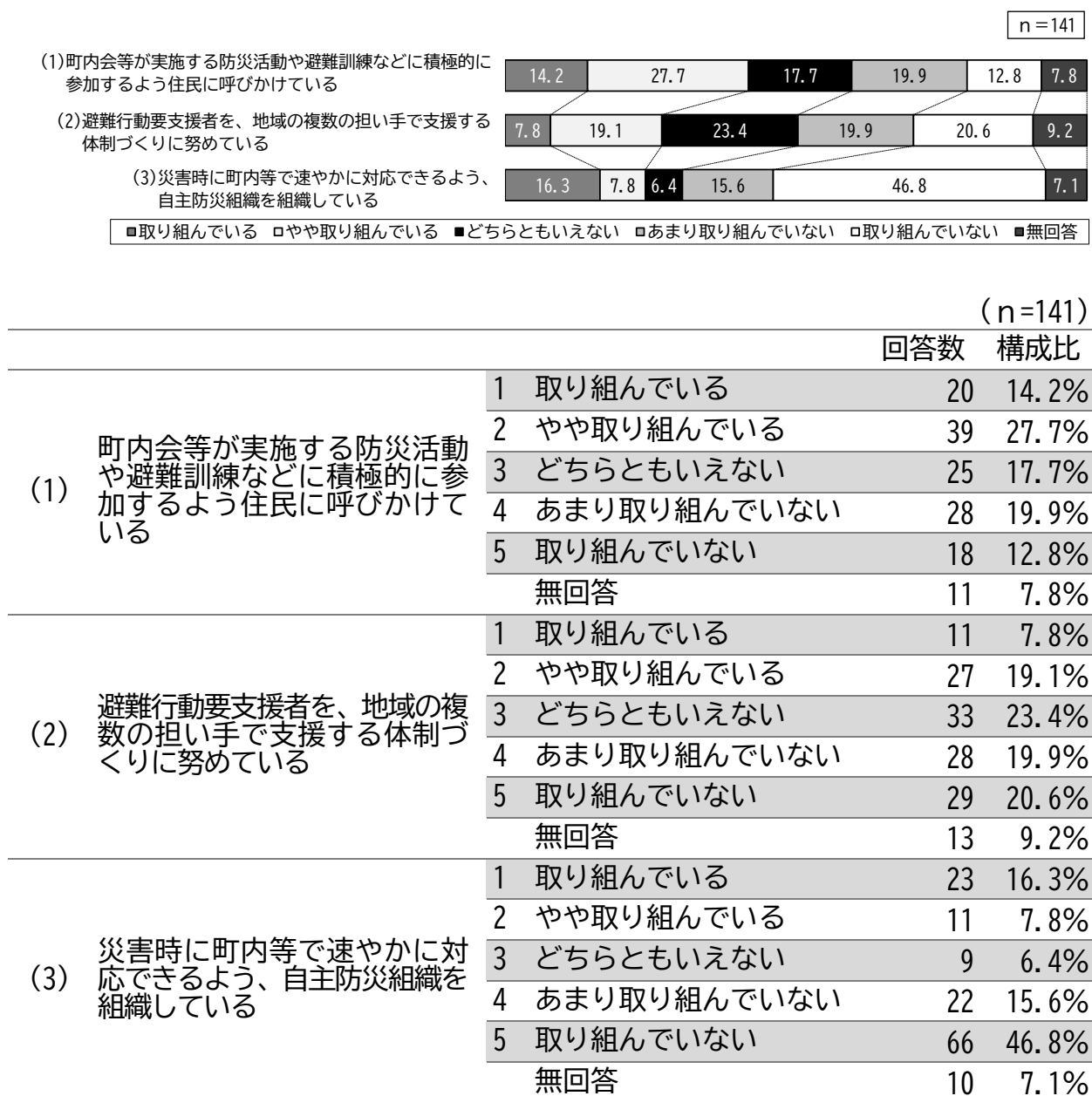


		(n=141)	
		回答数	構成比
(1)	犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に努めている	1 取り組んでいる	16 11.3%
		2 やや取り組んでいる	53 37.6%
		3 どちらともいえない	29 20.6%
		4 あまり取り組んでいない	18 12.8%
		5 取り組んでいない	14 9.9%
		無回答	11 7.8%
(2)	住民から相談を受けた際、市役所、警察等へつなぐ仕組みを地域で構築している	1 取り組んでいる	25 17.7%
		2 やや取り組んでいる	38 27.0%
		3 どちらともいえない	37 26.2%
		4 あまり取り組んでいない	15 10.6%
		5 取り組んでいない	13 9.2%
		無回答	13 9.2%

## 施策6 地域の防災力の向上

- 地域の防災力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」、「取り組んでいない」ともに回答した割合が最も高いのは「(3) 災害時に町内等で速やかに対応できるよう、自主防災組織を組織している」(取り組んでいる 16.3%) (取り組んでいない 46.8%) となっています。

図表Ⅱ-4-6 地域の防災力の向上

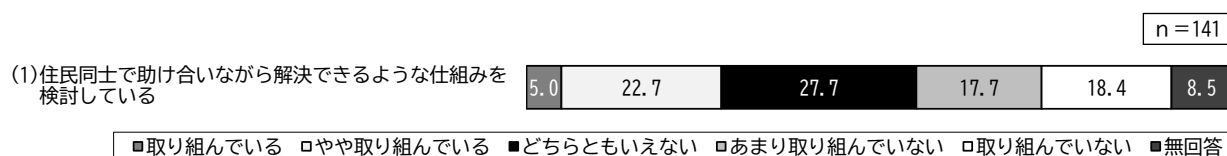




## 施策7 地域活動の保全と交流の促進

- 地域活動の保全と交流の促進の「住民同士で助け合いながら解決できるような仕組みを検討している」取り組み状況は、「やや取り組んでいる」が 22.7%と最も多くなっています。次いで「取り組んでいない」が 18.4%、「あまり取り組んでいない」が 17.7%となっています。
- 「どちらともいえない」は 27.7%となっています。

図表Ⅱ-4-7 地域活動の保全と交流の促進



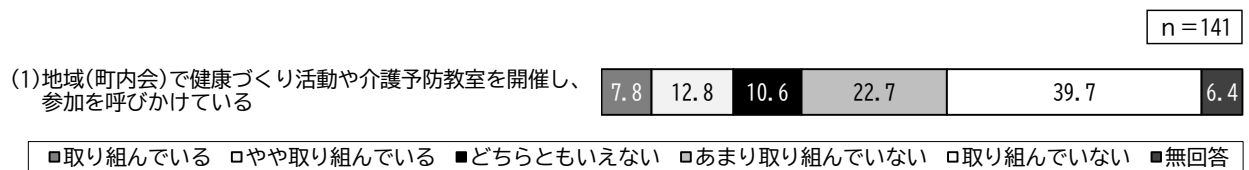
		(n=141)	
		回答数	構成比
(1) 住民同士で助け合いながら解決できるような仕組みを検討している	1 取り組んでいる	7	5.0%
	2 やや取り組んでいる	32	22.7%
	3 どちらともいえない	39	27.7%
	4 あまり取り組んでいない	25	17.7%
	5 取り組んでいない	26	18.4%
	無回答	12	8.5%

## 【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

### 施策8 健やかであるための生活習慣づくり

- 健やかであるための生活習慣づくりの「地域(町内会)で健康づくり活動や介護予防教室を開催し、参加を呼びかけている」取り組み状況は、「取り組んでいない」が39.7%と最も多くなっています。次いで「やや取り組んでいない」が22.7%、「やや取り組んでいる」が12.8%となっています。

図表Ⅱ-4-8 健やかであるための生活習慣づくり

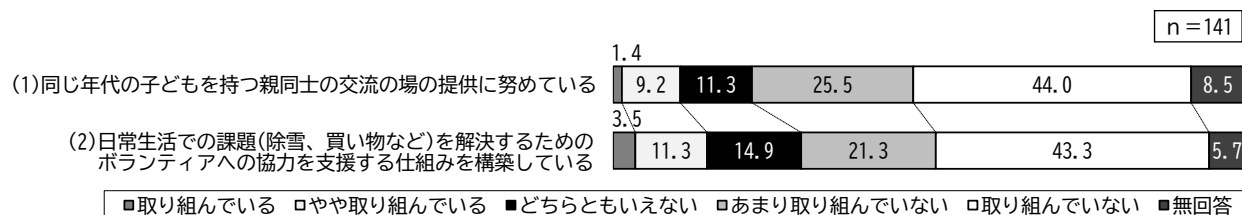


		(n=141)	
		回答数	構成比
(1) 地域(町内会)で健康づくり活動や介護予防教室を開催し、参加を呼びかけている	1 取り組んでいる	11	7.8%
	2 やや取り組んでいる	18	12.8%
	3 どちらともいえない	15	10.6%
	4 あまり取り組んでいない	32	22.7%
	5 取り組んでいない	56	39.7%
	無回答	9	6.4%

## 施策10 生きがいのある生活への支援

- 生きがいのある生活への支援のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 日常生活での課題(除雪、買い物など)を解決するためのボランティアへの協力を支援する仕組みを構築している」(3.5%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 同じ年代の子どもを持つ親同士の交流の場の提供に努めている」(44.0%)となっています。

図表Ⅱ-4-9 生きがいのある生活への支援

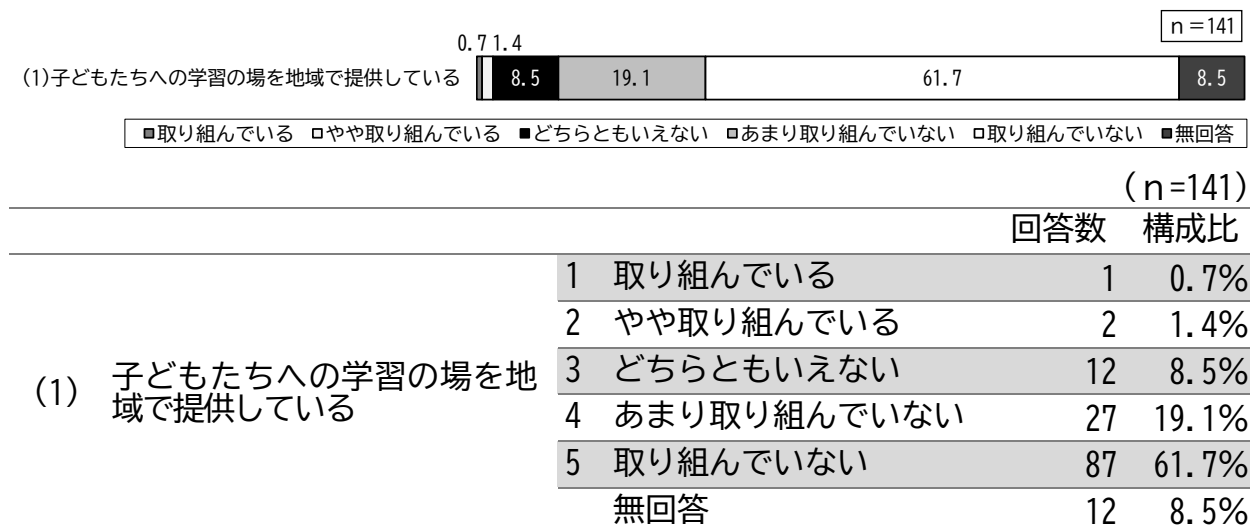


		(n=141)	
		回答数	構成比
(1) 同じ年代の子どもを持つ親同士の交流の場の提供に努めている	1 取り組んでいる	2	1.4%
	2 やや取り組んでいる	13	9.2%
	3 どちらともいえない	16	11.3%
	4 あまり取り組んでいない	36	25.5%
	5 取り組んでいない	62	44.0%
	無回答	12	8.5%
(2) 日常生活での課題(除雪、買い物など)を解決するためのボランティアへの協力を支援する仕組みを構築している	1 取り組んでいる	5	3.5%
	2 やや取り組んでいる	16	11.3%
	3 どちらともいえない	21	14.9%
	4 あまり取り組んでいない	30	21.3%
	5 取り組んでいない	61	43.3%
	無回答	8	5.7%

## 施策 11 就労と社会的自立の支援

- 就労と社会的自立の支援の「子どもたちへの学習の場を地域で提供している」取り組み状況は、「取り組んでいない」が 61.7%と最も多くなっています。次いで「やや取り組んでいない」が 19.1%、「やや取り組んでいる」が 1.4%となっています。
- 「どちらともいえない」は 8.5%となっています。

図表Ⅱ-4-10 就労と社会的自立の支援



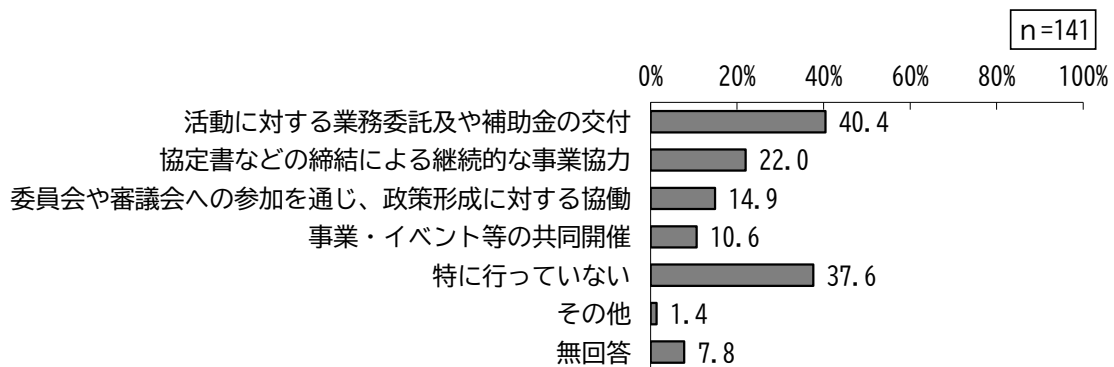
## 5 行政・関係機関との連携について

### (1) 行政機関との協働の形態

問 町内会は、行政機関とどのような形で協働していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 行政機関との協働の形態については、「活動に対する業務委託及や補助金の交付」が40.4%と最も多くなっています。次いで「協定書などの締結による継続的な事業協力」が22.0%、「委員会や審議会への参加を通じ、政策形成に対する協働」が14.9%となっています。

図表Ⅱ-5-1 行政機関との協働の形態

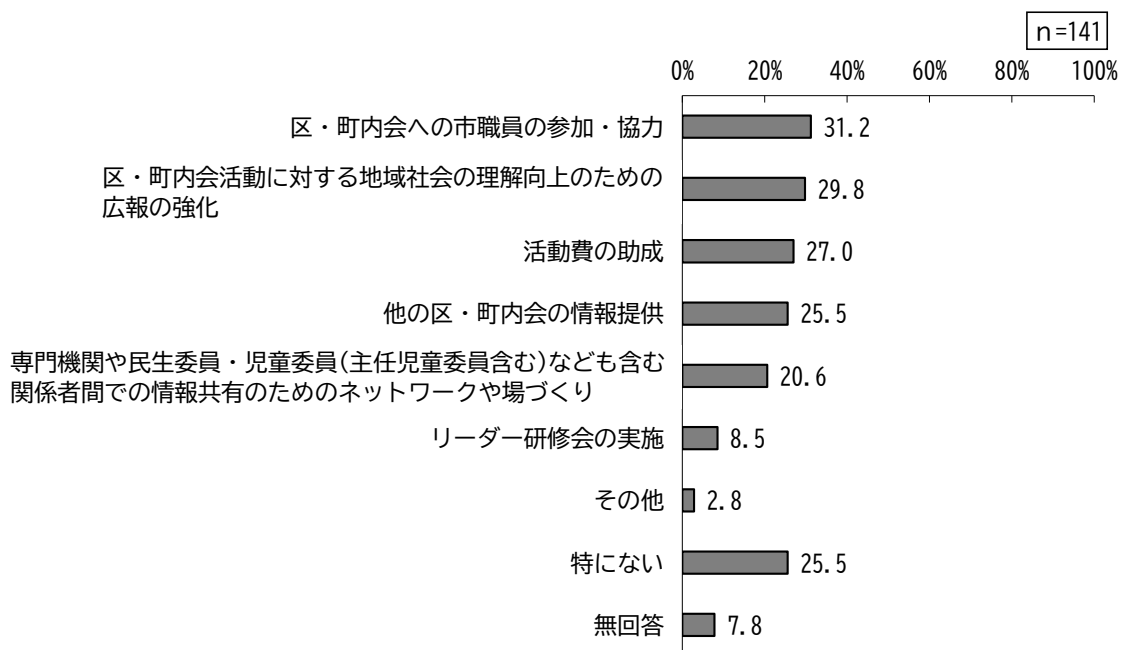


## (2) 行政や社会福祉協議会に望むこと

問 今後活動を続けていくうえで行政や社会福祉協議会にお願いしたいことや取り組んでほしいことがあれば教えてください。  
(あてはまるもの3つまでに○)

- 行政や社会福祉協議会に望むことについては、「区・町内会への市職員の参加・協力」が31.2%と最も多くなっています。次いで「区・町内会活動に対する地域社会の理解向上のための広報の強化」が29.8%、「活動費の助成」が27.0%となっています。

図表Ⅱ-5-2 行政や社会福祉協議会に望むこと



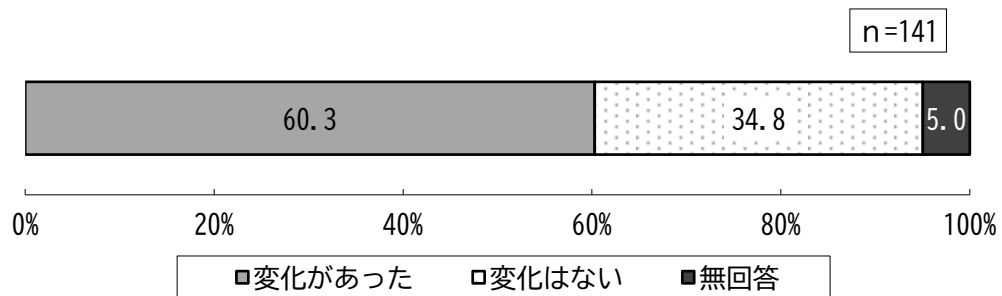
## 6 意識・行動の変化について

### (1) 感染症拡大による活動への影響

問 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の拡大で、町内会活動に変化はありましたか。（1つに○）

- 感染症拡大による活動への影響については、「変化があった」が 60.3%、「変化はない」が 34.8%となっています。

図表Ⅱ-6-1 感染症拡大による活動への影響

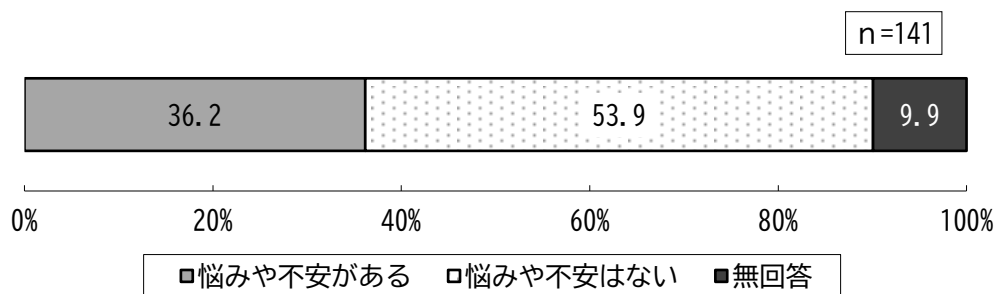


### (2) 感染症拡大にともなう町内会運営の悩みや不安

問 感染症の拡大で、貴町内会の運営にあたり悩みや不安はありますか。（1つに○）

- 感染症拡大にともなう町内会運営の悩みや不安については、「悩みや不安がある」が 36.2%、「悩みや不安はない」が 53.9%となっています。

図表Ⅱ-6-2 感染症拡大にともなう町内会運営の悩みや不安



## 7 今後の福祉のあり方

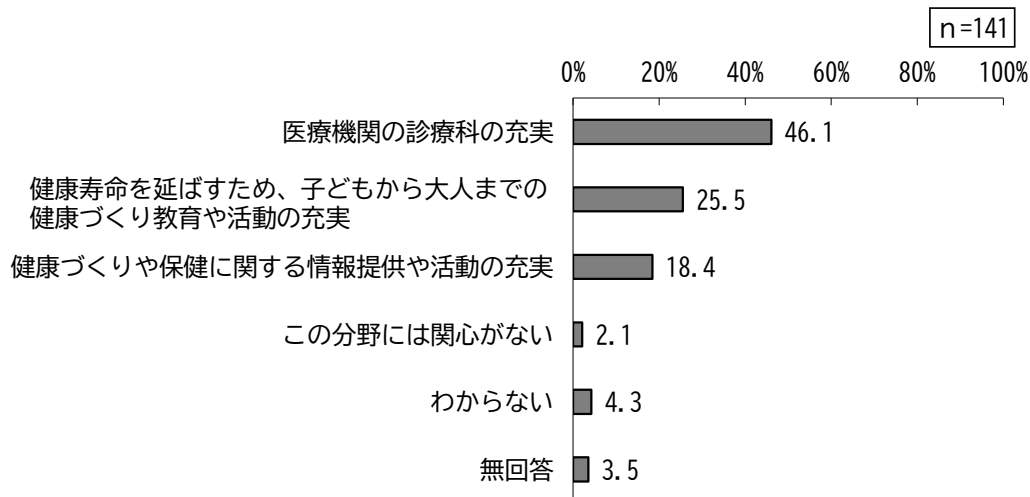
### (1) むつ市に必要なだと思う取り組み

問 むつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

#### ア 保健医療関係

- むつ市に必要なと思う保健医療関係の取り組みについては、「医療機関の診療科の充実」が46.1%と最も多くなっています。次いで「健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実」が25.5%、「健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実」が18.4%となっています。

図表Ⅱ-7-1 保健医療関係

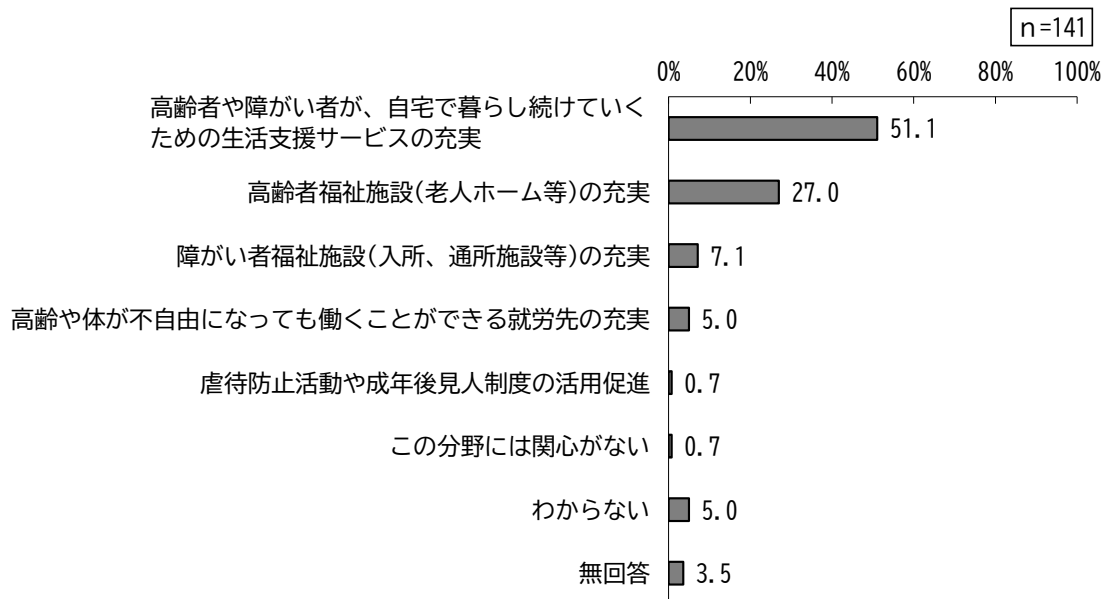




## イ 高齢者・障がい者

- むつ市に必要なと思う高齢者・障がい者に関する取り組みについては、「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が51.1%と最も多くなっています。次いで「高齢者福祉施設(老人ホーム等)の充実」が27.0%、「障がい者福祉施設(入所、通所施設等)の充実」が7.1%となっています。

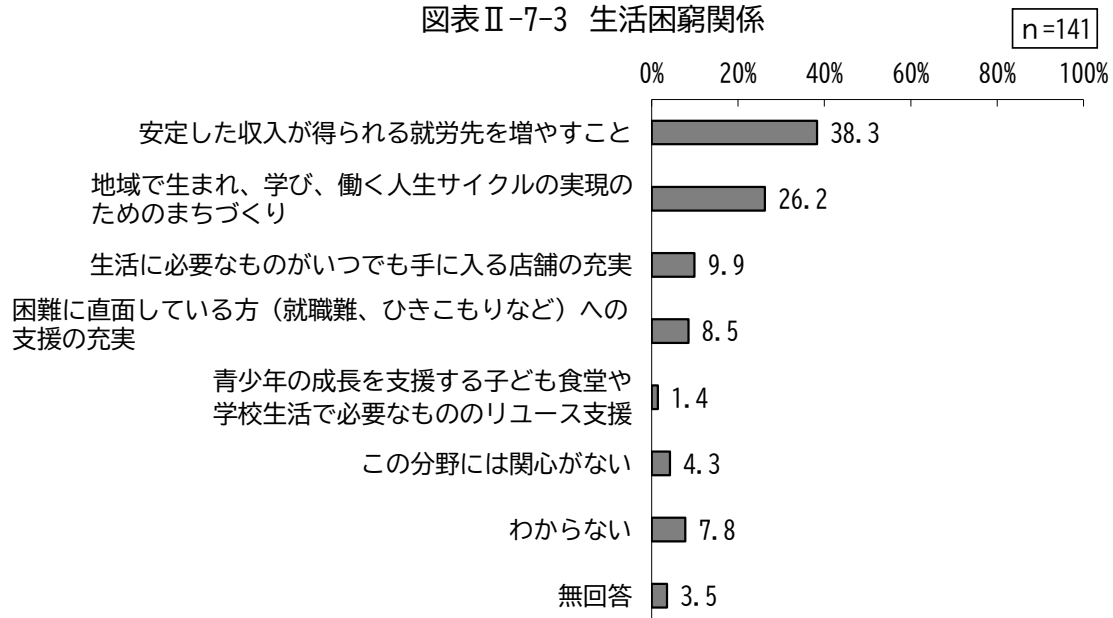
図表Ⅱ-7-2 高齢者・障がい者



## ウ 生活困窮関係

- むつ市に必要なと思う生活困窮関係の取り組みについては、「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が38.3%と最も多くなっています。次いで「地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり」が26.2%、「生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実」が9.9%となっています。

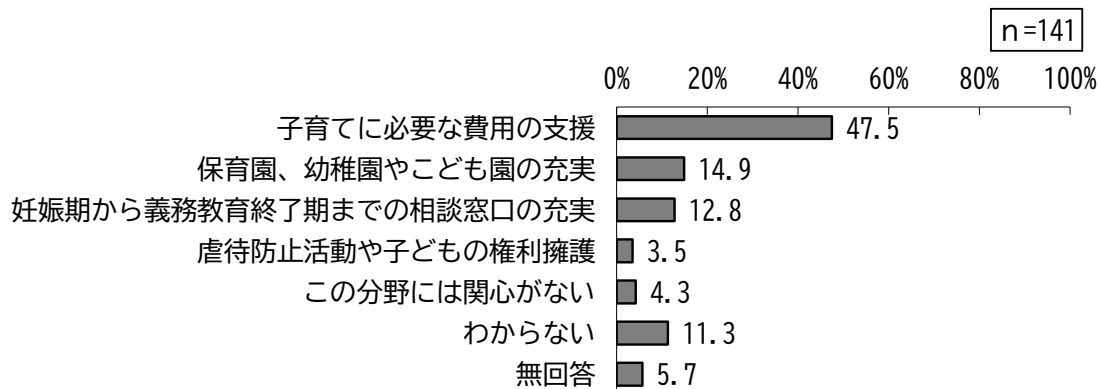
図表Ⅱ-7-3 生活困窮関係



## エ 子育て関係

- むつ市に必要だと思う子育て関係の取り組みについては、「子育てに必要な費用の支援」が 47.5%と最も多くなっています。次いで「保育園、幼稚園やこども園の充実」が 14.9%、「妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実」が 12.8%となっています。

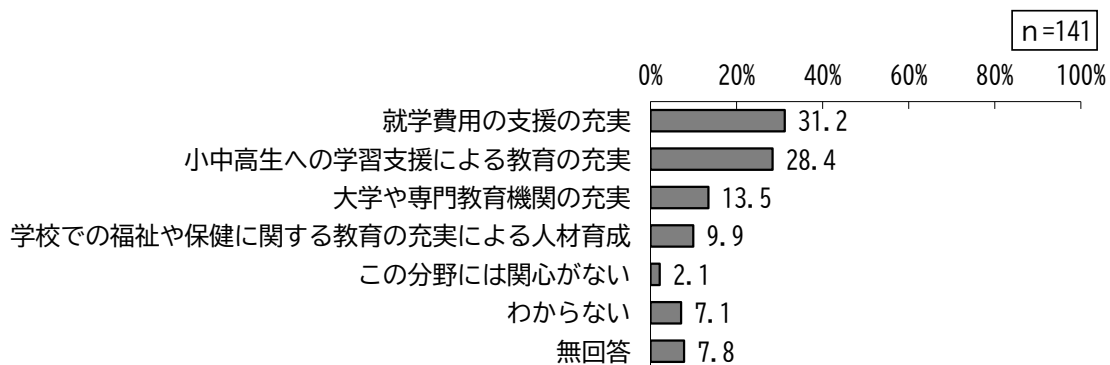
図表Ⅱ-7-4 子育て関係



## オ 教育関係

- むつ市に必要だと思う教育関係の取り組みについては、「就学費用の支援の充実」が 31.2%と最も多くなっています。次いで「小中高生への学習支援による教育の充実」が 28.4%、「大学や専門教育機関の充実」が 13.5%となっています。

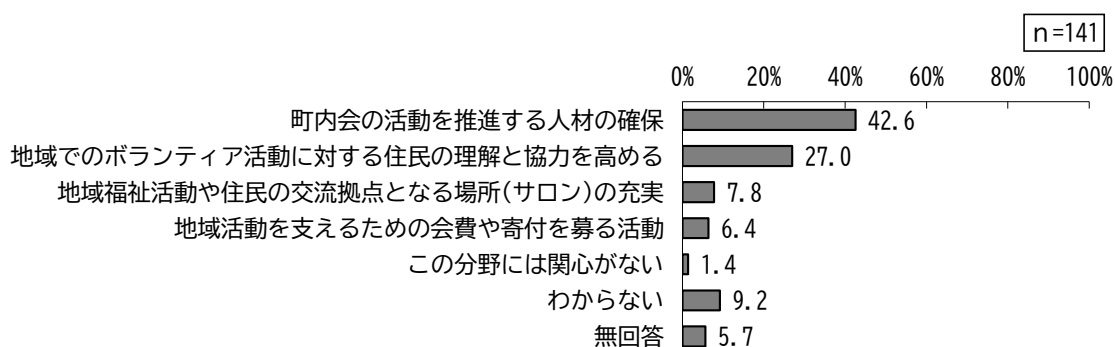
図表Ⅱ-7-5 教育関係



## カ 地域活動関係

- むつ市に必要なと思う地域活動関係の取り組みについては、「町内会の活動を推進する人材の確保」が42.6%と最も多くなっています。次いで「地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める」が27.0%、「地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所(サロン)の充実」が7.8%となっています。

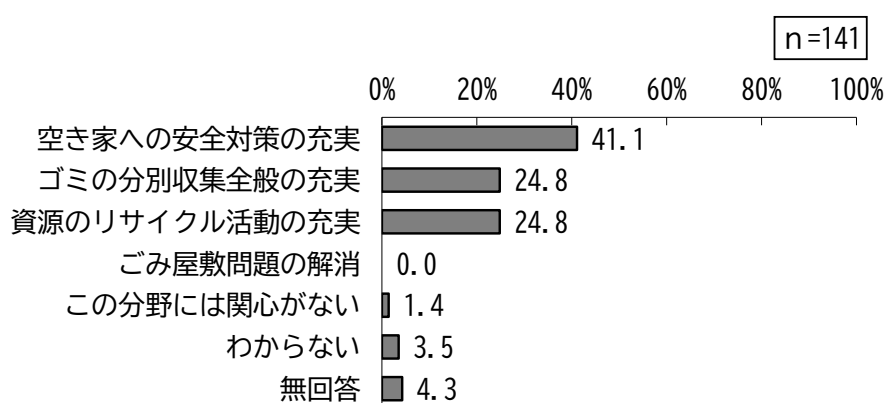
図表Ⅱ-7-6 地域活動関係



## キ 環境関係

- むつ市に必要なと思う環境関係の取り組みについては、「空き家への安全対策の充実」が41.1%と最も多くなっています。次いで「ゴミの分別収集全般の充実」、「資源のリサイクル活動の充実」がともに24.8%となっています。

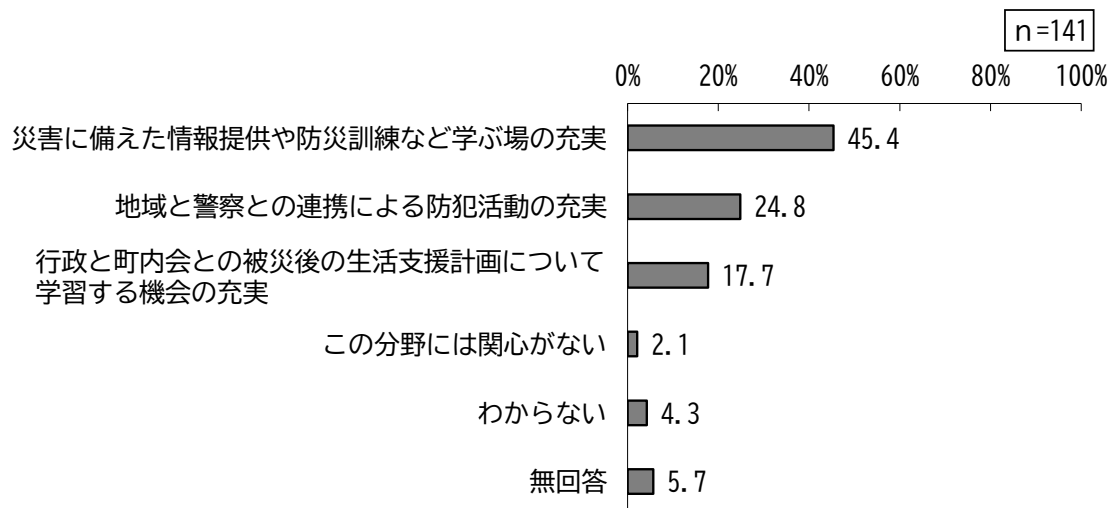
図表Ⅱ-7-7 環境関係



## ク 防災・防犯関係

- むつ市に必要なと思う防災・防犯関係の取り組みについては、「災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実」が 45.4%と最も多くなっています。次いで「地域と警察との連携による防犯活動の充実」が 24.8%、「行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実」が 17.7%となっています。

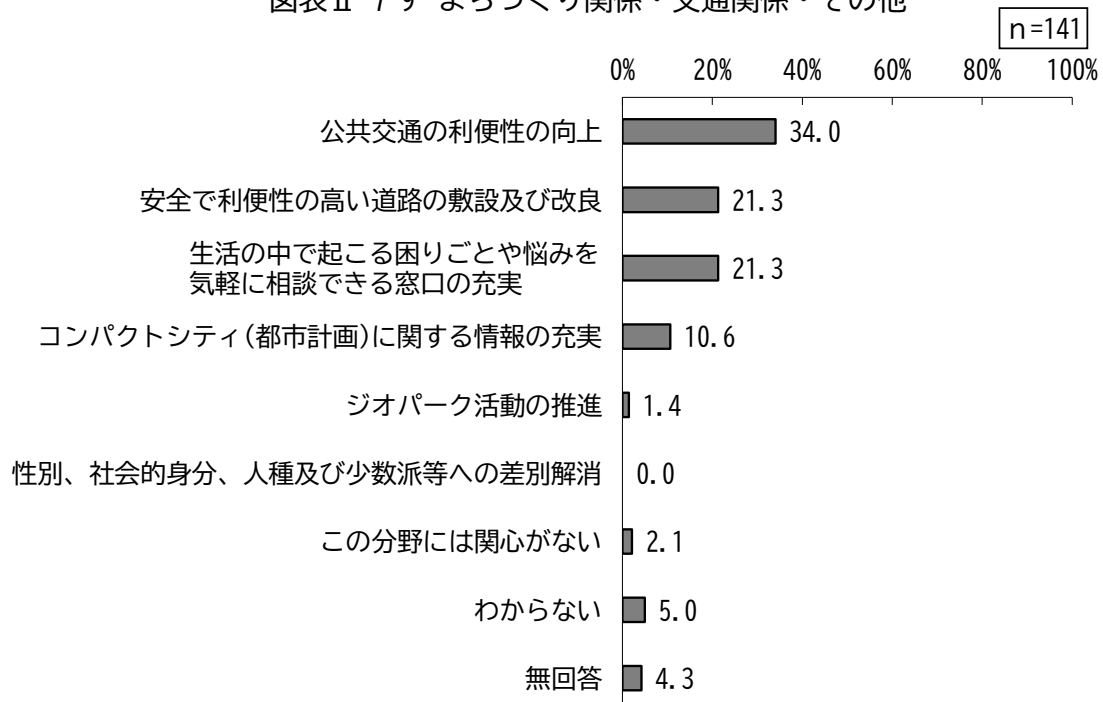
図表Ⅱ-7-8 防災・防犯関係



## ケ まちづくり関係・交通関係・その他

- むつ市に必要なと思うまちづくり関係・交通関係・その他に関する取り組みについては、「公共交通の利便性の向上」が 34.0%と最も多くなっています。次いで「安全で利便性の高い道路の敷設及び改良」、「生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実」がともに 21.3%となっています。

図表Ⅱ-7-9 まちづくり関係・交通関係・その他

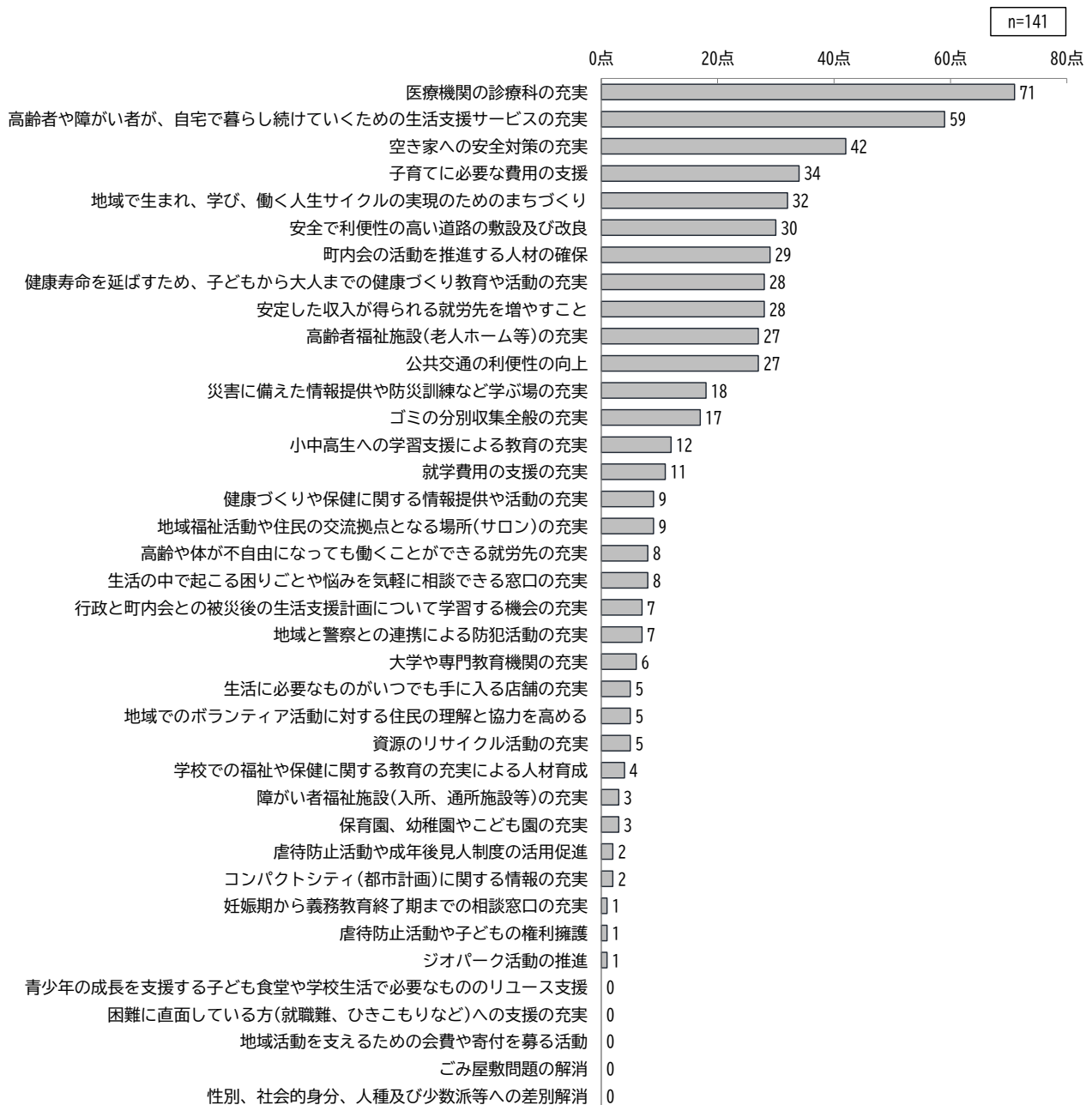


## (2) むつ市に最も取り組んでほしいこと

問 前問で選んだ項目の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選んでください。

- むつ市に最も取り組んでほしいことについては、「医療機関の診療科の充実」が71点と最も多くなっています。次いで「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が59点、「空き家への安全対策の充実」が42点となっています。

図表Ⅱ-7-10 むつ市に最も取り組んでほしいこと



※1位を「3点」、2位を「2点」、3位を「1点」として合計点数を算出しています。

### Ⅲ 地域福祉等活動団体アンケート調査結果

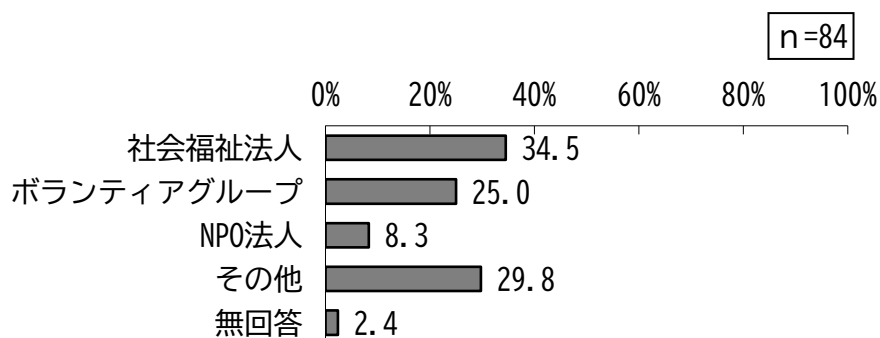
#### 1 団体の概要について

##### (1) 組織形態

問 組織形態を教えてください。(1つに○)

- 組織形態については、「社会福祉法人」が 34.5%と最も多くなっています。次いで「ボランティアグループ」が 25.0%、「NPO 法人」が 8.3%となっています。

図表Ⅲ-1-1 組織形態

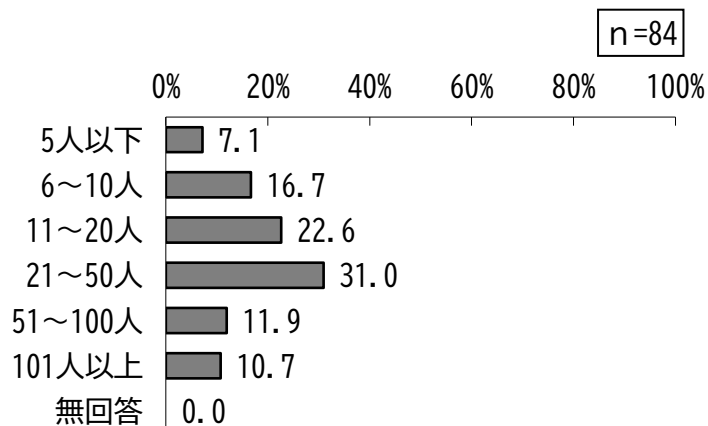


##### (2) 構成人数

問 構成人数を教えてください。(1つに○)

- 構成人数については、「21～50 人」が 31.0%と最も多くなっています。次いで「11～20 人」が 22.6%、「6～10 人」が 16.7%となっています。

図表Ⅲ-1-2 構成人数

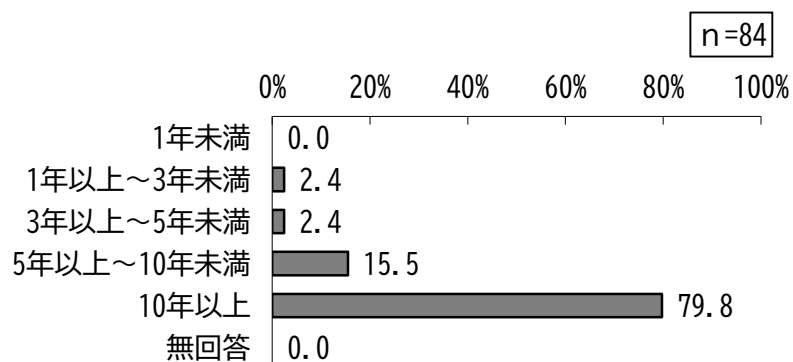


### (3) 活動年数

問 活動年数を教えてください。(1つに○)

- 活動年数については、「10年以上」が79.8%と最も多くなっています。次いで「5年以上～10年未満」が15.5%、「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」がともに2.4%となっています。

図表Ⅲ-1-3 活動年数

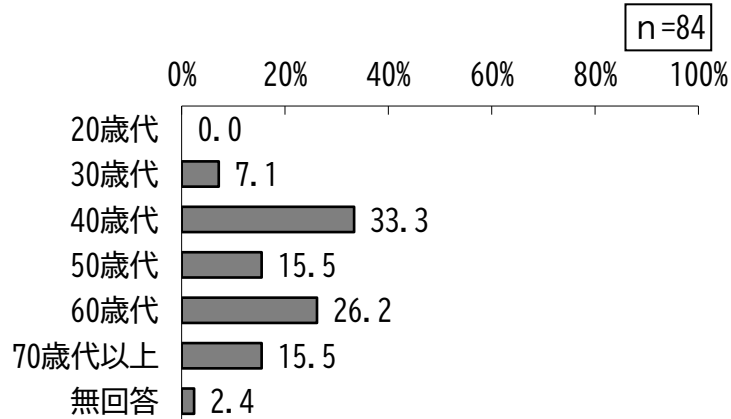


## (4) 構成員の平均年齢

問 構成員の平均年齢を教えてください。(1つに○)

- 構成員の平均年齢については、「40 歳代」が 33.3%と最も多くなっています。次いで「60 歳代」が 26.2%、「50 歳代」、「70 歳代以上」がともに 15.5%となっています。

図表Ⅲ-1-4 構成員の平均年齢



図表Ⅲ-1-5 構成員の平均年齢（組織形態別）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	無回答
ボランティアグループ (n=21)	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	42.9%	42.9%	0.0%
社会福祉法人 (n=29)	0.0%	17.2%	62.1%	10.3%	3.4%	0.0%	6.9%
NPO 法人 (n=7)	0.0%	14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
その他 (n=25)	0.0%	0.0%	28.0%	16.0%	40.0%	16.0%	0.0%

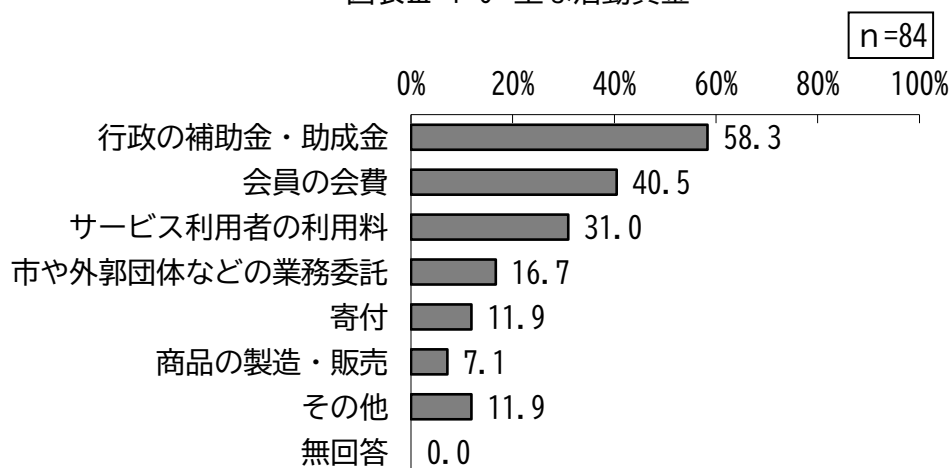


## (5) 主な活動資金

問 主な活動資金（財源）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- 主な活動資金については、「行政の補助金・助成金」が 58.3%と最も多くなっています。次いで「会員の会費」が 40.5%、「サービス利用者の利用料」が 31.0%となっています。

図表Ⅲ-1-6 主な活動資金

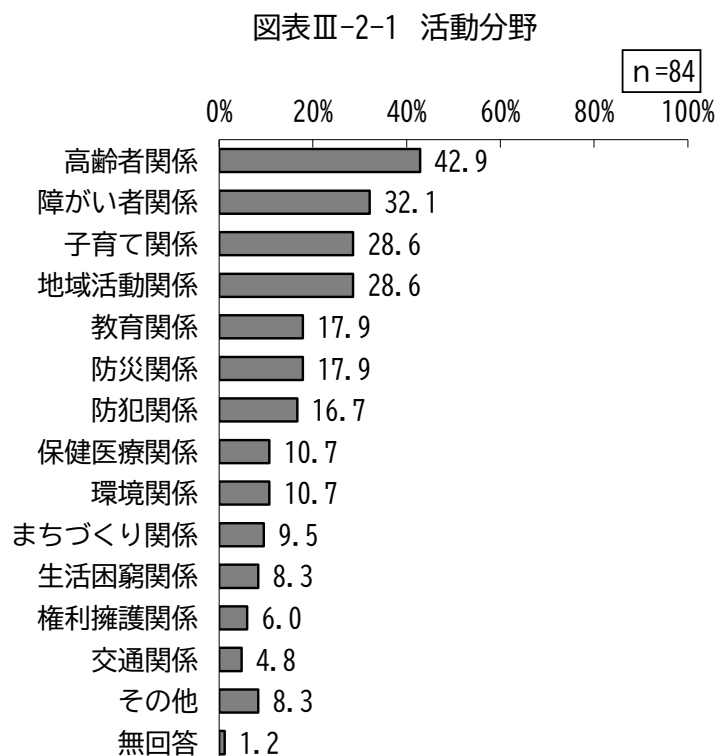


## 2 団体の活動について

### (1) 活動分野

問 取り組んでいる活動分野を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○ 取り組んでいる活動分野については、「高齢者関係」が 42.9%と最も多くなっています。次いで「障がい者関係」が 32.1%、「子育て関係」、「地域活動関係」がともに 28.6%となっています。



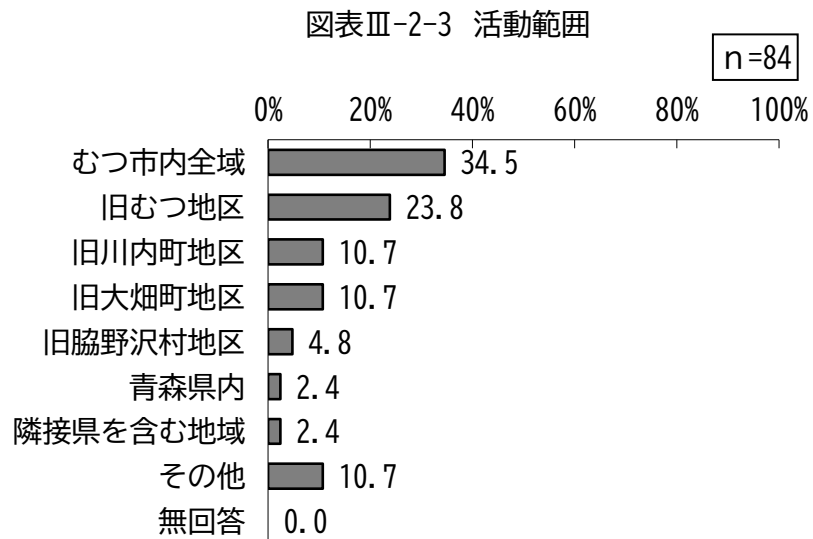
図表Ⅲ-2-2 活動分野（組織形態別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
ボランティアグループ (n=21)	高齢者関係 57.1%	地域活動関係/防災関係 52.4%	
社会福祉法人 (n=29)	子育て関係 44.8%	高齢者関係 41.4%	障がい者関係 37.9%
NPO 法人 (n=7)	障がい者関係 42.9%	環境関係 28.6%	高齢者関係/子育て関係/ 教育関係/地域活動関係/ まちづくり関係 14.3%
その他 (n=25)	障がい者関係 48.0%	高齢者関係 44.0%	地域活動関係 28.0%

## (2) 活動範囲

問 活動範囲（地域）を教えてください。（1つに○）

- 活動範囲（地域）については、「むつ市内全域」が 34.5%と最も多くなっています。次いで「旧むつ地区」が 23.8%、「旧川内町地区」、「旧大畑町地区」がともに 10.7%となっています。

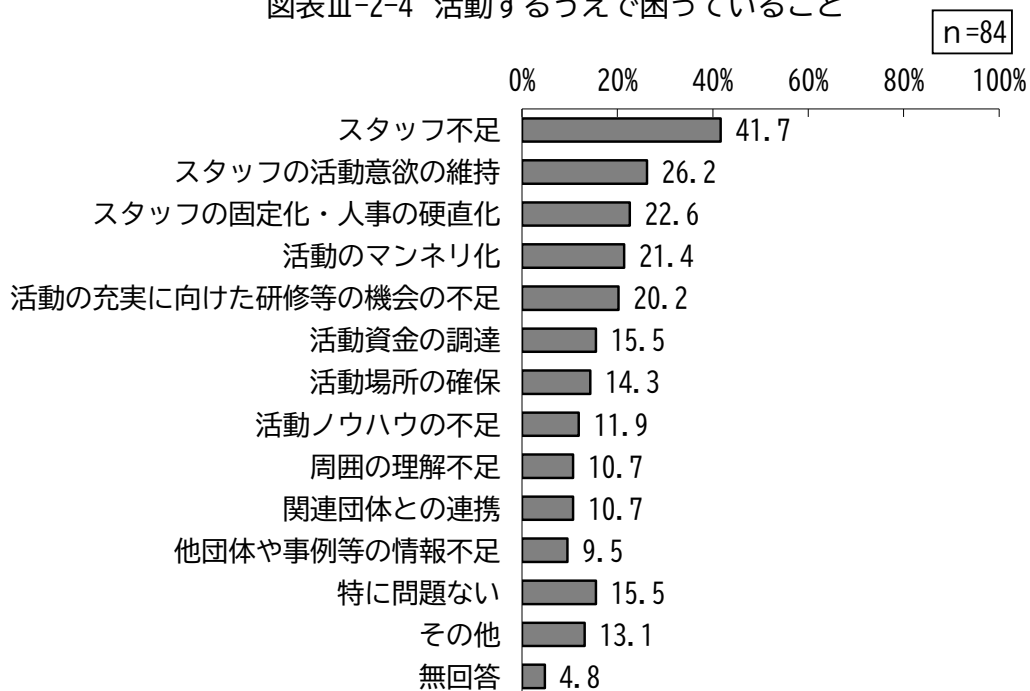


### (3) 活動するうえで困っていること

問 活動するうえで、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 団体活動をするにあたり困っていることについては、「スタッフ不足」が41.7%と最も多くなっています。次いで「スタッフの活動意欲の維持」が26.2%、「スタッフの固定化・人事の硬直化」が22.6%となっています。
- ボランティアグループ、社会福祉法人では「スタッフ不足」が、NPO 法人「活動資金の調達」が、その他の団体「スタッフの活動意欲の維持」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅲ-2-4 活動するうえで困っていること



図表Ⅲ-2-5 活動するうえで困っていること（組織形態別：上位3項目）

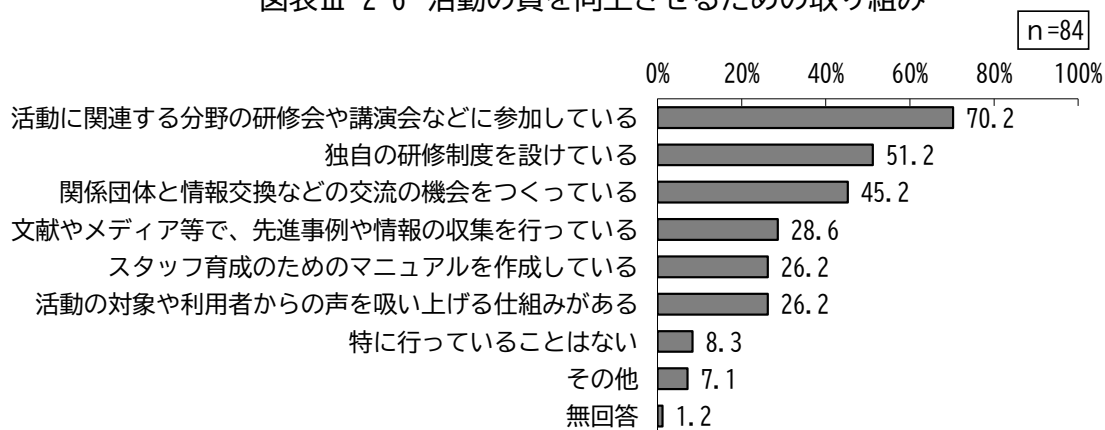
	第1位	第2位	第3位
ボランティアグループ (n=21)	スタッフ不足 57.1%	活動のマンネリ化/スタッフの固定化・人事の硬直化 33.3%	
社会福祉法人 (n=29)	スタッフ不足 37.9%	スタッフの活動意欲の維持 24.1%	スタッフの固定化・人事の硬直化 20.7%
NPO 法人 (n=7)	活動資金の調達 42.9%	スタッフ不足/他団体や事例等の情報不足 28.6%	
その他 (n=25)	スタッフの活動意欲の維持 40.0%	スタッフ不足 36.0%	活動の充実に向けた研修等の機会の不足 28.0%

## (4) 活動の質を向上させるための取り組み

問 活動の質（サービスやスタッフの質など）を向上させるために、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 活動の質を向上させるための取り組みについては、「活動に関連する分野の研修会や講演会などに参加している」が70.2%と最も多くなっています。次いで「独自の研修制度を設けている」が51.2%、「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」が45.2%となっています。

図表Ⅲ-2-6 活動の質を向上させるための取り組み



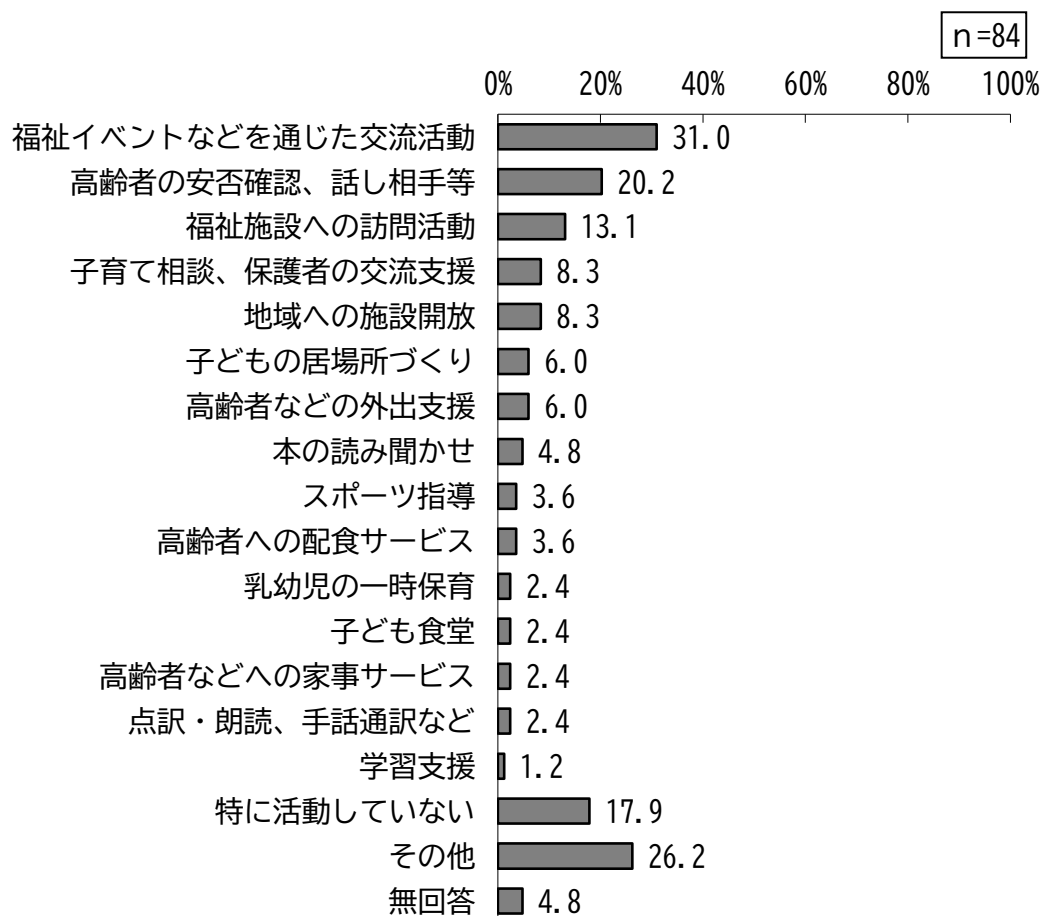
### 3 地域との関わりや交流・連携について

#### (1) 実施している社会的貢献やボランティア活動

問 地域で行っている社会的貢献やボランティア活動等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 実施している社会的貢献やボランティア活動については、「福祉イベントなどを通じた交流活動」が31.0%と最も多くなっています。次いで「高齢者の安否確認、話し相手等」が20.2%、「福祉施設への訪問活動」が13.1%となっています。

図表Ⅲ-3-1 実施している社会的貢献やボランティア活動

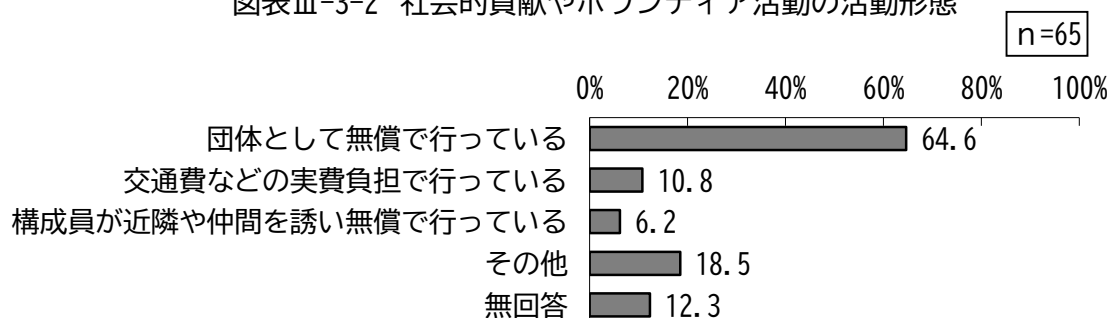


## (2) 社会的貢献やボランティア活動の活動形態

【前問で「特に活動していない」以外に○をつけた団体のみ】  
 問 どのような形で活動しているか教えてください。  
 (あてはまるものすべてに○)

- 前問で「社会的貢献やボランティア活動を行っている」と回答した方(n=65)の活動形態については、「団体として無償で行っている」が64.6%と最も多くなっています。次いで「交通費などの実費負担で行っている」が10.8%、「構成員が近隣や仲間を誘い無償で行っている」が6.2%となっています。

図表Ⅲ-3-2 社会的貢献やボランティア活動の活動形態

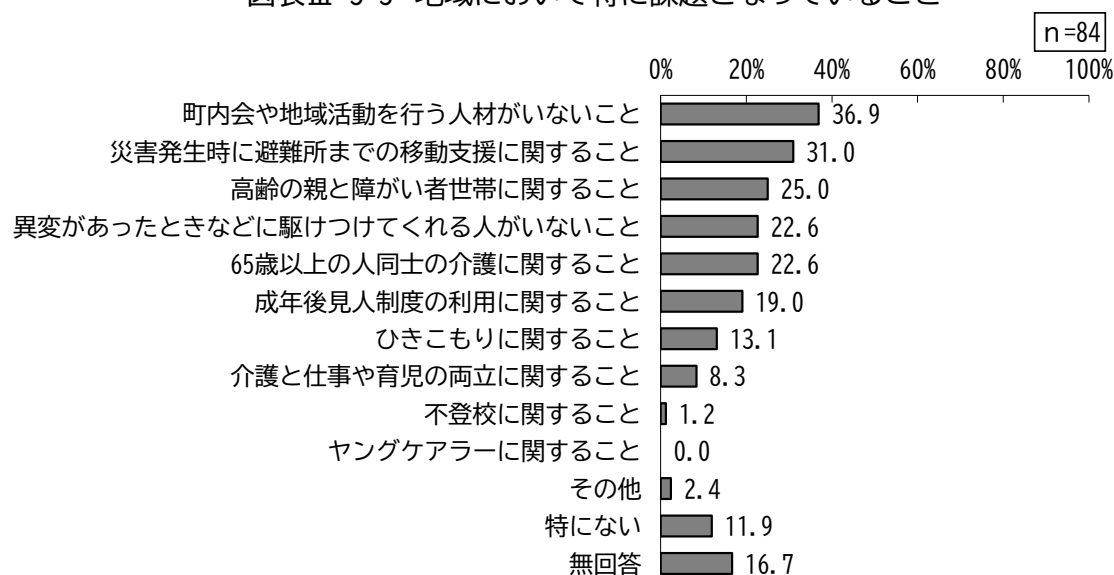


## (3) 地域において特に課題となっていること

問 地域において特に課題となっていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- 地域において特に課題となっていることについては、「町内会や地域活動を行う人材がいないこと」が36.9%と最も多くなっています。次いで「災害発生時に避難所までの移動支援に関すること」が31.0%、「高齢の親と障がい者世帯に関すること」が25.0%となっています。

図表Ⅲ-3-3 地域において特に課題となっていること

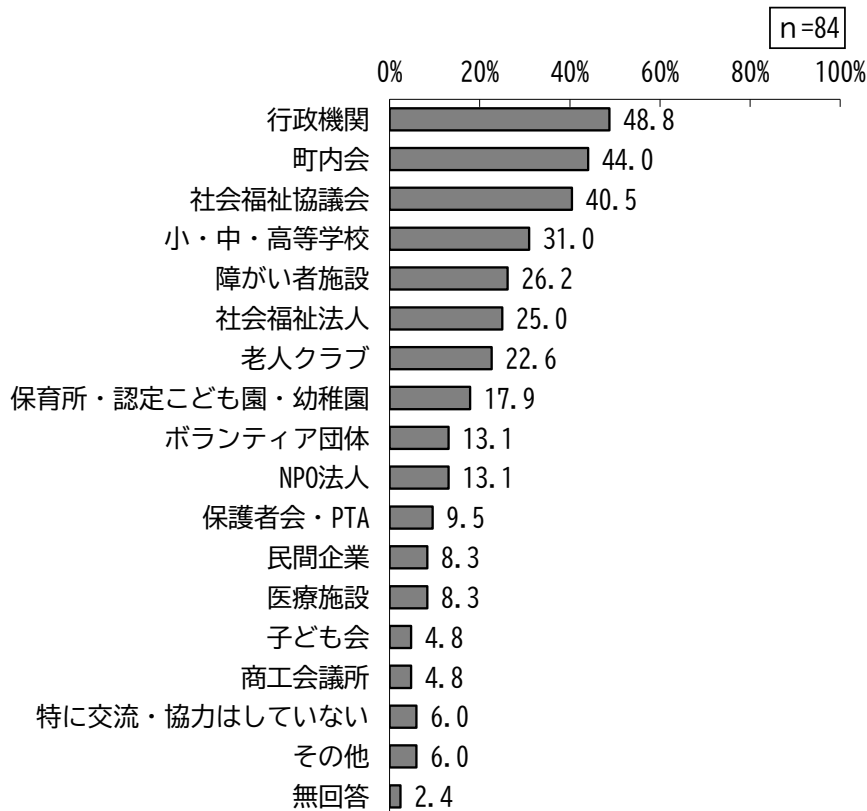


## (4) 交流・協力関係にある他団体や公共機関

問 他の団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 交流・協力関係にある他団体や公共機関については、「行政機関」が48.8%と最も多くなっています。次いで「町内会」が44.0%、「社会福祉協議会」が40.5%となっています。

図表Ⅲ-3-4 交流・協力関係にある他団体や公共機関



図表Ⅲ-3-5 交流・協力関係にある他団体や公共機関（組織形態別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
ボランティアグループ (n=21)	行政機関 61.9%	町内会 57.1%	小・中・高等学校 42.9%
社会福祉法人 (n=29)	行政機関/小・中・高等学校 41.4%		社会福祉法人/障がい者施設/社会福祉協議会 37.9%
NPO法人 (n=7)	行政機関 57.1%	NPO法人/社会福祉法人/障がい者施設/社会福祉協議会 42.9%	
その他 (n=25)	社会福祉協議会 60.0%	町内会 56.0%	行政機関 44.0%

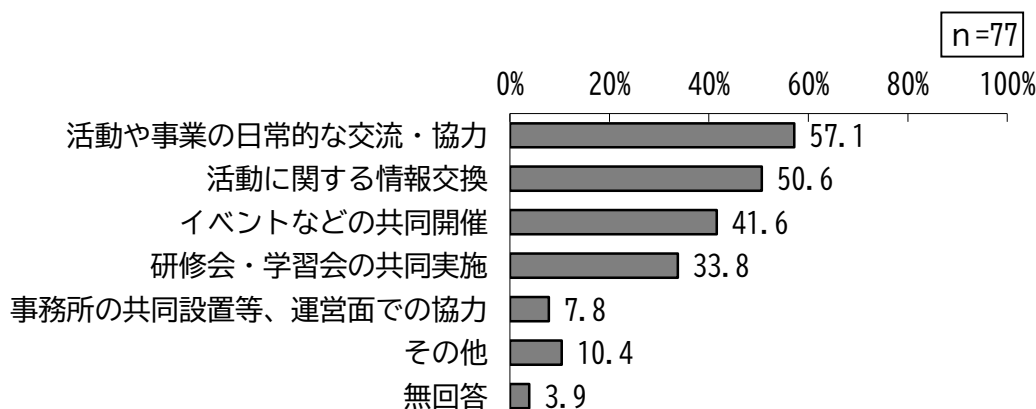


## (5) 他団体や公共機関などとの交流・協力形式

【前問で「特に交流・協力はしていない」以外に○をつけた団体のみ】  
 問 どのような形で交流・協力しているか教えてください。  
 (あてはまるものすべてに○)

- 前問で「他団体や公共機関と交流・協力関係にある」と回答した方(n=77)の交流・協力の形式については、「活動や事業の日常的な交流・協力」が57.1%と最も多くなっています。次いで「活動に関する情報交換」が50.6%、「イベントなどの共同開催」が41.6%となっています。

図表Ⅲ-3-6 他団体や公共機関などとの交流・協力形式



図表Ⅲ-3-7 他団体や公共機関などとの交流・協力形式（組織形態別：上位3項目）

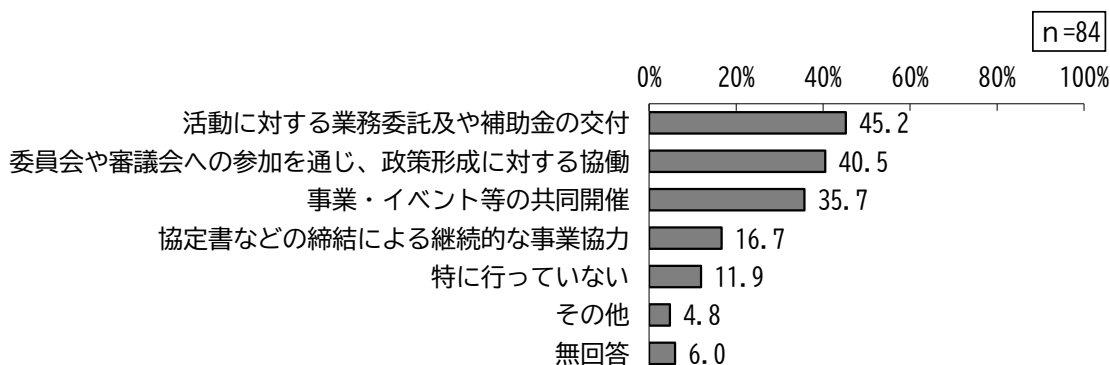
組織形態	活動や事業の日常的な交流・協力	イベントなどの共同開催	活動に関する情報交換	研修会・学習会の共同実施	事務所の共同設置等、運営面での協力	その他	無回答
ボランティアグループ (n=19)	73.7%	36.8%	42.1%	36.8%	5.3%	5.3%	5.3%
社会福祉法人 (n=27)	66.7%	48.1%	48.1%	40.7%	7.4%	7.4%	3.7%
NPO法人 (n=6)	33.3%	66.7%	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%
その他 (n=24)	37.5%	33.3%	62.5%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%

## (6) 行政機関との協働の形態

問 行政機関とどのような形で協働していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 行政機関との協働の形態については、「活動に対する業務委託及や補助金の交付」が 45.2%と最も多くなっています。次いで「委員会や審議会への参加を通じ、政策形成に対する協働」が 40.5%、「事業・イベント等の共同開催」が 35.7%となっています。

図表Ⅲ-3-8 行政機関との協働の形態

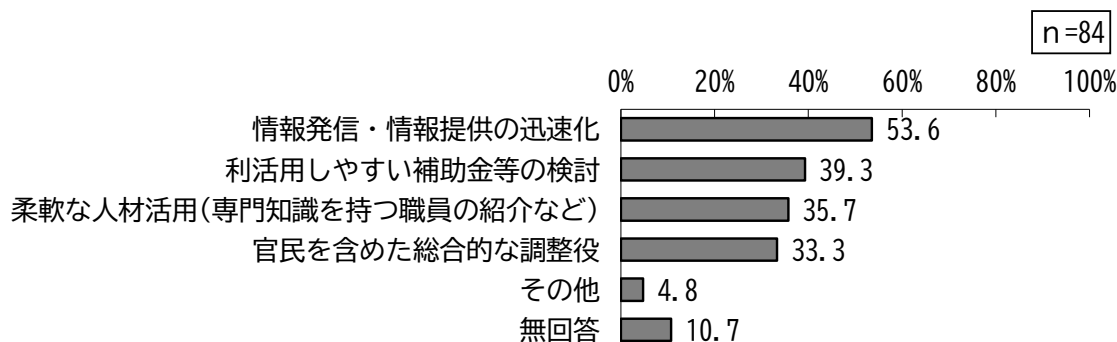


## (7) 行政と協働するうえで望むこと

問 行政と協働するうえで、行政に望むことを教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

- 行政と協働するうえで望むことについては、「情報発信・情報提供の迅速化」が 53.6%と最も多くなっています。次いで「利活用しやすい補助金等の検討」が 39.3%、「柔軟な人材活用(専門知識を持つ職員の紹介など)」が 35.7%となっています。

図表Ⅲ-3-9 行政と協働するうえで望むこと



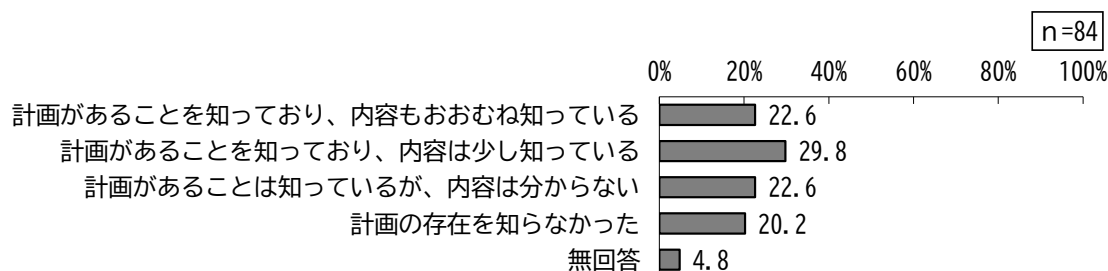
## 4 むつ市地域福祉計画について

### (1) むつ市地域福祉計画の認知度

問 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画を基に地域福祉に関する様々な施策を行っています。あなたはこの計画について知っていますか。(1つに○)

- むつ市地域福祉計画の認知度については、「計画があることを知っており、内容は少し知っている」が29.8%と最も多くなっています。次いで「計画があることを知っており、内容もおおむね知っている」、「計画があることは知っているが、内容は分からない」がともに22.6%となっています。
- 組織形態別の計画があることを知っている(「内容もおおむね知っている」+「内容は少し知っている」+「内容は分からない」)割合は、ボランティアグループが76.2%、社会福祉法人が89.6%、NPO法人が57.2%、その他の団体が68.0%となっています。

図表Ⅲ-4-1 むつ市地域福祉計画の認知度



図表Ⅲ-4-2 むつ市地域福祉計画の認知度 (組織形態別)

	計画があることを知っており、内容もおおむね知っている	計画があることを知っており、内容は少し知っている	計画があることは知っているが、内容は分からない	計画の存在を知らなかった	無回答
ボランティアグループ (n=21)	4.8%	33.3%	38.1%	23.8%	0.0%
社会福祉法人 (n=29)	37.9%	31.0%	20.7%	3.4%	6.9%
NPO法人 (n=7)	42.9%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%
その他 (n=25)	16.0%	32.0%	20.0%	24.0%	8.0%

## (2) 地域福祉に関する取り組み状況

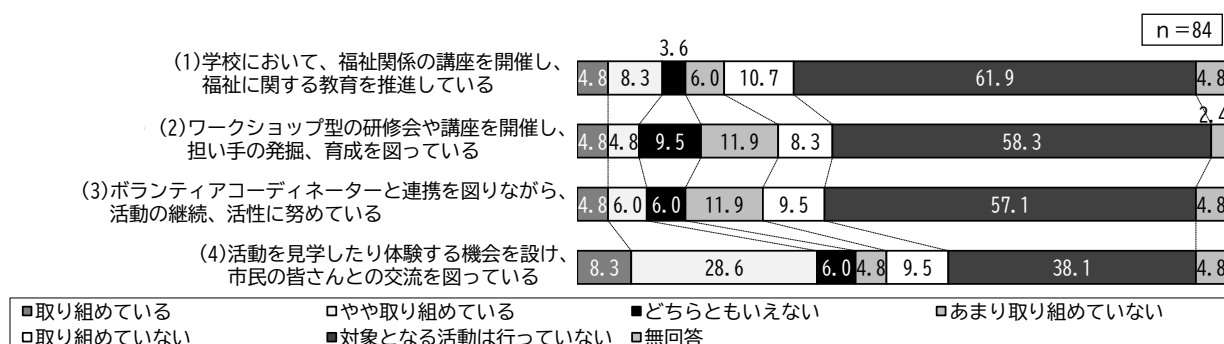
問 「むつ市地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほかに、福祉団体の皆さんが主体となって取り組めることを記載しています。各項目について貴団体の取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)  
 なお、貴団体の取り組みとして、なじまない項目については「6. 対象となる活動は行っていない」に○をして下さい。

### 【基本目標1 理解と交流づくり】

#### 施策1 地域を担う人材の育成

○ 地域を担う人材の育成のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(4) 活動を見学したり体験する機会を設け、市民の皆さんとの交流を図っている」(8.3%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 学校において、福祉関係の講座を開催し、福祉に関する教育を推進している」(10.7%)となっています。

図表Ⅲ-4-3 地域を担う人材の育成



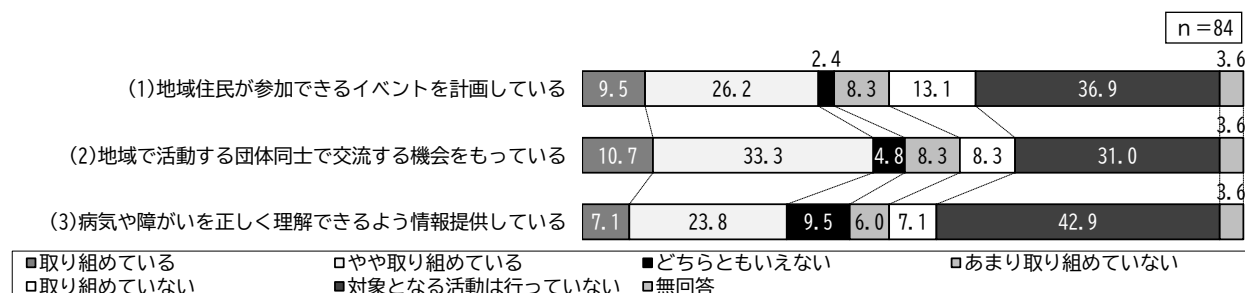
		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 学校において、福祉関係の講座を開催し、福祉に関する教育を推進している	1 取り組んでいる	4	4.8%
	2 やや取り組んでいる	7	8.3%
	3 どちらともいえない	3	3.6%
	4 あまり取り組めていない	5	6.0%
	5 取り組めていない	9	10.7%
	6 対象となる活動は行っていない	52	61.9%
	無回答	4	4.8%
(2) ワークショップ型の研修会や講座を開催し、担い手の発掘、育成を図っている	1 取り組んでいる	4	4.8%
	2 やや取り組んでいる	4	4.8%
	3 どちらともいえない	8	9.5%
	4 あまり取り組めていない	10	11.9%
	5 取り組めていない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	49	58.3%
	無回答	2	2.4%

		回答数	構成比
(3)	ボランティアコーディネーターと連携を図りながら、活動の継続、活性に努めている	1 取り組めている	4 4.8%
		2 やや取り組めている	5 6.0%
		3 どちらともいえない	5 6.0%
		4 あまり取り組めていない	10 11.9%
		5 取り組めていない	8 9.5%
		6 対象となる活動は行っていない	48 57.1%
		無回答	4 4.8%
(4)	活動を見学したり体験する機会を設け、市民の皆さんとの交流を図っている	1 取り組めている	7 8.3%
		2 やや取り組めている	24 28.6%
		3 どちらともいえない	5 6.0%
		4 あまり取り組めていない	4 4.8%
		5 取り組めていない	8 9.5%
		6 対象となる活動は行っていない	32 38.1%
		無回答	4 4.8%

## 施策2 地域資源の維持と有効活用

- 地域資源の維持と有効活用のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 地域で活動する団体同士で交流する機会をもっている」(10.7%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 地域住民が参加できるイベントを計画している」(13.1%)となっています。

図表Ⅲ-4-4 地域資源の維持と有効活用



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 地域住民が参加できるイベントを計画している	1 取り組んでいる	8	9.5%
	2 やや取り組んでいる	22	26.2%
	3 どちらともいえない	2	2.4%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	11	13.1%
	6 対象となる活動は行っていない	31	36.9%
	無回答	3	3.6%
(2) 地域で活動する団体同士で交流する機会をもっている	1 取り組んでいる	9	10.7%
	2 やや取り組んでいる	28	33.3%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	26	31.0%
	無回答	3	3.6%
(3) 病気や障がいを正しく理解できるよう情報提供している	1 取り組んでいる	6	7.1%
	2 やや取り組んでいる	20	23.8%
	3 どちらともいえない	8	9.5%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行っていない	36	42.9%
	無回答	3	3.6%

図表Ⅲ-4-5 地域で活動する団体同士で交流する機会をもっている（組織形態別）

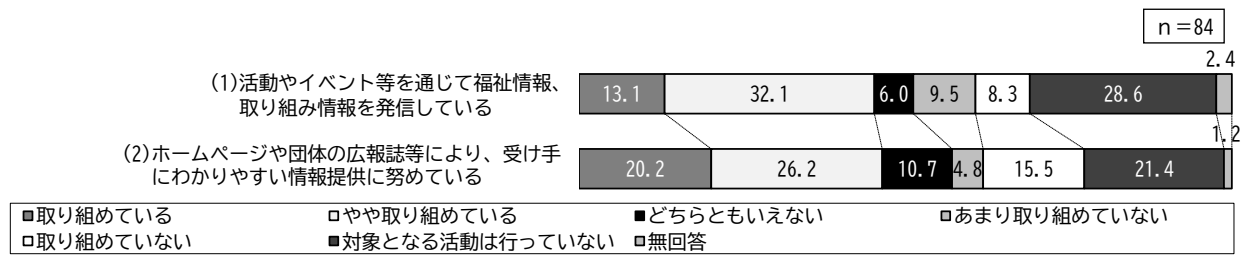
	取り組めている	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	4.8%	52.4%	0.0%	0.0%	4.8%	38.1%	0.0%
社会福祉法人 (n=29)	17.2%	31.0%	6.9%	6.9%	13.8%	24.1%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%
その他 (n=25)	8.0%	24.0%	4.0%	16.0%	8.0%	32.0%	8.0%

## 【基本目標2 参加と居場所づくり】

### 施策3 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり

- 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」、「取り組んでいない」ともに回答した割合が最も高いのは「(2) ホームページや団体の広報誌等により、受け手にわかりやすい情報提供に努めている」(取り組んでいる 20.2%) (取り組んでいない 15.5%) となっています。

図表Ⅲ-4-6 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり



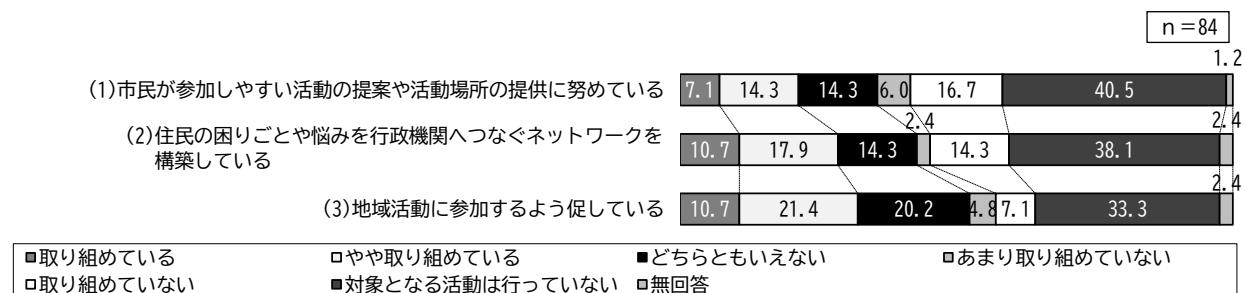
		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 活動やイベント等を通じて福祉情報、取り組み情報を発信している	1 取り組んでいる	11	13.1%
	2 やや取り組んでいる	27	32.1%
	3 どちらともいえない	5	6.0%
	4 あまり取り組んでいない	8	9.5%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	24	28.6%
	無回答	2	2.4%
(2) ホームページや団体の広報誌等により、受け手にわかりやすい情報提供に努めている	1 取り組んでいる	17	20.2%
	2 やや取り組んでいる	22	26.2%
	3 どちらともいえない	9	10.7%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	13	15.5%
	6 対象となる活動は行っていない	18	21.4%
	無回答	1	1.2%



## 施策4 集いと憩い地域社会の保全

- 集いと憩い地域社会の保全のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2)住民の困りごとや悩みを行政機関へつなぐネットワークを構築している」、「(3)地域活動に参加するよう促している」(ともに10.7%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1)市民が参加しやすい活動の提案や活動場所の提供に努めている」(16.7%)となっています。

図表Ⅲ-4-7 集いと憩い地域社会の保全

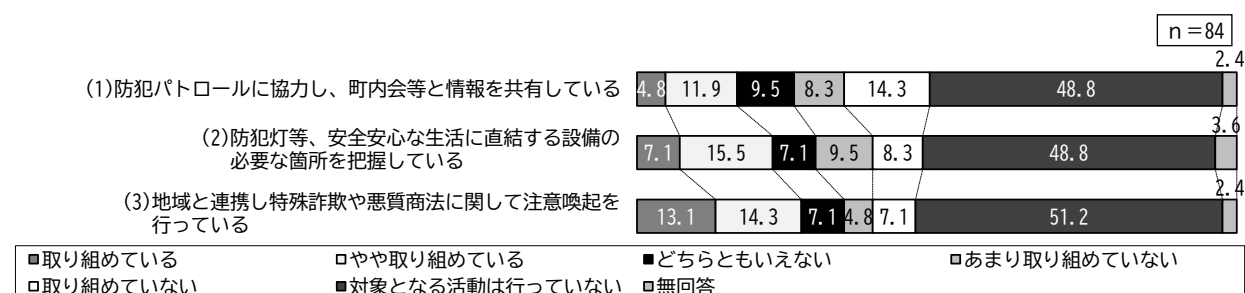


		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 市民が参加しやすい活動の提案や活動場所の提供に努めている	1 取り組んでいる	6	7.1%
	2 やや取り組んでいる	12	14.3%
	3 どちらともいえない	12	14.3%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	14	16.7%
	6 対象となる活動は行っていない	34	40.5%
	無回答	1	1.2%
(2) 住民の困りごとや悩みを行政機関へつなぐネットワークを構築している	1 取り組んでいる	9	10.7%
	2 やや取り組んでいる	15	17.9%
	3 どちらともいえない	12	14.3%
	4 あまり取り組んでいない	2	2.4%
	5 取り組んでいない	12	14.3%
	6 対象となる活動は行っていない	32	38.1%
	無回答	2	2.4%
(3) 地域活動に参加するよう促している	1 取り組んでいる	9	10.7%
	2 やや取り組んでいる	18	21.4%
	3 どちらともいえない	17	20.2%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行っていない	28	33.3%
	無回答	2	2.4%

## 施策5 地域の防犯力の向上

- 地域の防犯力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(3) 地域と連携し特殊詐欺や悪質商法に関して注意喚起を行っている」(13.1%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 防犯パトロールに協力し、町内会等と情報を共有している」(14.3%)となっています。

図表Ⅲ-4-8 地域の防犯力の向上

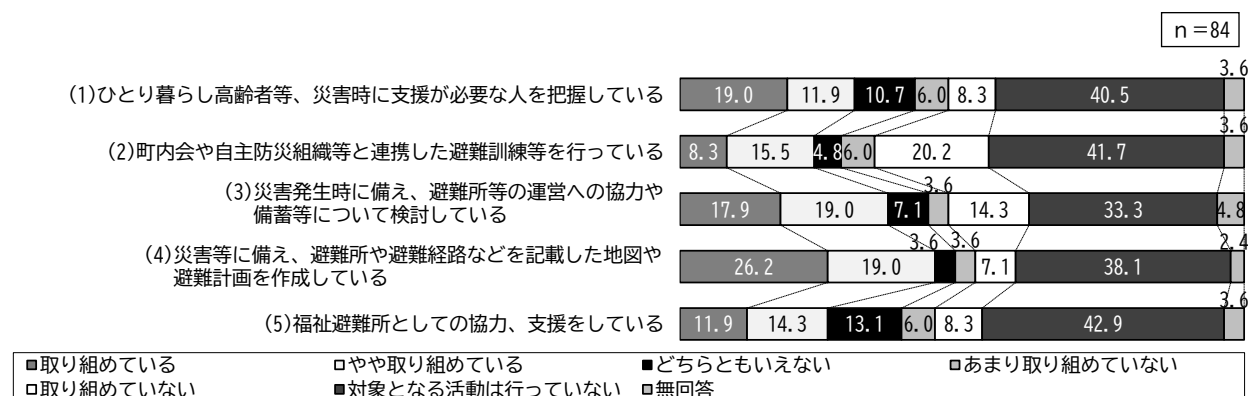


		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 防犯パトロールに協力し、町内会等と情報を共有している	1 取り組んでいる	4	4.8%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	8	9.5%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	12	14.3%
	6 対象となる活動は行ってない	41	48.8%
	無回答	2	2.4%
(2) 防犯灯等、安全安心な生活に直結する設備の必要な箇所を把握している	1 取り組んでいる	6	7.1%
	2 やや取り組んでいる	13	15.5%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	8	9.5%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行ってない	41	48.8%
	無回答	3	3.6%
(3) 地域と連携し特殊詐欺や悪質商法に関して注意喚起を行っている	1 取り組んでいる	11	13.1%
	2 やや取り組んでいる	12	14.3%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行ってない	43	51.2%
	無回答	2	2.4%

## 施策6 地域の防災力の向上

- 地域の防災力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(4) 災害等に備え、避難所や避難経路などを記載した地図や避難計画を作成している」(26.2%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2) 町内会や自主防災組織等と連携した避難訓練等を行っている」(20.2%)となつています。

図表Ⅲ-4-9 地域の防災力の向上



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) ひとり暮らし高齢者等、災害時に支援が必要な人を把握している	1 取り組んでいる	16	19.0%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	9	10.7%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	34	40.5%
	無回答	3	3.6%
(2) 町内会や自主防災組織等と連携した避難訓練等を行っている	1 取り組んでいる	7	8.3%
	2 やや取り組んでいる	13	15.5%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	17	20.2%
	6 対象となる活動は行っていない	35	41.7%
	無回答	3	3.6%
(3) 災害発生時に備え、避難所等の運営への協力や備蓄等について検討している	1 取り組んでいる	15	17.9%
	2 やや取り組んでいる	16	19.0%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	3	3.6%
	5 取り組んでいない	12	14.3%
	6 対象となる活動は行っていない	28	33.3%
	無回答	4	4.8%

		回答数	構成比
(4) 災害等に備え、避難所や避難経路などを記載した地図や避難計画を作成している	1 取り組めている	22	26.2%
	2 やや取り組めている	16	19.0%
	3 どちらともいえない	3	3.6%
	4 あまり取り組めていない	3	3.6%
	5 取り組めていない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行っていない	32	38.1%
	無回答	2	2.4%
(5) 福祉避難所としての協力、支援をしている	1 取り組めている	10	11.9%
	2 やや取り組めている	12	14.3%
	3 どちらともいえない	11	13.1%
	4 あまり取り組めていない	5	6.0%
	5 取り組めていない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	36	42.9%
	無回答	3	3.6%

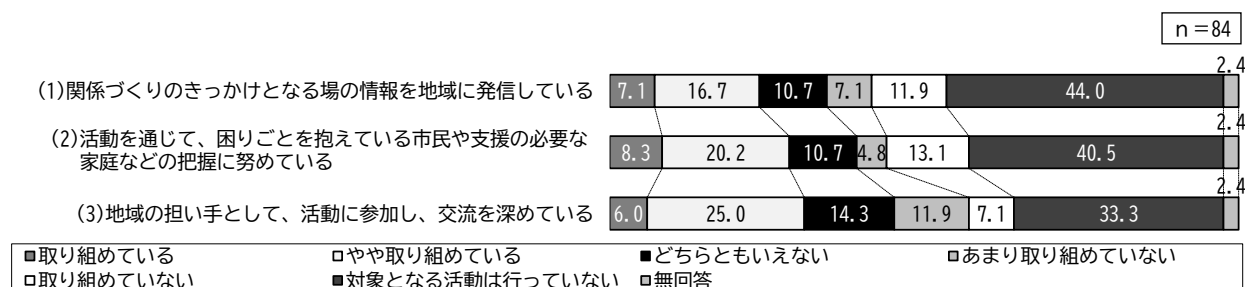
図表Ⅲ-4-10 災害等に備え、避難所や避難経路などを記載した地図や避難計画を作成している（組織形態別）

	取り組めている	やや取り組めている	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	9.5%	23.8%	0.0%	0.0%	9.5%	52.4%	4.8%
社会福祉法人 (n=29)	34.5%	20.7%	10.3%	6.9%	10.3%	17.2%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%
その他 (n=25)	12.0%	16.0%	8.0%	4.0%	24.0%	28.0%	8.0%

## 施策7 地域活動の保全と交流の促進

- 地域活動の保全と交流の促進のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」、「取り組んでいない」ともに回答した割合が最も高いのは「(2)活動を通じて、困りごとを抱えている市民や支援の必要な家庭などの把握に努めている」(取り組んでいる8.3%) (取り組んでいない13.1%)となっています。

図表Ⅲ-4-11 地域活動の保全と交流の促進



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 関係づくりのきっかけとなる場の情報を地域に発信している	1 取り組んでいる	6	7.1%
	2 やや取り組んでいる	14	16.7%
	3 どちらともいえない	9	10.7%
	4 あまり取り組んでいない	6	7.1%
	5 取り組んでいない	10	11.9%
	6 対象となる活動は行っていない	37	44.0%
	無回答	2	2.4%
(2) 活動を通じて、困りごとを抱えている市民や支援の必要な家庭などの把握に努めている	1 取り組んでいる	7	8.3%
	2 やや取り組んでいる	17	20.2%
	3 どちらともいえない	9	10.7%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	11	13.1%
	6 対象となる活動は行っていない	34	40.5%
	無回答	2	2.4%
(3) 地域の担い手として、活動に参加し、交流を深めている	1 取り組んでいる	5	6.0%
	2 やや取り組んでいる	21	25.0%
	3 どちらともいえない	12	14.3%
	4 あまり取り組んでいない	10	11.9%
	5 取り組んでいない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行っていない	28	33.3%
	無回答	2	2.4%

図表Ⅲ-4-12 地域の担い手として、活動に参加し、交流を深めている

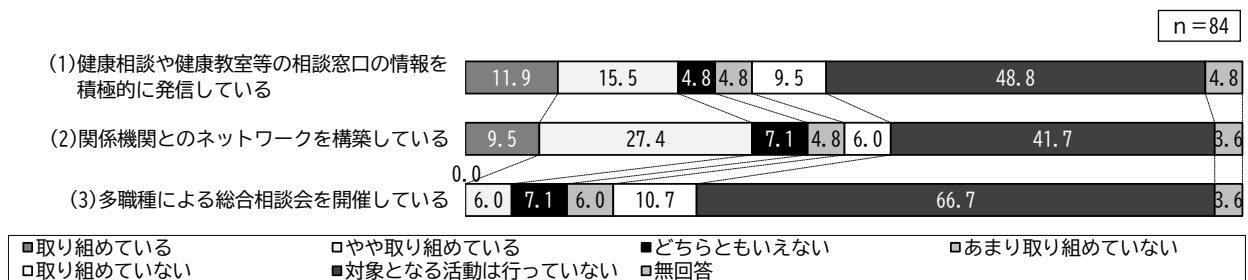
	取り組めている	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	4.8%	38.1%	0.0%	9.5%	4.8%	42.9%	0.0%
社会福祉法人 (n=29)	3.4%	17.2%	27.6%	17.2%	10.3%	24.1%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%
その他 (n=25)	12.0%	32.0%	12.0%	8.0%	8.0%	24.0%	4.0%

## 【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

### 施策8 健やかであるための生活習慣づくり

- 健やかであるための生活習慣づくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)健康相談や健康教室等の相談窓口の情報を積極的に発信している」(11.9%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3)多職種による総合相談会を開催している」(10.7%)となっています。

図表Ⅲ-4-13 健やかであるための生活習慣づくり



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 健康相談や健康教室等の相談窓口の情報を積極的に発信している	1 取り組んでいる	10	11.9%
	2 やや取り組んでいる	13	15.5%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	8	9.5%
	6 対象となる活動は行っていない	41	48.8%
	無回答	4	4.8%
	(2) 関係機関とのネットワークを構築している	1 取り組んでいる	8
2 やや取り組んでいる		23	27.4%
3 どちらともいえない		6	7.1%
4 あまり取り組んでいない		4	4.8%
5 取り組んでいない		5	6.0%
6 対象となる活動は行っていない		35	41.7%
無回答		3	3.6%
(3) 多職種による総合相談会を開催している	1 取り組んでいる	0	0.0%
	2 やや取り組んでいる	5	6.0%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	9	10.7%
	6 対象となる活動は行っていない	56	66.7%
	無回答	3	3.6%

図表Ⅲ-4-14 関係機関とのネットワークを構築している（組織形態別）

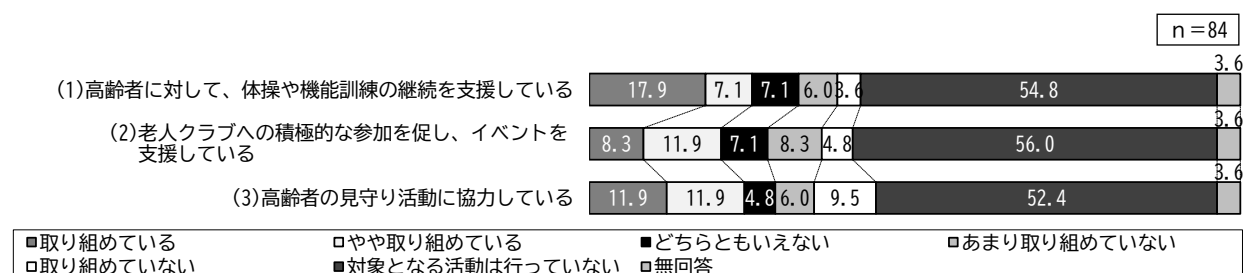
	取り組めている	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	9.5%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%	57.1%	4.8%
社会福祉法人 (n=29)	3.4%	44.8%	6.9%	6.9%	0.0%	37.9%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
その他 (n=25)	16.0%	24.0%	8.0%	4.0%	16.0%	28.0%	4.0%



## 施策9 健康寿命を延ばす取り組み

- 健康寿命を延ばす取り組みのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) 高齢者に対して、体操や機能訓練の継続を支援している」(17.9%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3) 高齢者の見守り活動に協力している」(9.5%)となっています。

図表Ⅲ-4-15 健康寿命を延ばす取り組み

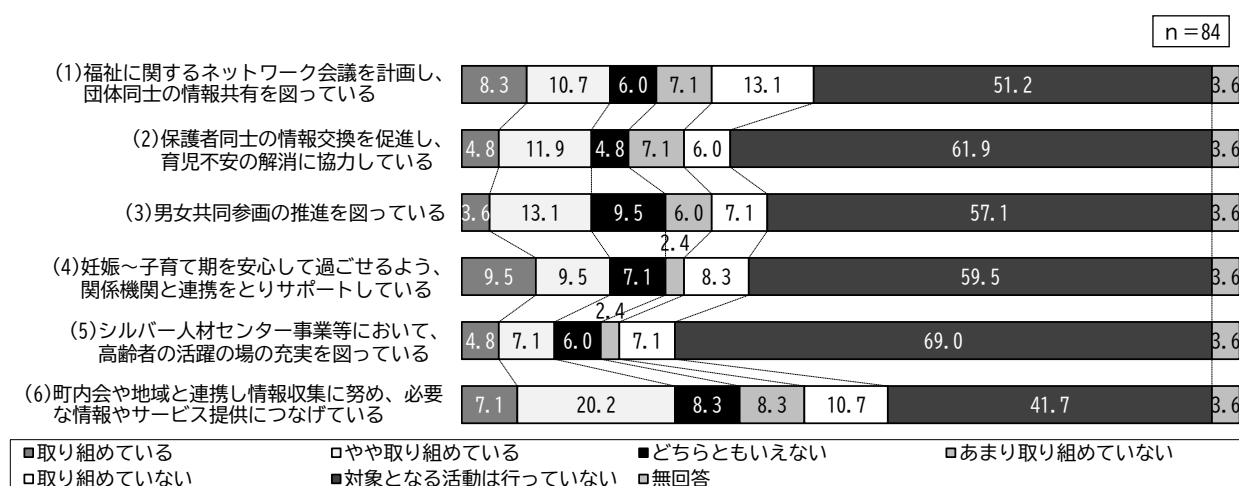


		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 高齢者に対して、体操や機能訓練の継続を支援している	1 取り組んでいる	15	17.9%
	2 やや取り組んでいる	6	7.1%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	3	3.6%
	6 対象となる活動は行っていない	46	54.8%
	無回答	3	3.6%
(2) 老人クラブへの積極的な参加を促し、イベントを支援している	1 取り組んでいる	7	8.3%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	4	4.8%
	6 対象となる活動は行っていない	47	56.0%
	無回答	3	3.6%
(3) 高齢者の見守り活動に協力している	1 取り組んでいる	10	11.9%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	8	9.5%
	6 対象となる活動は行っていない	44	52.4%
	無回答	3	3.6%

## 施策10 生きがいのある生活への支援

- 生きがいのある生活への支援のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(4) 妊娠～子育て期を安心して過ごせるよう、関係機関と連携をとりサポートしている」(9.5%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1)福祉に関するネットワーク会議を計画し、団体同士の情報共有を図っている」(13.1%)となっています。

図表Ⅲ-4-16 生きがいのある生活への支援



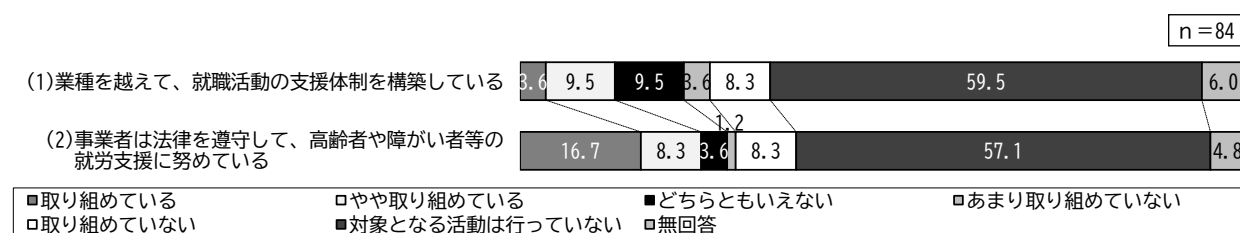
		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 福祉に関するネットワーク会議を計画し、団体同士の情報共有を図っている	1 取り組んでいる	7	8.3%
	2 やや取り組んでいる	9	10.7%
	3 どちらともいえない	5	6.0%
	4 あまり取り組んでいない	6	7.1%
	5 取り組んでいない	11	13.1%
	6 対象となる活動は行っていない	43	51.2%
	無回答	3	3.6%
(2) 保護者同士の情報交換を促進し、育児不安の解消に協力している	1 取り組んでいる	4	4.8%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	6	7.1%
	5 取り組んでいない	5	6.0%
	6 対象となる活動は行っていない	52	61.9%
	無回答	3	3.6%

		回答数	構成比
(3)	男女共同参画の推進を図っている	1 取り組めている	3 3.6%
		2 やや取り組めている	11 13.1%
		3 どちらともいえない	8 9.5%
		4 あまり取り組めていない	5 6.0%
		5 取り組めていない	6 7.1%
		6 対象となる活動は行っていない	48 57.1%
		無回答	3 3.6%
		(4)	妊娠～子育て期を安心して過ごせるよう、関係機関と連携をとりサポートしている
2 やや取り組めている	8 9.5%		
3 どちらともいえない	6 7.1%		
4 あまり取り組めていない	2 2.4%		
5 取り組めていない	7 8.3%		
6 対象となる活動は行っていない	50 59.5%		
無回答	3 3.6%		
(5)	シルバー人材センター事業等において、高齢者の活躍の場の充実を図っている		
		2 やや取り組めている	6 7.1%
		3 どちらともいえない	5 6.0%
		4 あまり取り組めていない	2 2.4%
		5 取り組めていない	6 7.1%
		6 対象となる活動は行っていない	58 69.0%
		無回答	3 3.6%
		(6)	町内会や地域と連携し情報収集に努め、必要な情報やサービス提供につなげている
2 やや取り組めている	17 20.2%		
3 どちらともいえない	7 8.3%		
4 あまり取り組めていない	7 8.3%		
5 取り組めていない	9 10.7%		
6 対象となる活動は行っていない	35 41.7%		
無回答	3 3.6%		

## 施策 11 就労と社会的自立の支援

- 就労と社会的自立の支援のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 事業者は法律を遵守して、高齢者や障がい者等の就労支援に努めている」(16.7%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1)業種を越えて、就職活動の支援体制を構築している」、「(2) 事業者は法律を遵守して、高齢者や障がい者等の就労支援に努めている」(ともに8.3%)となっています。

図表Ⅲ-4-17 就労と社会的自立の支援



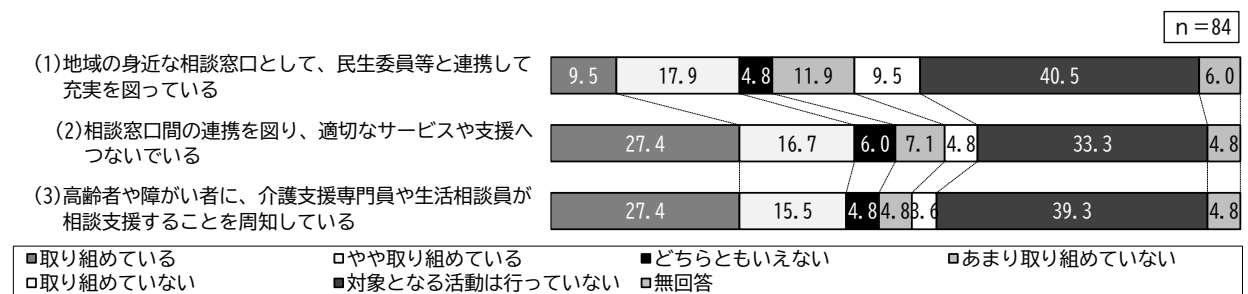
		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 業種を越えて、就職活動の支援体制を構築している	1 取り組んでいる	3	3.6%
	2 やや取り組んでいる	8	9.5%
	3 どちらともいえない	8	9.5%
	4 あまり取り組んでいない	3	3.6%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	50	59.5%
	無回答	5	6.0%
(2) 事業者は法律を遵守して、高齢者や障がい者等の就労支援に努めている	1 取り組んでいる	14	16.7%
	2 やや取り組んでいる	7	8.3%
	3 どちらともいえない	3	3.6%
	4 あまり取り組んでいない	1	1.2%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	48	57.1%
	無回答	4	4.8%

## 【基本目標4 ゆりかご前から安心できる仕組みづくり】

### 施策12 総合的な相談機能の整備

○ 総合的な相談機能の整備のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2)相談窓口間の連携を図り、適切なサービスや支援へつないでいる」、「(3)高齢者や障がい者に、介護支援専門員や生活相談員が相談支援することを周知している」(ともに27.4%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1)地域の身近な相談窓口として、民生委員等と連携して充実を図っている」(9.5%)となっています。

図表Ⅲ-4-18 総合的な相談機能の整備



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 地域の身近な相談窓口として、民生委員等と連携して充実を図っている	1 取り組んでいる	8	9.5%
	2 やや取り組んでいる	15	17.9%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	10	11.9%
	5 取り組んでいない	8	9.5%
	6 対象となる活動は行っていない	34	40.5%
	無回答	5	6.0%
(2) 相談窓口間の連携を図り、適切なサービスや支援へつないでいる	1 取り組んでいる	23	27.4%
	2 やや取り組んでいる	14	16.7%
	3 どちらともいえない	5	6.0%
	4 あまり取り組んでいない	6	7.1%
	5 取り組んでいない	4	4.8%
	6 対象となる活動は行っていない	28	33.3%
	無回答	4	4.8%
(3) 高齢者や障がい者に、介護支援専門員や生活相談員が相談支援することを周知している	1 取り組んでいる	23	27.4%
	2 やや取り組んでいる	13	15.5%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	3	3.6%
	6 対象となる活動は行っていない	33	39.3%
	無回答	4	4.8%

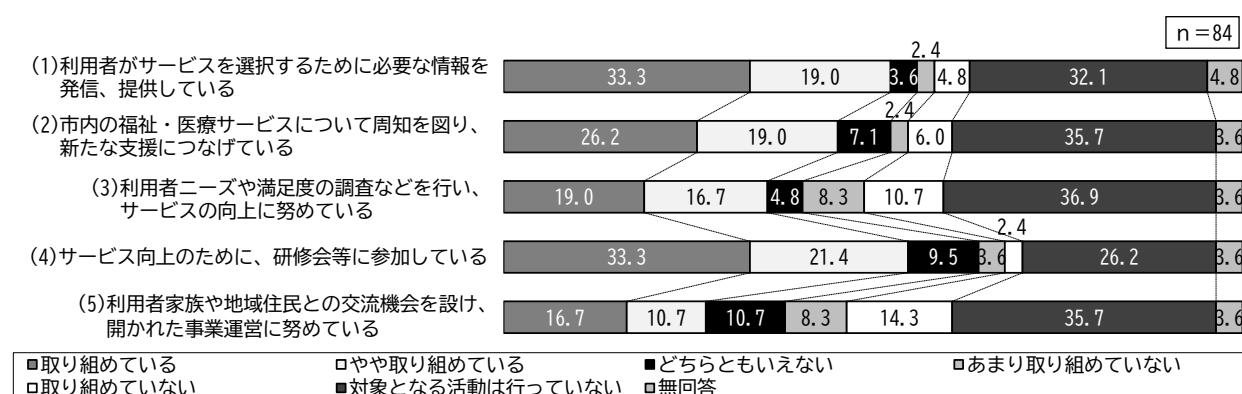
図表Ⅲ-4-19 相談窓口間の連携を図り、適切なサービスや支援へつないでいる（組織形態別）

	取り組めている	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	4.8%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	61.9%	4.8%
社会福祉法人 (n=29)	48.3%	17.2%	3.4%	6.9%	3.4%	17.2%	3.4%
NPO 法人 (n=7)	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%
その他 (n=25)	28.0%	20.0%	16.0%	12.0%	0.0%	20.0%	4.0%

## 施策13 福祉・医療サービスの適切な利用推進

- 福祉・医療サービスの適切な利用推進のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)利用者がサービスを選択するために必要な情報を発信、提供している」、「(4)サービス向上のために、研修会等に参加している」とともに33.3%、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(5)利用者家族や地域住民との交流機会を設け、開かれた事業運営に努めている」(14.3%)となっています。

図表Ⅲ-4-20 福祉・医療サービスの適切な利用推進



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 利用者がサービスを選択するために必要な情報を発信、提供している	1 取り組んでいる	28	33.3%
	2 やや取り組んでいる	16	19.0%
	3 どちらともいえない	3	3.6%
	4 あまり取り組んでいない	2	2.4%
	5 取り組んでいない	4	4.8%
	6 対象となる活動は行っていない	27	32.1%
	無回答	4	4.8%
(2) 市内の福祉・医療サービスについて周知を図り、新たな支援につなげている	1 取り組んでいる	22	26.2%
	2 やや取り組んでいる	16	19.0%
	3 どちらともいえない	6	7.1%
	4 あまり取り組んでいない	2	2.4%
	5 取り組んでいない	5	6.0%
	6 対象となる活動は行っていない	30	35.7%
	無回答	3	3.6%

		回答数	構成比
(3) 利用者ニーズや満足度の調査などを行い、サービスの向上に努めている	1 取り組んでいる	16	19.0%
	2 やや取り組んでいる	14	16.7%
	3 どちらともいえない	4	4.8%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	9	10.7%
	6 対象となる活動は行っていない	31	36.9%
	無回答	3	3.6%
	(4) サービス向上のために、研修会等に参加している	1 取り組んでいる	28
2 やや取り組んでいる		18	21.4%
3 どちらともいえない		8	9.5%
4 あまり取り組んでいない		3	3.6%
5 取り組んでいない		2	2.4%
6 対象となる活動は行っていない		22	26.2%
無回答		3	3.6%
(5) 利用者家族や地域住民との交流機会を設け、開かれた事業運営に努めている		1 取り組んでいる	14
	2 やや取り組んでいる	9	10.7%
	3 どちらともいえない	9	10.7%
	4 あまり取り組んでいない	7	8.3%
	5 取り組んでいない	12	14.3%
	6 対象となる活動は行っていない	30	35.7%
	無回答	3	3.6%

図表Ⅲ-4-21 利用者がサービスを選択するために必要な情報を発信、提供している  
(組織形態別)

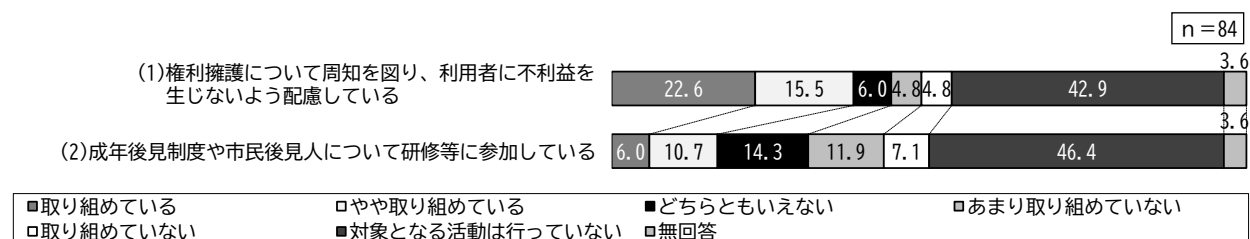
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	61.9%	9.5%
社会福祉法人 (n=29)	62.1%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
その他 (n=25)	28.0%	16.0%	8.0%	8.0%	8.0%	28.0%	4.0%



## 施策 14 権利擁護と見守りの体制

- 権利擁護と見守りの体制のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) 権利擁護について周知を図り、利用者に不利益を生じないように配慮している」(22.6%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2) 成年後見制度や市民後見人について研修等に参加している」(7.1%)となっています。

図表Ⅲ-4-22 権利擁護と見守りの体制



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 権利擁護について周知を図り、利用者に不利益を生じないように配慮している	1 取り組んでいる	19	22.6%
	2 やや取り組んでいる	13	15.5%
	3 どちらともいえない	5	6.0%
	4 あまり取り組んでいない	4	4.8%
	5 取り組んでいない	4	4.8%
	6 対象となる活動は行っていない	36	42.9%
	無回答	3	3.6%
(2) 成年後見制度や市民後見人について研修等に参加している	1 取り組んでいる	5	6.0%
	2 やや取り組んでいる	9	10.7%
	3 どちらともいえない	12	14.3%
	4 あまり取り組んでいない	10	11.9%
	5 取り組んでいない	6	7.1%
	6 対象となる活動は行っていない	39	46.4%
	無回答	3	3.6%

図表Ⅲ-4-23 権利擁護について周知を図り、利用者に不利益を生じないように配慮している  
(組織形態別)

	取り組めている	やや取り組めている	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	71.4%	4.8%
社会福祉法人 (n=29)	48.3%	24.1%	3.4%	0.0%	0.0%	24.1%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
その他 (n=25)	8.0%	20.0%	12.0%	12.0%	8.0%	36.0%	4.0%

図表Ⅲ-4-24 成年後見制度や市民後見人について研修等に参加している (組織形態別)

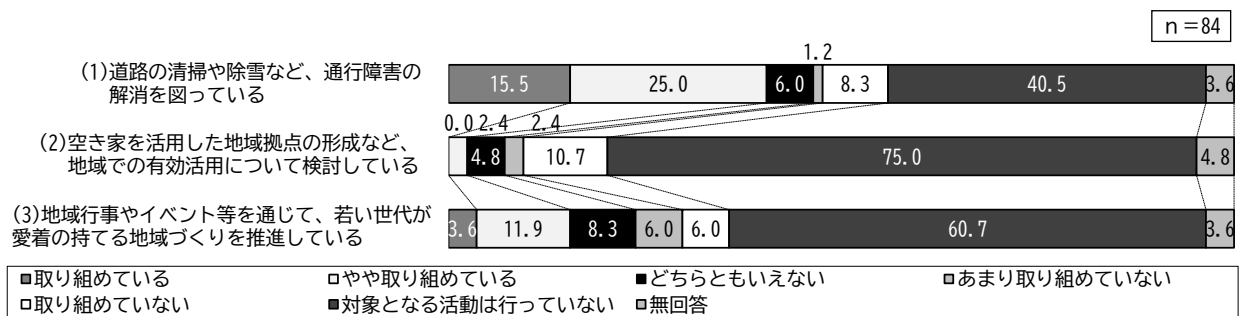
	取り組めている	やや取り組めている	どちらともいえない	あまり取り組めていない	取り組めていない	対象となる活動は行っていない	無回答
ボランティアグループ (n=21)	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	9.5%	71.4%	4.8%
社会福祉法人 (n=29)	13.8%	17.2%	27.6%	6.9%	3.4%	31.0%	0.0%
NPO 法人 (n=7)	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%
その他 (n=25)	4.0%	12.0%	8.0%	24.0%	12.0%	36.0%	4.0%

## 【基本目標5 暮らしやすいまちづくり】

### 施策15 暮らしやすいまちづくり

- 暮らしやすいまちづくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)道路の清掃や除雪など、通行障害の解消を図っている」(15.5%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2)空き家を活用した地域拠点の形成など、地域での有効活用について検討している」(10.7%)となっています。

図表Ⅲ-4-25 暮らしやすいまちづくり



		(n=84)	
		回答数	構成比
(1) 道路の清掃や除雪など、通行障害の解消を図っている	1 取り組んでいる	13	15.5%
	2 やや取り組んでいる	21	25.0%
	3 どちらともいえない	5	6.0%
	4 あまり取り組んでいない	1	1.2%
	5 取り組んでいない	7	8.3%
	6 対象となる活動は行っていない	34	40.5%
	無回答	3	3.6%
	(2) 空き家を活用した地域拠点の形成など、地域での有効活用について検討している	1 取り組んでいる	0
2 やや取り組んでいる	2	2.4%	
3 どちらともいえない	4	4.8%	
4 あまり取り組んでいない	2	2.4%	
5 取り組んでいない	9	10.7%	
6 対象となる活動は行っていない	63	75.0%	
無回答	4	4.8%	
(3) 地域行事やイベント等を通じて、若い世代が愛着の持てる地域づくりを推進している	1 取り組んでいる	3	3.6%
	2 やや取り組んでいる	10	11.9%
	3 どちらともいえない	7	8.3%
	4 あまり取り組んでいない	5	6.0%
	5 取り組んでいない	5	6.0%
	6 対象となる活動は行っていない	51	60.7%
	無回答	3	3.6%

## 5 今後の福祉のあり方

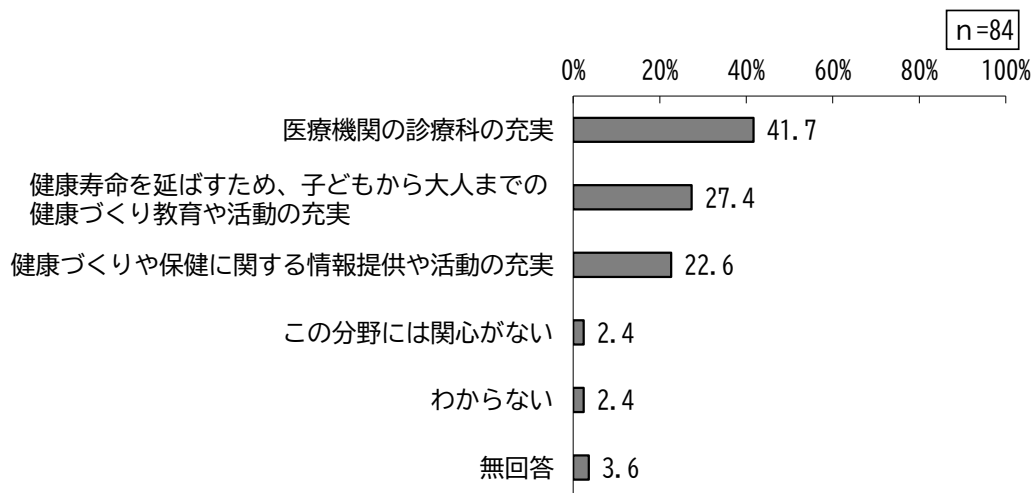
### (1) むつ市に必要なだと思う取り組み

問 むつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

#### ア 保健医療関係

- むつ市に必要なと思う保健医療関係の取り組みについては、「医療機関の診療科の充実」が41.7%と最も多くなっています。次いで「健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実」が27.4%、「健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実」が22.6%となっています。

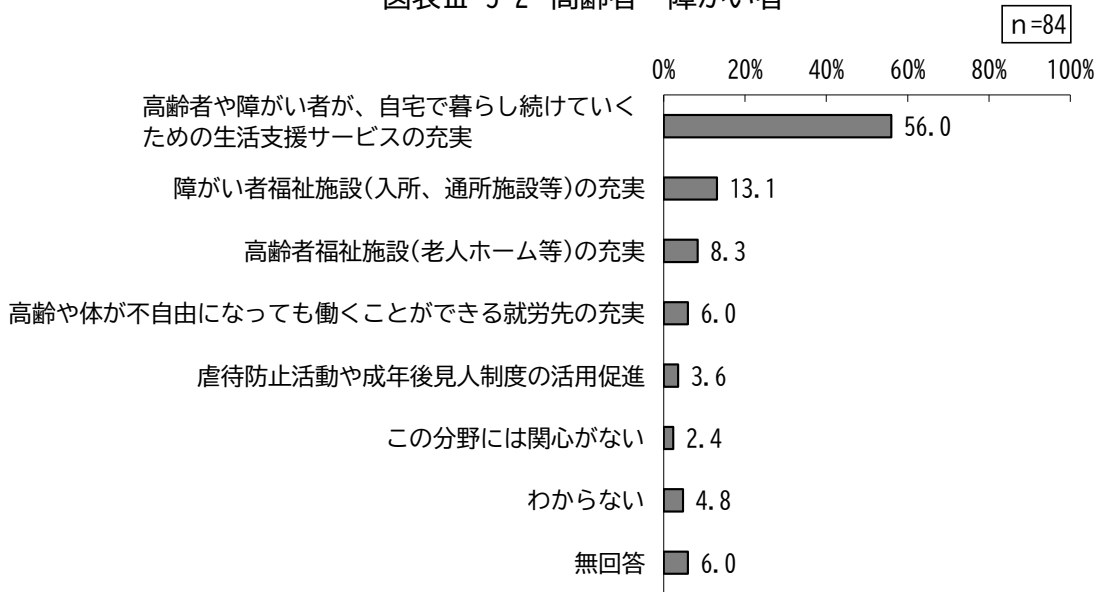
図表Ⅲ-5-1 保健医療関係



## イ 高齢者・障がい者

- むつ市に必要なと思う高齢者・障がい者に関する取り組みについては、「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が56.0%と最も多くなっています。次いで「障がい者福祉施設(入所、通所施設等)の充実」が13.1%、「高齢者福祉施設(老人ホーム等)の充実」が8.3%となっています。

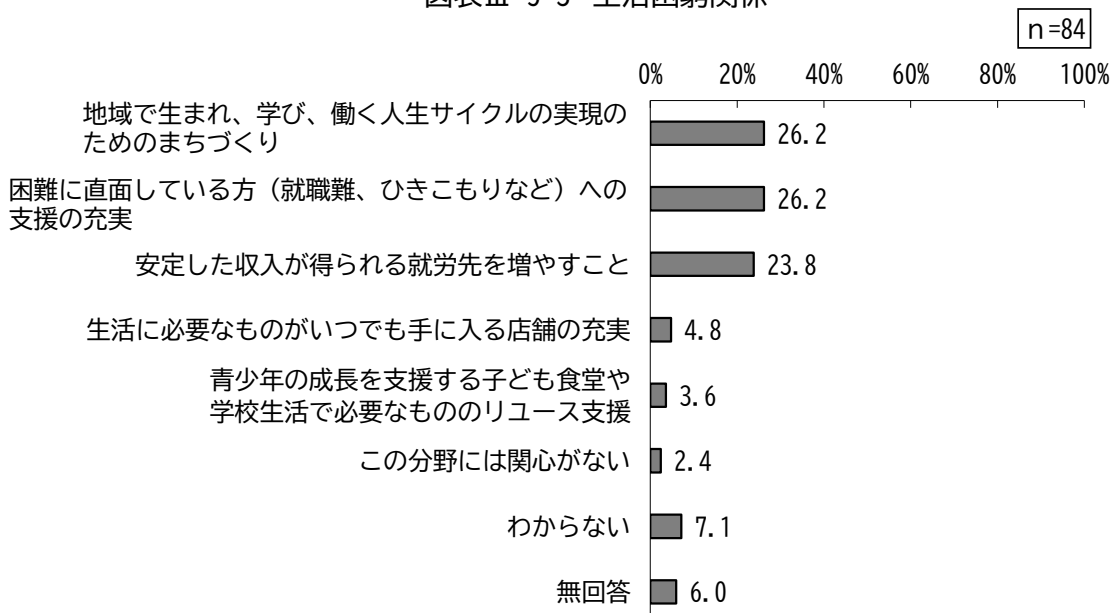
図表Ⅲ-5-2 高齢者・障がい者



## ウ 生活困窮関係

- むつ市に必要なと思う生活困窮関係の取り組みについては、「地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり」、「困難に直面している方(就職難、ひきこもりなど)への支援の充実」がともに26.2%と最も多くなっています。次いで「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が23.8%となっています。

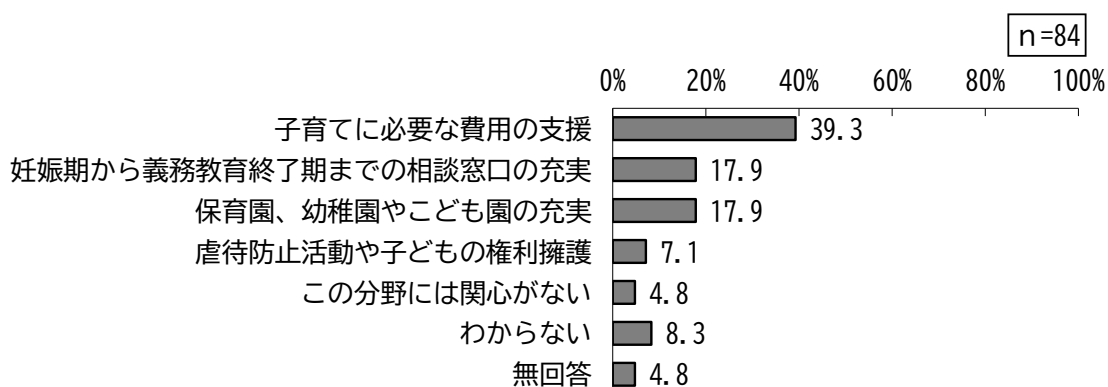
図表Ⅲ-5-3 生活困窮関係



## エ 子育て関係

- むつ市に必要だと思う子育て関係の取り組みについては、「子育てに必要な費用の支援」が 39.3%と最も多くなっています。次いで「妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実」、「保育園、幼稚園やこども園の充実」がともに 17.9%となっています。

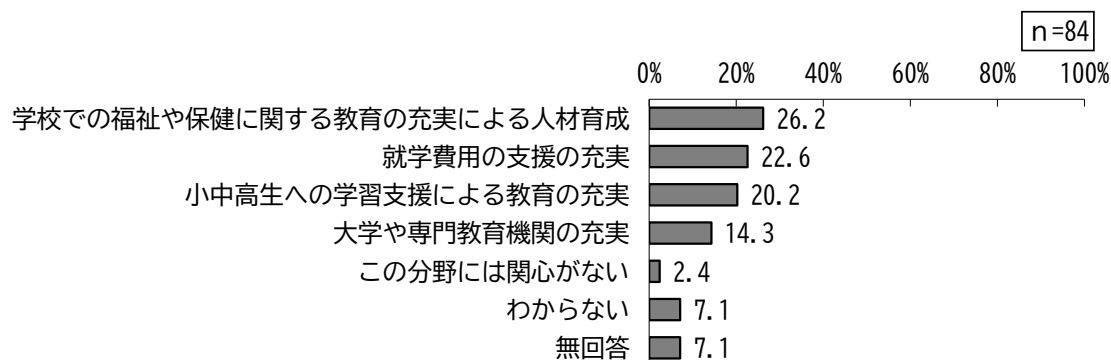
図表Ⅲ-5-4 子育て関係



## オ 教育関係

- むつ市に必要だと思う教育関係の取り組みについては、「学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成」が 26.2%と最も多くなっています。次いで「就学費用の支援の充実」が 22.6%、「小中高生への学習支援による教育の充実」が 20.2%となっています。

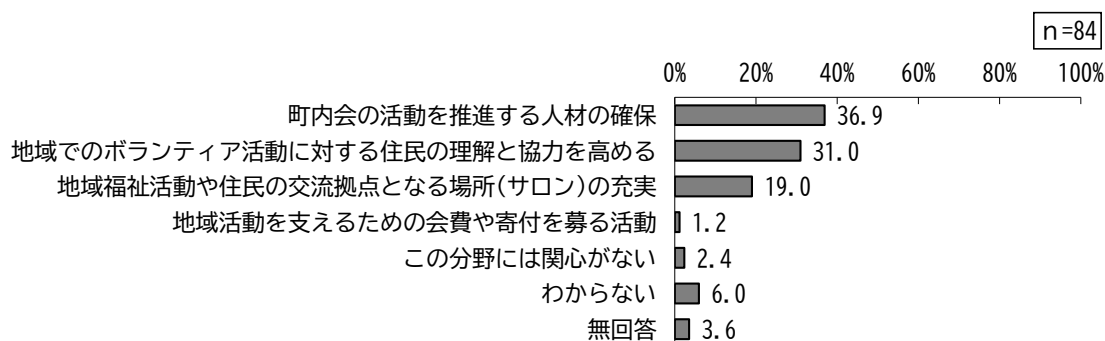
図表Ⅲ-5-5 教育関係



## カ 地域活動関係

- むつ市に必要だと思う地域活動関係の取り組みについては、「町内会の活動を推進する人材の確保」が36.9%と最も多くなっています。次いで「地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める」が31.0%、「地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所(サロン)の充実」が19.0%となっています。

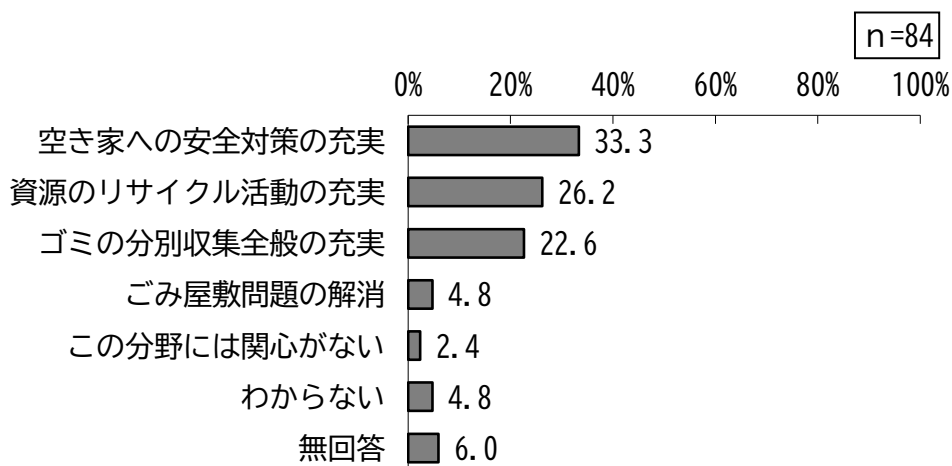
図表Ⅲ-5-6 地域活動関係



## キ 環境関係

- むつ市に必要だと思う環境関係の取り組みについては、「空き家への安全対策の充実」が33.3%と最も多くなっています。次いで「資源のリサイクル活動の充実」が26.2%、「ゴミの分別収集全般の充実」が22.6%となっています。

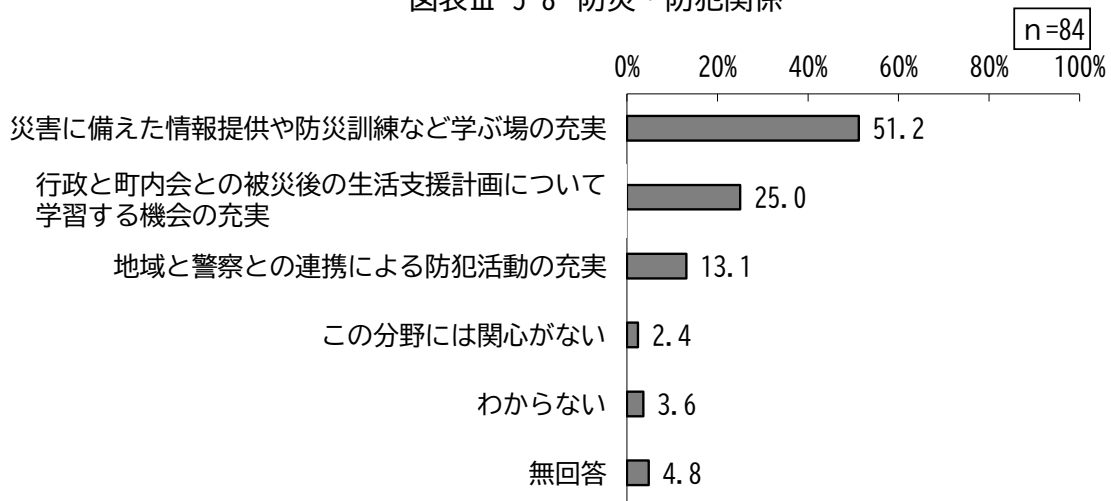
図表Ⅲ-5-7 環境関係



## ク 防災・防犯関係

- むつ市に必要なと思う防災・防犯関係の取り組みについては、「災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実」が 51.2%と最も多くなっています。次いで「行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実」が 25.0%、「地域と警察との連携による防犯活動の充実」が 13.1%となっています。

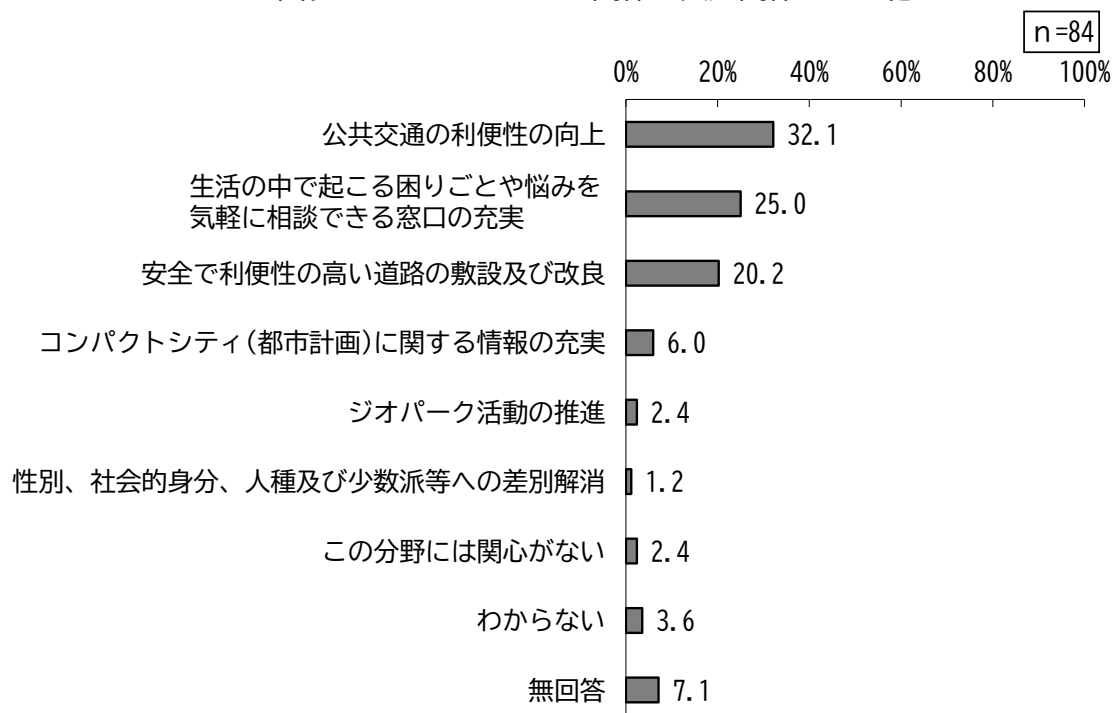
図表Ⅲ-5-8 防災・防犯関係



## ケ まちづくり関係・交通関係・その他

- むつ市に必要なと思うまちづくり関係・交通関係・その他に関する取り組みについては、「公共交通の利便性の向上」が 32.1%と最も多くなっています。次いで「生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実」が 25.0%、「安全で利便性の高い道路の敷設及び改良」が 20.2%となっています。

図表Ⅲ-5-9 まちづくり関係・交通関係・その他



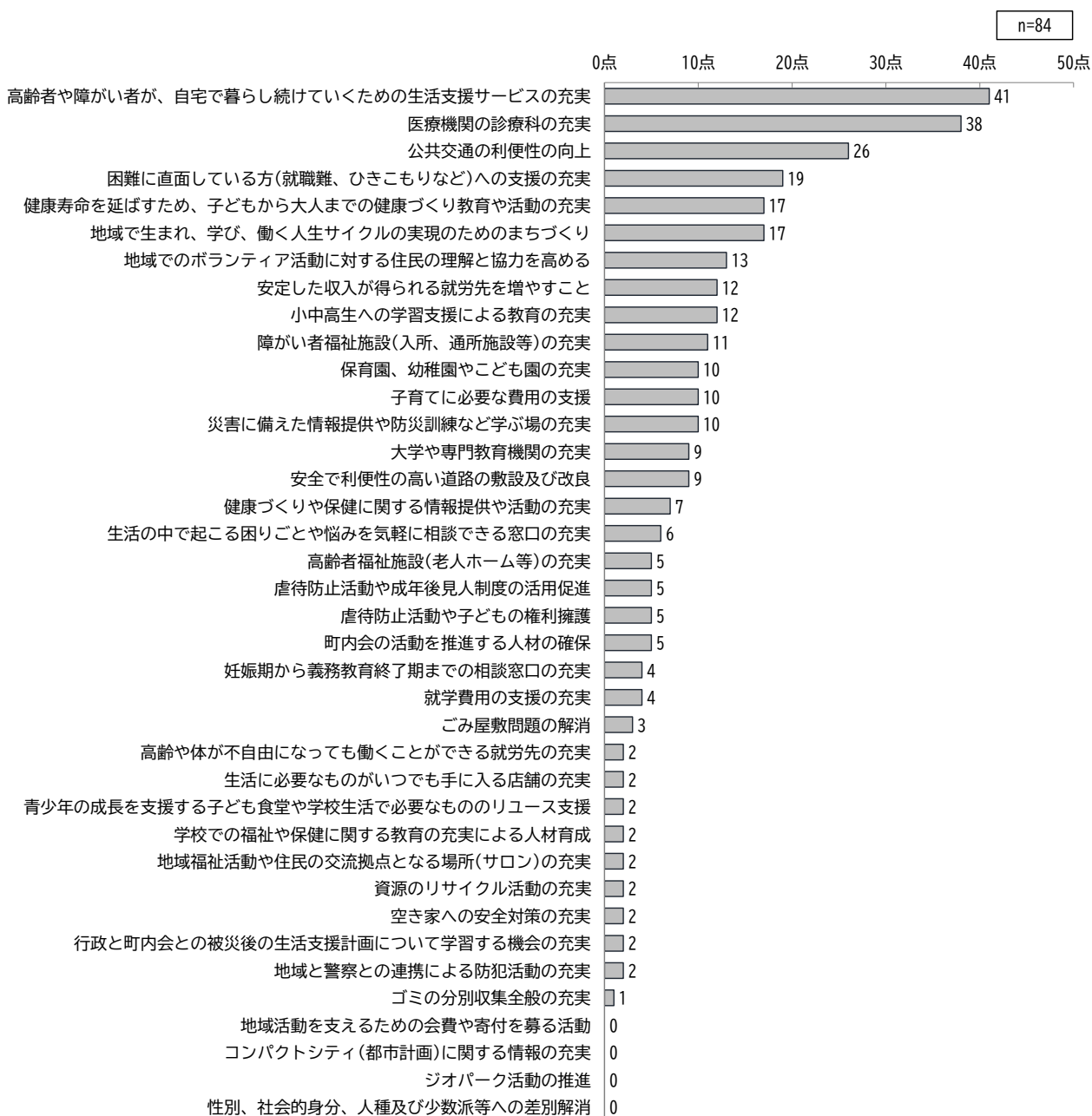


## (2) むつ市に最も取り組んでほしいこと

問 前問で選んだ項目の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選んでください。

- むつ市に最も取り組んでほしいことについては、「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が41点と最も多くなっています。次いで「医療機関の診療科の充実」が38点、「公共交通の利便性の向上」が26点となっています。

図表Ⅲ-5-10 むつ市に最も取り組んでほしいこと



※1位を「3点」、2位を「2点」、3位を「1点」として合計点数を算出しています。

## IV 資料編

### 1 今後の地域福祉への意見

今後もっとも取り組んでほしいことについてアンケート調査に寄せられた、自由意見の抜粋を掲載します。(寄せられた意見は、原文をそのまま掲載しております)

#### (1) 町内会

##### ◎ 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実

健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実に寄せられた自由意見
当地域は6世帯中4世帯が町内会加入で、全世帯60歳以上の一人世帯であるため、皆健康であることが必須である。高齢である者の生き方には、関心を持っていると思う。
健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実。

##### ◎ 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実

健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実に寄せられた自由意見
健康でなければ、希望を叶えることが不可能。
・短命県、短命なむつ市からの脱却を！ ・冬季のスポーツ(特にスキー場へのスキーヤー増への施策) ・第1リフトがペアリフトになるだけでなく、1人でも多くスキー場へ足を向ける人が増えるための施策(サービス、スキーヤーズ目線、日本一の景観、レストラン、リフト料金など)
情報提供だけだと、どうしてもスルーしてしまう。教室・集会などを設定して。
健康寿命が短いと、生産人口・労働人口の減少につながり、健全な地域を維持することが難しくなる。また、多くの人々が定期的に健診を受け、病気の早期発見に努めれば、医療費の軽減につながる等、健康づくりは自分だけのことではなく、住んでいる地域の健全化・活性化にもつながるということに関係(担当)機関・団体は繰り返し時間をかけてお話ししていただき、「地域住民の意識を変える」を合言葉に活動していただければ幸いである。

##### ◎ 医療機関の診療科の充実

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
大きい病院でもすべての診療科がない。
高度医療の診療科が少ない(脳外科など)
それぞれの専門医が少なくないので、不安である。大変だろうが脳外科医等むつ病院にお願いしたい。高齢者の多くが患者も多く、よろしく願いたい。
むつ病院について述べると、全体的に医師が若年が多い。また、機械的な対応に感じる。温かみをそんなに感じない。
仕事終わりに受診できるように医療機関の営業時間を長くしてほしい。
医療機関、第一にむつ病院、医者及び看護師の対応の悪さ。外の病院に行き、研修してきてもらいたい。医師の技能のなさ、いくら良い器具を入れても使えない。レントゲンは見れない、あまりにもひどい。外の病院に行きたくても行けない事情があり、仕方なくむつ病院に行っている人が多いこと。もう少し市民の事を考えてもらいたい。

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
むつ総合病院での長い待ち時間の解消をお願いしたい。内科診察室の入り口の壁に"電子カルテ等の記入を医師以外の者が入力している"旨の掲示に驚いた。また診察に伴い検査の予約が別室で、医師以外の者が予約日を決めていることにも違和感がある。カルテ、そして検査日の決定は、医師と患者とが会話しながらどこの病院でも行っている。また、カルテを袋に入れて検査室に持参していること自体、電子化されていないため発生することで、検査、着替えの用意等を持参している患者にさらに荷物を持たせることにも疑問が生じる。病院のクリティカルパスの検討、根本的医療体制の見直し、充実した医療提供をお願いしたい。"呼び出し番号センター""大型スクリーン"もいいけど、根本的な医療提供システムの構築が必要だと思う。
むつ病院の例であるが、待ち時間が長い、診療がない日がある等から、医師確保が必要ではないかと思っている。
医療機関への通院は立地的に不便である。当桜木町地区には自衛隊病院、リハビリティ病院などの医療施設がありながら、診療ができないことは国策・市策が機能していないことと思われる。
地域医療の向上。
県内外の大病院に行かなくても良くなる。
各診療科の待ち時間を電光掲示板方式にできないか。(例:ドコモむつ店の表示がわかりやすい。)
大畑診療所に整形外科受診ができるよう、診療科の見直しを、指定管理者に働きかけていただきたい。
むつ市、下北全域の広域総合病院として、医療機関(医師)の充実に努めてほしい。
医療機関のさらなる充実を要望する。
脇野沢診療所は外科の先生だけなので、高速船で青森市の病院へ行く人もたくさんいる。

◎ 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実

高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実に寄せられた自由意見
後見人制度の周知活用。
現在は、何とか各自で生活している(自立)が、高齢になるにつれ、不安な思いで過ごしていると思うので、安心して過ごせるようなサポートを望みたい。
先日、町内会長宛て、災害発生時等の対応として、支援が必要とされる"避難行動支援プラン"が届けられた。規模の大きい町内会で膨大なリストをいただいても掌握して対応するのは極めて難しい。これらを副会長に分割配布するとして、情報管理上難しいむつ市地域福祉計画では"自助""互助""共助""公助"をバランスよく組み合わせる必要がある、としている。また、町内会未加入の方を「互助」の領域に組み入れることは困難であり、この「互助」が課題であり、共助、公助の領域に組み入れる工夫が必要であると考えている。町内会未加入者についての対応計画が必要だと思う。
除雪、ゴミ出し、買い物など、一人暮らしの高齢者等が日常生活に支障が生じないような施策の推進をお願いしたい。町内会でも支援ができる体制を整備できないか検討したい。
施設に入所するにも年金が足りず、入れそうにない方もいるので、動けなくなっても自宅で暮らさざるを得なくなった時、支援をしてもらえるようになればと思っている。
一人暮らし世帯が多くなってきているので、見守り等高齢者の支援体制の充実が望まれると思う。
自分で解決できない事柄は多いと思われる。生活支援サービスの充実は不可欠。

◎ 高齢者福祉施設の充実

高齢者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
当町内においても、高齢者が認知症に近い症状に至ると、自宅での介護は困難となり、施設への入所となるケースが多くなってきた。今後も増えると思われるので、受け入れる施設が不足しないように対応していただきたい。
高齢者福祉施設と関連できるかわからないが、市営住宅に一人暮らしの人が入れる住宅を創ってほしい。入居者募集の時は二人以上が対象ということなので、民間借家に入るしかなく、家賃の負担が多く、困っている人がいる。
高齢者の一人暮らしや、夫婦暮らしができなくなる将来が見え見えの状況なので、希望している人々が入りやすいように充実していただきたい。(希望待機者が長期間待たないように。)
要支援の方は、入所したくても入ることができずに困っている方もいるので、施設で受け入れやすいようにしてもらえないものか。

◎ 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
長期に働ける企業誘致を進めてほしい。

◎ 安定した収入が得られる就労先を増やすこと

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
就労先が少なく選択肢が少ない。
所得水準向上に向けた企業誘致活動を行政に取り組んでほしい。所得水準が向上することで、子育てや就学に係る費用を軽減できると思う。今のむつ市には魅力ある施設があまりにもなさすぎる。
収入の充実はとても大切なことと思う。
安定した収入が得られる就労先を増やすこと。
地元に向く場所がないため、必然的に若い世代から高齢者の方まで職をもとめて都会へと働きに出る。年に5月連休・お盆・正月と3回の規制その繰り返し。若い方々もいない地域は、少子高齢化を迎えるとともに、過疎化の一途となる。地域の皆さんが働ける場所を設けてほしい。
近くに就労先があれば、地元に残る若者も多くなると思う。

◎ 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実

生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実に寄せられた自由意見
買い物弱者となっており、これから高齢化が増加し、歩行困難または苦勞する状況にある。買い物バスも利用できないことが想定されるので、良策がないものかと思っている
店舗が減少しており、さらに食料品店を中心としたのが少なくなると、高齢者の動きが更に鈍る。
日常生活を購入する店が近くにない。

◎ 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
酪農町内会は、北海道からの開拓者でまもなく80周年を迎えるが、だんだん忘れられていく感じがする。
市内の就労先増加のための業者への支援、指導他(就労先増加の一つの案として下記により) ※現状を見ると誘致企業も制作としてはと思うが、誘致企業は状況が悪くなればすぐ撤退するが、地元企業は最後まで頑張っていると思う。誘致企業への支援も良いが、地元企業への支援が大事と思うが(指導も含め)。

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
地元で働くことが望ましい。
若者世代の減少とそれに伴った少子化。地元で仕事、生活できる環境づくりをお願いしたい。

◎ 保育園、幼稚園やこども園の充実

保育園、幼稚園やこども園の充実に寄せられた自由意見
若い親の働きやすい環境を整えることが地域の人口の増加になると思う。そのため、保育園や幼稚園の充実が必要であると思う。

◎ 子育てに必要な費用の支援

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
一定条件で、給付型の支援。
若者の教育が人材育成に欠かせない。
人口減少に歯止めがかからない理由の第一だと思う。
人口増加を考えるのが先決(子どもを育てやすい支援等)。
子育てに金がかかるので、子どもを増やせない現状がある。市内の一般会社員は所得が限られている。高齢者と違い、今の若者は生活レベルを落とさず子どもを増やそうと考えるので、子どもの出生率が上がらない。したがって学生でいるうちはある程度の補助が必要だと思う。
・中学生以下の病院代金を無料にする。 ・学校費用(給食費無料等)無料他。
生活するのにいっばいで、子育て費用が回らず、子を産むのに悩んでいる。
子育てに必要な費用について、子育て中の理事及び会員の意見としては、子どもが病気になった時、医療費の負担が大きい。小・中学生の無償化を望む声が多い。
子育て施設入園費用と家を建てる時期が重なることが多い。(学習支援につながる)

◎ 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成

学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成に寄せられた自由意見
学校独自で保健や福祉の意識を子どもたちに植え付けるのは至難である。病院や役所、老人ホーム等の関係者が学校教育の妨げにならない範囲で縦横に組織的に関わってほしい。

◎ 小中高生への学習支援による教育の充実

小中高生への学習支援による教育の充実に寄せられた自由意見
地域の子供たちの学力を都市部の学力と同程度まで向上させることにより、自己の希望する職業の選択肢を広げることができ、個々の将来の目標達成がより確かなものとする事ができる。
小中高生への学習支援による教育の充実。
脇ノ沢、川内地区から旧市内の高校に通学する交通量が大変だという話を聞く。
旧脇野沢村の現在児童生徒数が小学校12名、中学校8名であり、教育全体にいろいろな問題があると思う。現児童生徒数から考えれば、旧川内町、小・中学校との統合を考える時期ではないか。

◎ 大学や専門教育機関の充実

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
市内にそのような教育機関があれば優秀な若者が地域で活躍できるようになり、ひいては No.16 (地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり)にも影響してくるものと考え。

◎ 就学費用の支援の充実

就学費用の支援の充実に寄せられた自由意見
所得が低くても、安心して高度な学業を学べるような、給付型の支援。
むつ市の今後の発展のため、これの充実をしてほしい。
貧困による学歴格差をなくす。
少子化に伴い、学校の再編成が検討されている。地域によっては従来よりも子どもへの出費が多く、奨学金制度だけでなく、何らかの形での補助金助成が必要かと思うので、よろしく願います。
脇野沢～大湊高校、むつ工業高校、田名部高校への通学バス費用は、年間 30 万円以上で、旧むつ市からの通学者とは就学に係る費用が格段にちがう。青森県に対して強く要望していただきたい。(通学日補助)

◎ 町内会の活動を推進する人材の確保

町内会の活動を推進する人材の確保に寄せられた自由意見
町内会加入者が少ない、入りがらない、また高齢化が進んでいる町内会が多くあり、それにより役員及び会長に手を挙げる人がいない。いずれ町内会が解散する時期が遠からず来るのではないかと。心配される勝手すぎる市民が意外と多い。ゴミ出しにしてもルールを守らない、当番もしない。時代でしょうか。若い皆さん働きが大変なものわかるが、意外と若い人々の協力が無い。町内清掃時にも参加なし。特にアパート、借家が。
コミュニティを維持するための喫緊の課題である。現役員も積極的に声掛けしているところであるが、強制はできない。後継者がいないため、解散せざるを得ない町内会や諸団体も増えている。町内居住者でなければ、役員になれない、しないではなく、役員報酬の付与(当町内会は全てボランティア)も含め、シルバー人材センター友人他、幅広い視点から、コミュニティ維持のための人材集めを行う。
すべてにおいて異質、多様が同居している町内会において、共通の恩恵を考えながらとなると、少し暇な人でないといけないなあと早くもため息をついている。
各町内会における課題や困りごとを共有する場の提供及びそれらの課題等の解決に向けた方策の具体的提示。
町内会の役員はボランティアで活動している。そのために若い方は役員になりたがらない。現実に働いている人が多い。役員の方は退職した方がなり、一度なると退任するのに苦労している。元気なうちにバトンを渡したいと思う人が多い。
役職をお願いするにあたって、名前が挙がる方でも、「〇〇をやっているのだから」という断りが多い。また、たくさん活動をされている方もいて、難しいところがある。
「理事の確保」を重点事業に掲げ、役員の後継を回っていきたいのだが、町内世帯数や会員数の減少、若者の少数化、町内会活動への不参加、会員の高齢化等で、役員の引き受け手がなかなか見つからない。
町内の次世代に不安があり、高齢になれば人材が不足するので、どうしたらよいか、先行きが心配。
高齢化が進み、若人が少ない。(仕事の間が市内に少なく、他方に行き、町内の働き手が市外に出ている。)

◎ 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める

地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めるに寄せられた自由意見
町内会活動の参加率が高いのが、春と秋の大掃除である。当町内会では、これを利用し、親睦会を実施したいと考えている。ついては、春・秋に固定せず、夏でも可としていただきたい。町内会に入会している多くは、ゴミ小屋の利用が実情である。また、現在では町内での活動より、家庭を優先しているのも事実である。さらに、町内役員も高齢化（後選）が主体であり、柔軟性に欠けるのも、町内離れの一因である。若い人材ができる町内会づくりが必要と考える。
高齢化により地域活動が少なくなっていく。

◎ 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実

地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実に寄せられた自由意見
町内会の活動拠点となる場所がないため、他町内会との共同利用でも良いので、コミュニティセンターを建設してほしい。
歩いて通える場所に集会場の整備をし、交流ができることが大切である。商工会の支所、急農協事務所等の活用で、町内民に開放できないか。

◎ ゴミの分別収集全般の充実

ゴミの分別収集全般の充実に寄せられた自由意見
広報で 1 ページを毎月使い、ゴミの分別収集や不法投棄撲滅への協力依頼をしてほしい。ゴミの量の増減を載せるより優先してほしい。
資源ゴミの日は月に 1 度だけなので（第 2 火曜の 6 時～8 時）、その時出すために自宅で保管しておくことは困難で、結局燃えないゴミとしていっしょくたに出してしまうというのが実態で、最近大型店などでの分別資源ごみ受け入れ様式は参考になると思う。
ゴミ小屋当番管理、高齢者持ち家の皆さんが頑張っている状況。転居入時に市民課を訪ねる折、特に転入届の折に、町内会に協力されるよう文書にしてチラシなどを発信してほしいと思うが。若い方々の協力があまりにも足りない。ルールも守らない。
・ごみの分別を理解できない（広報等のチラシが難しい？）、そんな人が多い。 ・面倒な人も多くいると思うが、だれが出したかわからないので、町内会としてはなかなか指導できないのが現状。 何か良い方法はないか。
《ゴミの分別収集全般の充実》 むつ市ではごみ小屋の設置、回収場所の決定を町内会へお願いしているようになっているが、町内会未加入の世帯のための対応として、また不法投棄対策として、市で回収場所を確保する方法を検討していただきたい。具体的には、エリアごと、一定区画ごとに市が直接管理する集積場所を設置することを提案する。また、高齢者には現在の資源化物の分別はかなり難しいと思う。スチール缶、アルミ缶の分別すら難しいのではないか。回収区分もわかりやすく、もえるごみ、もえないごみと 2 区分くらいでも良いと思う。現在のアックスグリーンは搬入されたもの全てが資源化されることになっており、一般の人たちにはわかりにくい分別収集体制だと思ふ。
旭町のゴミ小屋は老朽化しているところが多く、町内及び使用者での建て替え、修繕には多額のお金がかかるので、市の方でいくらかの助成ができないか。これは各町内会でも同じ意見であると思う ※今年、ゴミ小屋新替えした班の例では、鉄製の小屋で約 23 万、1 世帯約 1 万を負担。

◎ 資源のリサイクル活動の充実

資源のリサイクル活動の充実に寄せられた自由意見
全てのゴミの分別を良くし、少しでもリサイクルとゴミの量を増加させるためにも、ゴミ袋の単価を上げてほしい。
ゴミの分別収集から資源のリサイクル活動へ進めてもらいたい。

◎ 空き家への安全対策の充実

空き家への安全対策の充実に寄せられた自由意見
町内会が所在する場所が商業地域であり、空き店舗が多い状況にある。行政からも貸店舗でも良いので、バックアップをしていただけると幸い。
市内には空家が目立っている。またよく手入れされていない空地も多い。所有者に管理させるよう、法的に強制できないものか、検討してもらいたい。
空き家の安全対策はもちろんであるが、空き家・空地の有効活用の推進及び、放置空き家の解体も尽力していただきたい。
空き家が3軒になった。今後も増加するだろう。親が死亡、その息子が管理すべきであるが、遠地のためか、なされていない。人の侵入や小動物の出入り、樹木の放置、壁他の損傷、用品の放置等が著しい。役所を通して、所有者に声掛けしてもらってはいるが、美化・安心・安全に相当の問題があり、より強い指導ができないものか。町内会としては、新所有者との疎通がなく、対応が難しい。
空き家もあるので、交番署から巡回してくる警察の方にもお願いしているが、隣が遠いし、夜は暗いので、巡回の回数等に特段の配慮をお願いしている。
高齢化→施設入所→末期 上記のような流れになると、相続する者を探すのが困難。現在でも空き家問題が深刻(近所の住人の危険)であるが、ますます進行することが心配。早急に対策が必要と思われる。
空家適正管理条例作成に関連し、市からの協力要請に基づき、町内の空家調査を行い報告した。その後の空家対策の進捗状況が把握できないことから、空き家近くの住民から倒壊、トタン・木材の飛散等の不安があるとの連絡を受けている。今後、定期的(年に1回程度)に空家対策の現状、進捗状況を教えていただける体制づくりをお願いしたい。
現在町内にはかなり多くの空き家がある。なかには崩壊寸前のももあり、町内会としても関係者をお願いしたり、市役所とも相談したのだが、解決の見通しが立たない。地域の環境・安全上の問題として大変苦慮している。
空家が増え、強風時はトタン等がはがれる危険があり、その都度消防が警戒に当たっている。所有者不明、連絡不能の物件もあり、取り壊しに費用もかかることから、地域の安全に大きな課題。今後ますます主因的な問題。行政の良案を求めたい。
空き家(工場他)が道路に面しているため、風邪で屋根や外壁が飛んできたり、冬はまともに屋根の雪が道路に落ちる。
当町内会でも空き家が10軒くらいあり、2軒が老朽化し、近隣から苦情がある。
倒壊危険のある空き家があり、根本的な解決、もしくは危険回避の処置をお願いしたい。
荒廃した相続放棄の空家が複数あって、周辺住民が困っている。行政が解体できる特例法等の立法を市から国に働きかけていただきたい。
空家がだんだん多くなり、外壁や屋根のトタンが落ちたり、飛んできてくる。
地元には空家が多くあるが、解体費が多額であり、放置されたままである。解体に要する費用に対し助成があれば、多少は解消されると思う。
朽ち果てそうな空家が見受けられ、危険であると同時に景観的にも悪い。

◎ 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実

災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実に寄せられた自由意見
近年の異常気候に対する備え、知識の習得。
「災害発生時の要援護者への支援の方法」を今年度も重点施策に掲げ、災害発生時にどの要援護者を誰が助けるのかについて検討してきたが、名案が浮かばず未解決のままでいる。外部研修会へ努めて参加しているのだが、良い情報は得られていない。
災害時、要援護者を始め、住民の命を守るため自主防災会防災計画を作成しているが、これまで避難誘導訓練を行っていない(主に防災訓練、炊き出し訓練)。今後、行政担当課、消防機関等の支援をいただき、防災訓練の知識及び合同訓練をお願いしたいと考えている。
少子高齢化により地域体力の低下が著しく、自助・共助が不安。また、大畑庁舎の縮小(消防団員の減少)等で、公助の部分にも大変不安に思っている。行政とより連携できる体制づくりをお願いしたい。



災害に備えた情報提供や防災訓練など学び場の充実に寄せられた自由意見
<p>昨年の訓練からもっと具体的にやってもらいたい。</p>
<p>災害時に行政からの情報伝達が、屋外の防災放送のみで生活している人には皆無であり、屋内でも放送が聞ける戸別受信器の設置を要望する。</p>
<p>防災訓練等の実施。</p>
<p>自然災害、火災等いろいろあるが、消防関係について、消防も医療と同じく広域組織で活動しているが、噂では旧脇野沢村に旧川内町の消防分署の統合と聞いているが、そのような計画があるならば、事前に各地区に説明・相談してほしい。</p>

### ◎ 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実

行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実に寄せられた自由意見
<p>災害は突然が当たり前のため、常に注意を喚起してほしい。</p>
<p>防災計画は県・市共に作成し周知しているが、実行では市行政において件の危機管理が作成した計画を自主防災組織に丸投げ感が否めない。防災システムの放送不備を指摘しても、今後のシステム変更を控えて対応が遅い。ハザードマップでの危険個所に対しての住民説明などもマップの配布のみで、周知を終わらせている。</p>

### ◎ 地域と警察との連携による防犯活動の充実

地域と警察との連携による防犯活動の充実に寄せられた自由意見
<p>様々な不安に感じられることがあるが、個人で対処することもできず、そのような不安を少しでも解消するため、定期的に景観と町内会役員が町内を見まわること、制止力として効果があるのではないかと考える。(文化会館駐車場でのドリフト運転、聞きなれない言葉でどなりながら電話している人々等々…)</p>
<p>夜間に歩き回る野獣(キツネ、穴熊)などの被害により、伝染する病気について心配があり、ほかくなどの対応してほしい。</p>

### ◎ コンパクトシティに関する情報の充実

コンパクトシティに関する情報の充実に寄せられた自由意見
<p>コンパクトシティ、アゲハ蝶などの都市計画は、長期的に市の展望とみるが、対象外の大湊地区への説明が少ない。商業施設が皆無に等しいこれらの地区への都市計画税を有効に活用するための説明が必要と思われる。</p>

### ◎ 公共交通の利便性の向上

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
<p>私自身感じているが、高齢にて免許返上し、車もない。よって交通が不便に思う。市内バス利便がもう少しなんとかならないものかと思う。市内道路網が大変と思うが、タクシー・バスの割引とか何かしら手立てを。 ・我がむつ市、市長よくがんばっている。嬉しいこと。他町村の皆さんが認めている。</p>
<p>当町内にも、買い物困難な弱者が増えつつあり、ワンコインバスのような定額で、近距離から利用できる交通網の構築をお願いしたい。</p>
<p>当町内を通るバスの本数が少ない。これから自動車を止める方も出てくると思う。他の地域で見られる100円バスのように安価で気軽に利用できる交通体制がほしい。</p>
<p>高齢化の向上に伴い、運転免許返上となれば、当面市街地へ出向いて買い物が必要となる。マイナンバー取得者に対する優遇制度ができたようだが、一層の向上を希望する。我々の地域(大字屋内や中野沢)から市役所へ行きやすくなるよう、バスルートの新設もお願いする。</p>
<p>70~80代が大半を占めている当町内会、今は車を運転しているが、5年~10年後は不安である。JRバスは田名部方面 2~3時間間隔で1日午前2便、午後3便運行している状況である。マエダさんの買い物バスは朝1便。JRバスは大型バスでなく人数に合わせた小型化で1便当たりの経費を詰め、その分を増便、市は運医業者とタイアップして、かゆいところに手が届く対応がほしいものです。</p>

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
昼間(13時~17時台)の大畑~むつバスターミナル間の次のバスのダイヤまでの間隔が、4時間10分もあり、バスを利用した日中移動が不便である。市から下北交通(株)にダイヤ見直しを働きかけていただきたい。因みに7月9日現在の湊バス停発13:08むつ行の次のダイヤは17:18で、前述の空白時間帯がある。
交通網の整備は、非常時だけでなく、地域の発展のためにも必要である。下北半島縦貫道路として何十年になるのか。いまだ見通しもつかない。毎年多少の予算計上はあるかと存じるが、一刻も早く地域経済の発展と原発も抱える現状を踏まえ、移動手段の早期完成を願っている。(まだ未着手の区間はむつ管内で多数ある)。
むつ病院へ通院のバスダイヤが少ない。
80代以上の高齢世帯が増えているので、デマンドタクシーの利便性(乗降場所を増やす)を要望したい。

### ◎ 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良

安全で利便性の高い道路の敷設及び改良に寄せられた自由意見
健康のため歩く人が増加している。放水路道路も多くの方が歩いているが、雑木が成長し、薄暗くなってきた。中学生や高校生も通学路として利用しているため、ボランティアで草刈をしているが、木を切ることができず困っている。市道、県道が周辺にあるが、路面の排水口が、土や枯葉で埋まり、機能が役立っていない。車に水をかけられる歩行者も多くいると思うので、改善してほしい。町内の道路で見通しのきかないところや急に狭くなる箇所もあり、歩行者も危ない状況にさらされている。
問8、13と同じ。また、市役所下通の新道(金谷二丁目交差点まで)の早期着工を望む。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道、私道の区別なく、補修をすること。</li> <li>・安心安全な歩行ができるようにすること(歩道・ガードレール設置など)。千葉県での児童死亡事故のようなことを再度出さないむつ市であってほしい。</li> <li>・冬期間の市道通行確保(委託業者への指導の徹底)</li> <li>・降雪前に道路下見、スノーポール設置。</li> <li>・公民館(分館)から奥の砂利道凸凹除雪、軽自動車は通れない。</li> <li>・夏場の道路草刈人足参加者の減少。</li> </ul>
町内は車が通れない狭い道路が多く、新築できないため、高齢者世帯が多くなる一方である。きた宅地の空洞化も進んでおり、将来的には市の力を借りて道路整備をし、再宅地化できれば、海から見ても理想的な景観ができると考える(大湊地区全般)。国道大湊バイパス道路の早期完成を望む。
地区内の一部は道路狭小。特に冬季は車同士交差できないほどの危険性がある。国道でもあり、是非拡張をお願いしたい。
高齢者で補助車を押しての会員が多い。歩道(季節問わず)の確保をしてほしい。特に脇野沢川にかかる橋(平和橋と昭和橋)に歩道を設けてほしい。
道路の維持管理。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脇野沢~滝山方面(国道388号) 道路路肩の草が道路側に覆いかぶさり、車両がセンターラインをはみ出して走行してくるため非常に危険。脇野沢庁舎に県民局に連絡してくれるようお願いしたが、ひと月経っても草が刈られない。本庁からも催促していただけないか。</li> <li>・川内町中学校裏の道路の凹凸がひどい。</li> </ul>
市道の舗装、側溝が痛んでいる箇所がある。また、草刈等、維持管理がなされていないため、車両の通行に支障が及ぶ場合もある。

◎ 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実

生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実に寄せられた自由意見
このような窓口が市役所等にあると思うが、周知不足で認識されていない。
流融雪溝が整備されているが、年々河川が浅くなり、ポンプで吸い上げる水量が減っている。少子高齢化の現状を見るに、暮らしやすいまちづくりの方向とは違っているのではないかと思う。特に支所の担当者は忙しいのか勉強不足かわからないが、対応が鈍い。流水路の掃除も必要である。毎年住民からの苦情があり、対応に大変である。水路内の泥、花が成長し、路上に茎が出ているところが多い。
個人や近所、または町内単位でも解決できない問題がある。敷居が低く、力になってくれるシステムは必要。

◎ その他

その他の自由意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に番号には関係なく、河川の泥の撤去のお願い。</li> <li>・むつ市所有の建物の整備</li> <li>・・・福祉センターの雨漏りと水道の漏れ。</li> <li>・・・文化財の保管場所（小屋）の屋根。特に福祉センターは避難所でもあるため。また、文化財保管場所には、防災無線の機器を設置されているので、屋根の補修だけでもお願いします。</li> </ul>
<p>高齢化が進む中、自動車免許証の返納を推奨しているが、公共交通が整備されておらず、買い物難民、病院への受診控え等につながる傾向が予想される。小型のバスで良いので、路線の開拓をしてほしい。</p>
<p>当町内会には集会所がなく、総会等は本村（品ノ木）の集会所を借用し、総会等を実施している。班長等の会議は会長宅で実施している。他集会所を借用した場合、距離的なことと交通事故等危険がいっぱいで、色々な事で困り悩んでいる。前に進んでいけない感じである。何卒ご理解のほど。</p>

## (2) 地域福祉等活動団体

### ◎ 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実

健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実に寄せられた自由意見
市内での医療機関不足により圏域外での治療をおこなっている人が多いと思います。圏域外での治療は市内での治療に比べ移動・コスト・精神的にも負担が大きく、中には行きたくても様々な理由で断念しているケースも少なくありません。昨今の感染症蔓延による医療崩壊が懸念されていることから、医療機関の充実化は重要事項と考えます。
老人クラブの会員の健康保持は、一人ひとりの自覚を待つしかないが、健康問題の悩みは重さを持っている。しかし動きが取れないことも多く、クラブへの普及相談の機会を多くしてほしい。特定の施設へ集めての指導も良いが、会員の足の問題もあるので、できるだけクラブの会合を利用して行ってほしい。

### ◎ 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実

健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実に寄せられた自由意見
高齢化社会を楽しく有意義に過ごせる社会風土を作るために、すべての年代の方々がかかと体の健康づくりを心がけ、行動することが大切であると考えている。
ライフステージに沿って、むつ、下北で安心して生活を継続できる仕組みがあったら良い。健康寿命を延ばすために、予防に取り組む。医療機関がむつ病院に限られているため、地元で安心して診てもらえる「かかりつけ医」。医療機関を増やして欲しい。いろいろな窓口分散されている相談窓口を包括的に一本化して欲しい。
幼児期からの肥満率の高さがほとんど解消されずにいることは、身体づくりなどの健康への認識の低さだと思う。食や運動など、健康づくりへの意識を高める工夫がここ2、3年されていることは多いに評価できるので、より充実させてほしい。
健康長寿づくりのための教育、活動は重要である。

### ◎ 医療機関の診療科の充実

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
受診のための待ち時間が長すぎて、病人には辛すぎるので、何とかしてほしいとよく耳にする。
病院に行って診療科の前で時間があまりかからず診てもらえる様になってほしい
むつ下北地区内で専門的な診療を平時から受けられる体制を構築してほしい。
病院は難しいが、介護保険サービスの医療系サービスが使えればと思います。特に西通り地区は資源が乏しい。(服薬管理やインスリンの管理などもっと資源があれば救われる人がたくさんいます)
旧大畑町に診療所、医院等あるが、診療科が少ないのがやはり気になる。若い世代は、むつ市内まで車等で行けるが、高齢になると、なかなかそうはいかないかなと思う。
医院の先生は高齢となり、この先医院も減るのではないかと。特に眼科、耳鼻咽喉科、婦人科はかなり少なく、待ち時間も長く、半日もかかる。むつ総合病院は朝6時半頃行っても半日以上かかり、更に体調が悪くなる。
診療所ではあるが、送迎1名ではどうしても過労働になる。特に時間外診療、休日診療が全く行われていない現況は、住民にとって大きな不安を伴う。
地元の病院の充実(老人が多いため。)
高齢者には診療料はもちろんですが交通費に困っています。10月からマイナンバー無料に(バス)なることは非常にありがたいと思っています。

◎ 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実

高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実に寄せられた自由意見
ご近所の方々と常に交流(茶飲み友だち)助け合うことが大切だと感じている。自宅サロン等の指導をお願いしたい。
高齢者等は我慢の傾向にあるので、市に気楽に相談照会できるよう周知して欲しい。
高齢者、障害者施設の充実がしばらく期待できない中では、公共機関による一定のサービスの充実に望みたい。
高齢者自宅暮らし生活支援サービスに取り組みを各町内会で計画し、実行に移せたらと思う。
障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、それぞれの課題に応じて居住支援のための機能(相談、体験の機会、緊急時の受け入れ、専門性、地域の体制づくり)や整備が必要。
高齢者、障害のある方が、住み慣れた環境で生活できるよう地域の方々の理解、協力、デジタル時代に取り残されない工夫、対応。
高齢者一人暮らし世帯で急変時の対応が自力でできるかどうか不安であり、急変時の対応のために事前に準備できるものがあれば実施したい。
高齢者、障がい者の方々と、日頃から話し合い、食事会など開催しておりますが次は何日ですかと聞かれる事が少し辛い。
施設に入居できない人が自宅で生活している高齢者が気軽に生活でき、またその方々が日中安心して集う環境づくりに積極的に推進してほしい。
地域の中で生活することは当事者にとっては一番の心のよりどころではと思います。ただ、限られた家族だけでの見守りもあることから必要に応じて、一時的見守りとして、支援サービスを「ちゅうちょ」することなく提供していただきたいと思います。

◎ 高齢者福祉施設の充実

高齢者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
上記と同様に資源があれば助かる人がたくさんいます。特にリハビリなどしたくてもできない人がたくさんいます。”自立支援”と言うのであれば、資源を整備して欲しい。
少子高齢化が進み、入所等になると、なかなか入れない状況がずっと続いている。
高齢者福祉施設の老朽化委に伴う増改築等の補助金増額を要望いたします。
看護師の育成と、医療施設だけでなく、介護施設等への優先的配慮。

◎ 障がい者福祉施設の充実

障がい者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
防犯活動が進んでいるので、犯罪の少ない地区であるが、認知症や障害者の軽犯罪があるため、福祉施設の充実として、入所等をしてほしい。
署外のある方の住むところが不足しています。特に現在は入所施設よりも、GH から日中活動の事業所、仕事場に通いたいとの希望が増えています。
生活スキル(金銭・服薬・日常生活スキル・対人スキル等)の維持・向上を図り生活基盤を構築することにより、就職活動や就労系サービスの利用に繋がり QOL の向上と繋がり、地域で安心した生活へと繋がっていくと考えます。その為にも生活支援に特化した宿泊施設や通所型サービスの充実化は重要であると考えます。
当事業所の利用者みても、40代ごろから家族がいなくなったり、いても遠方で暮らしているため、入所している(有料型サービス)人が6名もいる。その他アパートでの一人暮らしも4名いるが、生活の限界がきている。ぜひとも福祉施設が必要と思う。

◎ 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
働くことは生きがいにつながり、健康寿命をのばすことにもなる。若い人が少なくなることを食い止めることも重要だが、今いる人たち、つまり高齢者や障がい者がいきいきと暮らすためには「就労」は大切な要素である。

◎ 虐待防止活動や成年後見人制度の活用促進

虐待防止活動や成年後見人制度の活用促進に寄せられた自由意見
申請の必要性があっても何らかの支障があり利用迄至らない。
家族内での年寄に対する虐待もあるが、世間体から言い出せない会員も存在する。クラブ員以外の家庭でも話題となっているが、正式な機関での救済がされていないようだ。老人クラブの会員に啓発する機会を作してほしい。

◎ 安定した収入が得られる就労先を増やすこと

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
就労先があれば、若者が定住
低賃金で働く労働者を減らすとともに、若者が生涯働くことのできる職場を増やしていかなければ、市全体としての経済は低迷する一方で、人口の流出も止まらず「まち」として存続が難しくなる。
地域で働ける場所が少なければ、外へ出ていくしかないため、地域内企業の底上げに期待したいと思う。
市内で安定した収入が得られる公務員（県・市）、教員、その他の職についている人以外は、雇用先が少ないため、若者が市外・県外で働く人が多数いる。仕方ないことだが、人口が減り、ますます過疎化していくのではないかと不安である。
人口減少の対策として働く場の確保と増設を要望します。

◎ 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実

生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実に寄せられた自由意見
地域内には店舗がないことから移動販売を望む。
買い物ができず困っている高齢者が多い。ヘルパーでの買い物代行を利用する方が多いが近くに店があったり交通手段があれば自分で買い物できる。
高齢者（身体が不自由）が遠くの店舗まで買物に行くのは非常に困難。

◎ 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース支援

青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース支援に寄せられた自由意見
コロナ禍で困窮する過程が増えているとすれば、より積極的な支援が必要。

◎ 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
人口減少の対策
むつ、下北で地元を離れず就職や地域に根差した企業に勤め、生活基盤が安定できるようにして欲しい。地元の特産物、ジオパーク、風土を活かした参加が出来る産業の創設。

<b>地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見</b>
やはり、生まれたところで育ち、仕事ができたら良いと思う。都会に出て、頑張っている人達もいるが、人口の流出を少なくするためには、この町で仕事ができればと思う。
すべての子どもが乳幼児期から同等の教育を受けることができるむつ市。そしてその教育を受けた者がむつ市のために働き子どもを育てる…という人生サイクルのむつ市であってほしい。

◎ 困難に直面している方への支援の充実

<b>困難に直面している方への支援の充実に寄せられた自由意見</b>
ひきこもりについて、本人だけでなく家族への支援も含めて行われることもあるため、分野を超えた関係機関との連携が必要であり、対応も様々になっている。回復過程には安心できる居場所を見つけ、人との交流を徐々に増やし、学ぶ場、働く場、社会貢献等、支援が多岐に渡り時間を要する場合が多い。
ひきこもりの方の居場所づくり。
引きこもりの方が増えています。相談事業所で扱うケース以外でも、多く件数があると思うのですが、実態の把握は出来ていないと思いますので、対応するには行政と地域との連携が必要と思います。
対象者の方や希望する生活スタイル、本人を取り巻く環境によって必要なサービスや関わる期間は異なります。窓口も様々ある為、市を中心とした医療・関係機関（保健所、民生委員、介護・福祉サービス等）の調整や支援の方向性を合わせることで支援の充実に繋がると考えます。その為にも対象者に関わる機関が自己のサービスだけでなく多職種サービス、役割の理解を深める場を設け、質の向上を図る必要もあると考えます。
ひきこもりが町内に何人あるのかも把握出来ていません。家族からも相談があれば良いが隠そうとするところが多い。
特にひきこもりの問題は、8050 問題として、最近ようやくクローズアップされているが、私も相談されたりするが（むつ市でもひきこもりの研修等やっているようだが）、勇気を出して家族も参加したりしているが、結局本人が受診しないので、障がい者手帳や障がい年金、治療につながらないという、切実な問題がある。親や兄弟は限界がきている。病院へ受診するという壁を何とか国や行政が考えてほしい。

◎ 妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実

<b>妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実に寄せられた自由意見</b>
相談窓口の充実と合わせて連携、つなぐ、つながりが大事。
子育てのはじめの一歩の支援は、地域への信頼にもつながる。誰一人孤立化させないために、気楽に相談でき、それに応じて支援できる地域を目指したい。

◎ 保育園、幼稚園やこども園の充実

<b>保育園、幼稚園やこども園の充実に寄せられた自由意見</b>
人を増やすには、安定した収入と職が一番だと思うが、まず妊娠・出産・子育てがしやすい環境を整える。現在その真ただ中にいる女性の意見（現状と問題点）を聞く場が必要。議員さん達が、直接その場に出席し、声を吸い上げてほしい。会議ではなく、現状体験する形で。今、出生率がとても少なくなっていて、このままではむつ市消滅である。
幼児期に幼稚園・保育園で共通した取り組みがあれば、小学校とも、より深い連携が図られるのではないかと。特に集団としてのルールやマナー等については幼児期から共通して取り組めば効果的だと思う。多分、入学当初の小学校では苦労していると考えられる。
すべての子どもが乳幼児期から同等の教育、保育を受けるためには、障がいを持っていたり、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる体制を作る。またそのための研修の充実、人材の確保が必要。そのための設備の充実。

◎ 子育てに必要な費用の支援

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
まちづくりの基本は、人づくりだと考えており、幼・小・中・高校生の健全な育成、学力の向上のため、市民・行政の支援が重要と考えている。
子育てに必要な費用の支援があるといいと思います。1人っ子の人はいいでしょうけど二人、三人となれば高校でも大変だと思います。まして大学となれば。
特に母子世帯に対する十分な費用の支援が必要。

◎ 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成

学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成に寄せられた自由意見
高齢者等が日常生活で困っている事への支援ボランティアへの取り組み、IT時代の中、児童・生徒の健康維持するための栄養・運動・睡眠についての教育時間を充実させる事が必要と考える。
赤十字は学校単位での加盟である。川内地区はあたご幼、えびな保育園の加入はあるが、市内小中学校は未加盟である。赤十字活動を通してボランティア意識の工場もはかれるのではなかろうか。
福祉に関する教育は「おもいやり」「ふれあい」の大切さを学ぶことと、人としての心を育む大切なことと思います。

◎ 小中高生への学習支援による教育の充実

小中高生への学習支援による教育の充実に寄せられた自由意見
望む、学歴、キャリアを目指すことのできる、積極的な放課後学習支援が必要。(大畑地区内には塾がないため)
過去における県内小中学校の学力調査の結果報告では、下北地区は県内でも低位にある。教育現場の努力もみられると思うが、多くの面で行政の支援が必要と思われる。

◎ 大学や専門教育機関の充実

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
子供の数は限られている。人口がこれ以上に減らないように大学や専門学校などのキャンパス、サテライトでも良いので地元で学べる体制や奨学金制度導入。誰でも利用しやすい奨学金制度。PC、インターネット環境の充実。学習スペースの開放。生涯学習ができる町作り。
青森明の星短期大学下北キャンパス等の専門学校の設置による若い世代の人口流出防止。
高い教育を受ける場、さまざまな資格の習得のための場の充実、そして働く場の充実。
人材育成の為に、教育機関の充実を図り、人口流出を防ぐための企業等の誘致も進めてほしい。
看護師学校

◎ 就学費用の支援の充実

就学費用の支援の充実に寄せられた自由意見
大学までの教育環境を見据えた場合、教育費の増加につながるため教育費の支援を強く要望します。



◎ 町内会の活動を推進する人材の確保

町内会の活動を推進する人材の確保に寄せられた自由意見
ボランティアとしての町内会活動は、地域の人々の理解と協力により成り立つ。行政はやるべきことを町内会に丸投げせず、きめ細かな支援と配慮が必要と思われる。このことの保障がなければ人材は確保困難である。
町内会人材確保。仕事の関係で、町外に仕事を務めている為、町内会の役付、郷土芸能の担う人材が少ない。また郷土芸能の中心者が会社から休みがあまり出ない事。
町内会の活動を実施する人の高齢化が進み、個々の負担が増している。
町内会の活動は各々のところで特色あるもので、画一的に観察はできないが、行政の多くの面で協調が必要であり、その面からの公的指導があっても良いと思う。 ※最近市において、行政連絡員を廃止したと聞いているが、地域と行政をつなぐ手段として何か思慮されているのか。

◎ 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める

地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めるに寄せられた自由意見
どのボランティア団体も、「活動資金が足りない」「会員が増えない」は共通の悩み。HP等でPRをしたくとも、そんな経費は捻出できないというのが実態。ということで、下記提案したい。 ・ボランティア活動団体を一同に集めたHPの開設はできないものか。 ・各団体にHPへのアクセスコードを与え、更新したり新規情報を発信したりすることが可能になれば、ボランティア活動が一気に活性化するのは。
一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が増加する中、地域住民（生徒を含む）による弱者への生活支援ボランティア協力への理解を高めることが大切と考える。
元気な高齢者が多くいる。活用方法をみんなで考えたいものだ。
地域のボランティア活動（民生委員等）の理解度が低く、行政の積極的でPRが必要である。

◎ 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実

地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実に寄せられた自由意見
公民館が古くなり、耐震問題等により、使用できなくなり、老人の交流の場がなくなってしまっている。歩いてゆける交流の場がほしい。
活動や交流する場所の充実も必要だが、ボランティアコーディネーター等の人材確保や人材育成にも努めていかなければならない。

◎ ゴミの分別収集全般の充実

ゴミの分別収集全般の充実に寄せられた自由意見
高齢者世帯で冬期間のゴミ出しや老人介護の際使用済のおむつのゴミ出しが負担になっている。以前モデル事業で利用した方には大好評でした。
高齢者の（一人暮らし）ゴミ出しが困難の解消。

◎ 資源のリサイクル活動の充実

資源のリサイクル活動の充実に寄せられた自由意見
リサイクル運動。商業施設に置いてある様々なリサイクルペットボトルなどの回収を各町内庁舎にも設置すれば便利だなあと思っている。
多数の方は環境問題に理解を示し、資源のリサイクル活動に参加していると思う。まだ平気でダンボールにゴミを入れて海や川に捨てている人も多数いることが非常に悲しいことであると思う。直接注意したこともあるが、反抗的な態度をとる人が多いので、情けなくなる。

◎ 空き家への安全対策の充実

空き家への安全対策の充実に寄せられた自由意見
市内に空き家が多く、火災、防災、衛生上等市民が困っているので対応してほしい。(除雪)

◎ ごみ屋敷問題の解消

ごみ屋敷問題の解消に寄せられた自由意見
ごみ屋敷が増えてきている。自分でゴミ捨てができない高齢者が多い。ヘルパーを利用している方も多いが町内で支援できる仕組みがあれば良いと思う。町内によっては捨てる時間も厳しく高齢者にとっては捨てづらい地域もある。

◎ 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実

災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実に寄せられた自由意見
赤十字奉仕団として災害時、避難者への炊き出し、飲料水提供、応急手当等を主な役割と考えている。それに関連する知識・実技を習得する機会を定期的で開催し学んでいくことが重要と考える。
防災訓練。むつ市防災訓練は素晴らしい活動を行っているが、折角の機会なので学童生徒にも見学させたら良いと思っていた。
いつ、どこで、何がおこるか分からない時代であり、万に備えることが重要。
防災意識の向上が必要である。

◎ 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実

行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実に寄せられた自由意見
高齢者ばかりが多く、災害時の訓練等は不可欠と考える。その前に地域での個々の理解を深めることが大事ではないか。
自然災害が増えているので、災害に備えた情報提供や防災訓練などが必要だと思います。市街では防災訓練等は行われているようですが、田舎になる程、実際に災害が起きた時の情報は入ってきにくいのではないかと思いますので学習する機会等が充実できれば、有事の時に慌てずに対応できるようになると思います。

◎ 地域と警察との連携による防犯活動の充実

地域と警察との連携による防犯活動の充実に寄せられた自由意見
むつ警察署や脇野沢駐在所と十分な連携が取れているが、駐在所長がむつ警察署勤務の日もあるので、警察官不在の日をなるべく少なくしてほしい。

◎ 公共交通の利便性の向上

地公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
買い物や温泉に行きたいと思うが、車のない人は、歩くには遠すぎるため、青森市など参考にして、100円バス等が実現できたらうれしいかな。薬研郷の整備や利用する人を増やしたいと思う。
高齢者車両不保持者の増加を考えると、園児の送迎バスのように自宅近くまで来てくれるバス運行体制を望む。
買い物や通院、通勤全て車がないとできない現状なので、そのための交通手段があると、住みやすいまちとなると思う。
脇野沢～むつ病院へのバスダイヤが少ない。むつ病院の先生から、他のクリニック等への転院を勧められているため、青森市各種病院へ行っているため、青森市への高速船利用者がある。

地公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
インフラが進まない、生活意欲も衰退してしまう。環境の整備も含めれば、コンパクトシティ構想もあると思うが。
脇野沢地区では高齢者がむつ市内へ受診・買い物容易でない。特に車椅子の方、体が不自由な方はとても不便であり、費用もとても高い(介護タクシー等)移送サービスは限られた人しか使えない。高齢者誰もが安価で使いやすい移動手段を整備して欲しい。
大畑地区ではバスの利用ができない地区があり、タクシー利用も高額になってしまう。
高齢者が増えており、自動車に乗らなくても生活できる地域(下北)にしてほしい。電車は無理なため、バス、タクシーなど乗合で安くする方策を確立してほしい。
使える交通機関が少ないため外出しなくなる高齢者が増え認知症となる悪循環がみられる。青森市のように高齢者はタクシーが割引になる等の制度があれば良いと思う。バスだと1人で乗り降りできないのと、本数が少ないので利用しないと思う。

◎ 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良

安全で利便性の高い道路の敷設及び改良に寄せられた自由意見
通学路(特に冬雪)除雪徹底を希望する。
下北縦貫道路の早期完成。
年寄の多くは、免許返上、歩行困難に陥っている会員が多く、クラブの集いに参加するのにも困難を極めている。クラブとして車を配置するが、追い付かない。会員の多くは、歩行補助車を用いて参加することが多いが、歩道や冬の降雪などから安全を心配して、やむなく不参加となっていることが多い。道路交通環境の整備充実が必要である。

◎ 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実

生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実に寄せられた自由意見
ささいなことでも気軽に気安く応じてくれる窓口(人材)は是非必要なことと思う。
生活している中でいろいろの事が起こりうる時代毎日過ごしている中でいろいろの世間の話が聞こえてきて、相談したくても話を聞いてくれる様な人がいない。またいてもこの人出大丈夫なのというような人がついている。もっと人を選んでほしい。
生活支援体制の充実を官民一体となって図るのが良い。

◎ その他

その他の自由意見
地域住民との壁が厚く理解を得るには難しい。

## 2 調査票

### (1) 町内会

#### むつ市地域福祉計画施策中間評価に関するアンケート

##### 【御協力をお願い】

日ごろより、市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画に基づき「住民の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らせるむつ市」を目指し、様々な事業を行っています。

「むつ市地域福祉計画」の推進にあたり、皆様のお考えや御意見をお伺いし、より効果的な取り組みが行えるよう、アンケートを実施することとしました。

今回のアンケートは、町内会活動をされている皆様に、活動の状況や地域の福祉課題等をお聞きするものです。

お答えいただいた項目はすべて統計的に処理され、お答えいただいた方に不利益になることは一切ありませんので、ぜひ率直な御意見をお聞かせください。

御多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

令和3年6月

むつ市

##### <記入上の御注意>

- ◆この調査は、町内会役員の方を対象にしています。町内会役員を代表してお考えをお答えください。
- ◆記入については、濃い鉛筆、黒のボールペン又は万年筆でお願いいたします。
- ◆回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は、( )内になるべく具体的な内容を記入してください。
- ◆回答用紙の「整理番号」の欄は、こちらで使用しますので、何も記載しないでください。
- ◆設問は全部で18問あります。恐れ入りますが、御協力くださいますようお願いいたします。

御記入がお済みになりましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

**7月9日（金）までに**

御投函ください。（当日消印有効）



##### <調査についてのお問い合わせ先>

むつ市福祉部福祉政策課

電話：0175-22-1111（内線2511～2513）

学 区 一 覧

小学校区	行政区名
第一田名部小学校	本町、田名部町、柳町一・二・三・四丁目、横迎町一・二丁目、上川町、栗山町、女館、尻釜、宮後、栴山、赤坂、土手内、斗南岡、最花、品ノ木、酪農
第二田名部小学校	小川町一・二丁目、岩菜、長坂、金谷一・二丁目、松山町、緑ヶ丘、十二林、美里町、中央一丁目、海老川町、緑町、下北町
苫生小学校区	新町、苫生町一丁目、苫生町二丁目、昭和町、仲町、若松町、港町、金曲一丁目
第三田名部小学校	南町、赤川町、松原町、南赤川町、金曲二丁目・三丁目、大曲一・二・三丁目
奥内小学校	一里小屋、大室平、金谷沢、神山、今泉、二又、石蔵平、奥内、浜奥内、近川、中野沢、中野沢開拓
関根小学校	南名古屋平、清平、名古屋平、南関根、北関根、高梨、水川目、美付、浜関根、出戸、川代、烏沢、新田、上新田
大平小学校	山田町、真砂町、文京町、荒川町、松森町、旭町、並川町、大平町、大湊新町、中央二丁目、越葉沢
大湊小学校	大湊浜町、大湊上町、川守町、宇田町、桜木町、大湊町、宇曾利川、近沢、角違、堺田、新城ヶ沢、城ヶ沢、泉沢、永下
川内小学校	川内、休所、八右工門沢、中道、中畑、板子塚、※しなの木、砂浜、熊ヶ平、隠里、高野川、石倉沢、田野沢、八木沢、館山下、袈川、家ノ辺、大川向、湯野川向、片貝、曾古部山、湯野川、戸沢、川代、板家戸、福浦山、松川稲沢、松川川代、松川横葉、家ノ上、宿野部穴畑平、宿野部一ノ渡平、宿野部上野下、宿野部上野松山、宿野部後田、宿野部上野平、宿野部川代、宿野部源次郎沢、宿野部、※しなの木平、宿野部下ノ畑、宿野部、宿野部高田、宿野部狸平、宿野部鶴沼平、宿野部中野平、宿野部目倉川、蛸崎合野、蛸崎、蛸崎川目、蛸崎香ノ木、蛸崎寺ノ前、蛸崎半右工門沢、蛸崎半右工門沢ノ内殿崎、蛸崎松山、蛸崎水呑沢、蛸崎弥之助沢、蛸崎山田、蛸崎山田スコロ谷地、下小倉平、大五、堀川、上小倉平、釜谷、一枚橋、立越、平中、獅子畑、曾古部山、高野川、新田、銀杏木、前田、仁左工門沢、館山下、銀杏平、高野山
大畑小学区	孫次郎間、大畑道、湧館、湯坂下、八幡湯坂、兔沢、南町、観音堂、大畑村、松ノ木、松ノ木道、松ノ木ノ内土場、本町、庚申堂、東町、伊勢堂、本門寺前、筒万坂、新町、中島、湊村、上野、水木沢、戦敷、高橋川、奈良ノ木平、添木、小目名村、赤坂、小目名家ノ下、葉色、明神平、葉研、赤滝山、朝比奈岳関根橋、谷地道、大畑道、重兵工沢、鳥谷場、柳沢、正津川道、四ツ谷
正津川小学区	正津川戦敷、正津川中道、正津川、正津川高待、正津川平
二枚橋小学区	釣屋浜、二枚橋、大畑道、赤川村、小赤川、大赤川、佐助川、木野部、鍵掛、赤岩
脇野沢小学区	本村、桂沢、渡向、田の頭、七引、滝山、源藤城、瀬野川目、黒岩、新井田、寄浪、蛸田、九艘泊、辰内、口広、赤坂、稲平、小サ沢、小沢、鹿間平
その他	むつ市以外の地域

整理番号

むつ市地域福祉計画中間評価に関する調査票【回答用紙】  
(町内会・自治会用)

町内会名

御記入者氏名

I 町内会の概要について

問I 現在の貴町内会の組織体制等について、教えてください。

(1) 町内会の小学校区を教えてください。(1つに○)

- |              |            |             |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 第一田名部小学校区 | 6. 関根小学校区  | 11. 正津川小学校区 |
| 2. 第二田名部小学校区 | 7. 大平小学校区  | 12. 二枚橋小学校区 |
| 3. 苔生小学校区    | 8. 大湊小学校区  | 13. 脇野沢小学校区 |
| 4. 第三田名部小学校区 | 9. 川内小学校区  |             |
| 5. 奥内小学校区    | 10. 大畑小学校区 |             |

※1ページの「学区一覧」を参考にお答えください。

(2) 役員構成を教えてください。(例 総務部2名、会計部1名など)

また、役員数、任期は何年ですか。

- |         |              |     |        |
|---------|--------------|-----|--------|
| 1. 会長   | _____名       | 6.  | _____名 |
| 2. 副会長  | _____名       | 7.  | _____名 |
| 3.      | _____名       | 8.  | _____名 |
| 4.      | _____名       | 9.  | _____名 |
| 5.      | _____名       | 10. | _____名 |
| 計_____名 | (うち女性_____名) | 任期  | _____年 |

(3) 会長は就任されて、令和3年度で何年目になりますか。

\_\_\_\_\_年目 (通算 \_\_\_\_\_年目)

(4) 会長が兼務している他の組織、団体の役員や活動がありますか。(あてはまるものすべて○)

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 民生委員児童委員   | 7. 赤十字協賛委員         |
| 2. むつ市消防団員    | 8. 選挙立会人           |
| 3. むつ市防犯協会支部長 | 9. 公民館地区館長及び分館長    |
| 4. 防犯指導隊員     | 10. 社会福祉協議会<br>( ) |
| 5. 保健協力員      | 11. その他 ( )        |
| 6. 統計調査員      |                    |

(5) 貴町内会の役員の担い手や割り当てられる他団体の委員を引き受けてくれる人材の状況を教えてください。(あてはまるものすべて○)

1. 今のところ、役員や委員を引き受けてくれる適任者がいる
2. 役員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている
3. 委員を引き受けてくれる人材がないため、同じ人が続けている
4. 若い世代(20代~50代)の担い手がない
5. 男性の担い手がない
6. 女性の担い手がない
7. 会員は多いが、役員や委員になりたくないという方が増えている
8. 役員の高齢化が進み、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられる
9. 特にない
10. その他 ( )

(6) 貴町内会の会員世帯数を教えてください。(1つに○)

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 5世帯以下  | 3. 21~40世帯 | 5. 51~100世帯 |
| 2. 6~20世帯 | 4. 41~50世帯 | 6. 101世帯以上  |

(7) 貴町内会の主な活動資金(財源)を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 会員の会費       | 5. 行政の補助金・助成金    |
| 2. 寄付          | 6. 市や外郭団体などの業務委託 |
| 3. サービス利用者の利用料 | 7. その他           |
| 4. 商品の製造・販売    | ( )              |

問2 貴町内会は、どのような地域ですか。(あてはまるものすべて○)

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 居住年数が30年以上の住民が多い    | 9. 40代~60代の単身者が多い       |
| 2. 居住年数が10年未満の住民が多い    | 10. 40代~60代の夫婦のみの世帯が多い  |
| 3. 持ち家が多い              | 11. 40代~60代の夫婦と子供の世帯が多い |
| 4. アパートや団地が多い          | 12. 3世代同居の世帯が多い         |
| 5. 貸家が多い               | 13. 単身の高齢者世帯が多い         |
| 6. 20代~30代の単身者が多い      | 14. 高齢者の夫婦のみの世帯が多い      |
| 7. 20代~30代の夫婦のみの世帯が多い  | 15. 高齢者の親と子の世帯が多い       |
| 8. 20代~30代の夫婦と子供の世帯が多い | 16. その他 ( )             |

## II 町内会の加入について

問3 町内会の加入状況について教えてください。(1つに○)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 全戸加入 →問5へ | 4. 50%~69% |
| 2. 90%以上     | 5. 30%~49% |
| 3. 70%~89%   | 6. 30%未満   |

【問3で「2.」~「6.」(未加入者がいる)を選んだ方のみ】

問4 未加入の理由はなぜだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 加入する方法がわからない | 6. 加入するメリットがない  |
| 2. いずれ引越す予定だから  | 7. 近所の人が加入していない |
| 3. 時間に余裕がない     | 8. 役員等になりたくない   |
| 4. 会費の負担が大きい    | 9. その他 ( )      |
| 5. 近所との付き合いが面倒  |                 |

【問3で「1.全戸加入」を選んだ方のみ】

問5 全戸加入している理由はなぜだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 行政広報誌や地域の情報が得られる   | 5. ゴミ集積所が利用できる  |
| 2. 近隣で知り合いが増えると安心できる  | 6. 長く住み続ける予定だから |
| 3. 地域の行事に参加できる        | 7. 父母が加入していたから  |
| 4. 防犯や防災での助け合いを期待している | 8. その他 ( )      |

## III 町内会活動について

問6 貴町内会の活動状況について、教えてください。

(1) 貴町内会では、行事や活動に対し、住民は積極的に協力してもらえますか。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 積極的である    | 4. あまり積極的ではない |
| 2. 比較的積極的である | 5. 積極的ではない    |
| 3. どちらともいえない |               |

(2) 貴町内会の活動頻度を教えてください。(1つに○)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日     | 4. 年に数回程度      |
| 2. 週に1~2回程度 | 5. 不定期(必要に応じて) |
| 3. 月に数回程度   | 6. その他 ( )     |

(3) 貴町内会の規模や活動について、今後の意向を教えてください。(1つに○)

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 1. 現状より拡大したい | 4. 縮小せざるを得ない(住民の減少等により) |
| 2. 現状を維持したい  | 5. その他 ( )              |
| 3. 現状より縮小したい |                         |



【問6(3)で「1.」又は「2.」を選んだ方のみ】

(4) 貴町内会の加入者を増やす又は維持するために、どのような活動を行っていますか。


問7 貴町内会で力を入れている福祉分野はありますか(あてはまるものすべてに○)

- |           |            |             |            |
|-----------|------------|-------------|------------|
| 1. 保健医療関係 | 5. 子育て関係   | 9. 環境関係     | 13. 交通関係   |
| 2. 高齢者関係  | 6. 教育関係    | 10. 防災関係    | 14. わからない  |
| 3. 障がい者関係 | 7. 地域活動関係* | 11. 防犯関係    | 15. その他( ) |
| 4. 生活困窮関係 | 8. 権利擁護関係* | 12. まちづくり関係 | 16. 特にない   |

問8 地域での暮らしや活動分野ではどのような課題がありますか。また、その原因は何だと思いますか。地域課題の項目を問7の選択肢1~15の中から選んで、それぞれお聞かせください。  
(3つまで選んで内容を記入)

地域課題の項目番号	現在、地域で困っていること(地域の課題)	課題を引き起こす原因
(例) 2	見守りの必要な高齢者の増加	一人暮らし、高齢夫婦のみの世帯の増加

問9 貴町内会が活動するうえで、困っていることはありますか(あてはまるものすべてに○)

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1. 活動場所の確保    | 8. 役員の固定化              |
| 2. 活動資金の調達    | 9. 新規住民の未加入            |
| 3. 活動のマンネリ化   | 10. 他団体や事例等の情報不足       |
| 4. 活動ノウハウの不足  | 11. 活動の充実に向けた研修等の機会の不足 |
| 5. 関連団体との連携   | 12. 特に問題ない             |
| 6. 会員の高齢化     | 13. その他( )             |
| 7. 会員の活動意欲の維持 |                        |

問 10 地域において特に課題となっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 町内会や地域活動を行う人材がいないこと        | 7. 65歳以上の人同士の介護に関すること      |
| 2. 異変があったときなどに駆けつけてくれる人がいないこと | 8. 高齢の親と障がい者世帯に関すること       |
| 3. ひきこもりに関すること                | 9. 成年後見人制度の利用に関すること        |
| 4. 不登校に関すること                  | 10. 災害発生時に避難所までの移動支援に関すること |
| 5. ヤングケアラー※に関すること             | 11. その他 ( )                |
| 6. 介護と仕事や育児の両立に関すること          | 12. 特にない                   |

※「ヤングケアラー」…本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の若者のことを指します。

#### IV むつ市地域福祉計画について

問 11 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画を基に地域福祉に関する様々な施策を行っています。この計画について知っていますか。(1つに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 計画があることを知っており、内容もおおむね知っている |
| 2. 計画があることを知っており、内容は少し知っている   |
| 3. 計画があることは知っているが、内容は分からない    |
| 4. 計画の存在を知らなかった               |

問 12 「むつ市地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほか、地域が主体となって取り組めることを記載しています。

各項目について地域の取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

##### 【基本目標1 理解と交流づくり】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	取り組んでいる	どこかでもいえない	取り組んでいない	取り組んでいない
(記入例) 住民向け各種講座等を開催し、福祉や地域活動についての理解促進に努めている	1	②	3	4	5
<b>施策1 地域を担う人材の育成</b>					
(1) 住民向け各種講座等を開催し、福祉や地域活動についての理解促進に努めている	1	2	3	4	5
<b>施策2 地域資源の維持と有効活用</b>					
(1) 転入者にも声かけをするなど、地域行事に参加しやすい雰囲気づくりを心がけている	1	2	3	4	5
(2) 地域や団体同士で積極的に交流を図り、活動への参加を呼びかけている。	1	2	3	4	5
(3) 支援が必要な人を地域のなかで見守り、必要に応じて民生委員等へ相談している	1	2	3	4	5

【基本目標2 参加と居場所づくり】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる
<b>施策4 集いと憩い地域社会の保全</b>					
(1) 住民の困りごとや悩みを聞く機会をつくっている	1	2	3	4	5
(2) 住民が参加しやすい活動や交流の場づくりに努めている	1	2	3	4	5
<b>施策5 地域の防犯力の向上</b>					
(1) 犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に努めている	1	2	3	4	5
(2) 住民から相談を受けた際、市役所、警察等へつなぐ仕組みを地域で構築している	1	2	3	4	5
<b>施策6 地域の防災力の向上</b>					
(1) 町内会等が実施する防災活動や避難訓練などに積極的に参加するよう住民に呼びかけている	1	2	3	4	5
(2) 避難行動要支援者を、地域の複数の担い手で支援する体制づくりに努めている	1	2	3	4	5
(3) 災害時に町内等で速やかに対応できるよう、自主防災組織を組織している	1	2	3	4	5
<b>施策7 地域活動の保全と交流の促進</b>					
(1) 住民同士で助け合いながら解決できるような仕組みを検討している	1	2	3	4	5

【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる
<b>施策8 健やかであるための生活習慣づくり</b>					
(1) 地域（町内会）で健康づくり活動や介護予防教室を開催し、参加を呼びかけている	1	2	3	4	5
<b>施策10 生きがいのある生活への支援</b>					
(1) 同じ年代の子どもを持つ親同士の交流の場の提供に努めている	1	2	3	4	5
(2) 日常生活での課題（除雪、買い物など）を解決するためのボランティアへの協力を支援する仕組みを構築している	1	2	3	4	5
<b>施策11 就労と社会的自立の支援</b>					
(1) 子どもたちへの学習の場を地域で提供している	1	2	3	4	5

## V 連携について

問 13 貴町内会は、行政機関とどのような形で協働していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 委員会や審議会への参加を通じ、政策形成に対する協働 | 4. 活動に対する業務委託及や補助金の交付 |
| 2. 事業・イベント等の共同開催             | 5. 特に行っていない           |
| 3. 協定書などの締結による継続的な事業協力       | 6. その他 ( )            |

問 14 今後活動を続けていくうえで行政や社会福祉協議会にお願いしたいことや取り組んでほしいことがあれば教えてください。(あてはまるもの3つまでに○)

- |   |
|---|
| 1. 活動費の助成   |
| 2. 他の区・町内会の情報提供   |
| 3. リーダー研修会の実施   |
| 4. 区・町内会への市職員の参加・協力                                       |
| 5. 専門機関や民生委員・児童委員（主任児童委員含む）なども含む関係者間での情報共有のためのネットワークや場づくり |
| 6. 区・町内会活動に対する地域社会の理解向上のための広報の強化                          |
| 7. その他 ( )  |
| 8. 特になし   |

## VI 意識・行動の変化について

問 15 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の拡大で、町内会活動に変化はありましたか。(1つに○)また、変化があった場合は具体的にどのようなことが御記入ください。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 変化があった | 2. 変化はない |
|-----------|----------|

↓  
感染症拡大による町内会活動の変化について

問 16 感染症の拡大で、貴町内会の運営にあたり悩みや不安はありますか。(1つに○)

また、悩みや不安がある場合は具体的にどのようなことが御記入ください。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 悩みや不安がある | 2. 悩みや不安はない |
|-------------|-------------|

↓  
感染症拡大による町内会活動の変化について

#### IV 今後の地域福祉に対する考えや意見など

問17 おつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

<b>ア 保健医療関係 (1つに○)</b>
1. 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実 2. 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実 3. 医療機関の診療科の充実 4. この分野には関心がない 5. わからない
<b>イ 高齢者・障がい者 (1つに○)</b>
6. 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実 7. 高齢者福祉施設（老人ホーム等）の充実 8. 障がい者福祉施設（入所、通所施設等）の充実 9. 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実 10. 虐待防止活動や成年後見人制度の活用促進 11. この分野には関心がない 12. わからない
<b>ウ 生活困窮関係 (1つに○)</b>
13. 安定した収入が得られる就労先を増やすこと 14. 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実 15. 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース*支援 16. 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり 17. 困難に直面している方（就職難、ひきこもりなど）への支援の充実 18. この分野には関心がない 19. わからない
<b>エ 子育て関係 (1つに○)</b>
20. 妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実 21. 保育園、幼稚園やこども園の充実 22. 子育てに必要な費用の支援 23. 虐待防止活動や子どもの権利擁護 24. この分野には関心がない 25. わからない

\*「リユース」…自身で繰り返し使うことだけでなく、自分が使わなくなっても、未だ使えるものを捨ててしまう前に寄付などすることで、必要な人のもとで再利用されることです。

オ 教育関係 (1つに○)

- 26. 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成
- 27. 小中高生への学習支援による教育の充実
- 28. 大学や専門教育機関の充実
- 29. 就学費用の支援の充実
- 30. この分野には関心がない
- 31. わからない

カ 地域活動関係 (1つに○)

- 32. 町内会の活動を推進する人材の確保
- 33. 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める
- 34. 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所（サロン）の充実
- 35. 地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動
- 36. この分野には関心がない
- 37. わからない

キ 環境関係 (1つに○)

- 38. ゴミの分別収集全般の充実
- 39. 資源のリサイクル活動の充実
- 40. 空き家への安全対策の充実
- 41. ごみ屋敷問題の解消
- 42. この分野には関心がない
- 43. わからない

ク 防災・防犯関係 (1つに○)

- 44. 災害に備えた情報提供や防災訓練など学び場の充実
- 45. 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実
- 46. 地域と警察との連携による防犯活動の充実
- 47. この分野には関心がない
- 48. わからない

ケ まちづくり関係・交通関係・その他 (1つに○)

- 49. コンパクトシティ（都市計画）に関する情報の充実
- 50. ジオパーク※活動の推進
- 51. 公共交通の利便性の向上
- 52. 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良
- 53. 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実
- 54. 性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別解消
- 55. この分野には関心がない
- 56. わからない

※「ジオパーク」…世界各地に多く存在する特徴的な大地や地質の資源を守り、研究するとともに、学習の場や観光資源として整備し、活用していく活動です。

問 18 問 17 のア～ケで選んだ番号の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選び下表に番号で記入して、御意見・御要望がありましたら自由に記入してください。

1 位	2 位	3 位
(記入例) 3	52	20

問 17 で選んだ番号：

.....
.....
.....
.....
.....
.....

問 17 で選んだ番号：

.....
.....
.....
.....
.....
.....

問 17 で選んだ番号：

.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上で質問は終わりです。  
 御協力ありがとうございました。  
 同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、7月9日（金）までに御投函ください。

## (2) 地域福祉等活動団体

### むつ市地域福祉計画施策中間評価に関するアンケート

#### 【調査御協力をお願い】

日ごろより、市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画に基づき「住民の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らせるむつ市」を目指し、様々な事業を行っています。

「むつ市地域福祉計画」の推進にあたり、福祉関係団体の皆様のお考えや御意見をお伺いし、より効果的な取り組みが行えるよう、アンケートを実施することとしました。

今回のアンケートは、福祉活動をされている皆様に、活動の状況や福祉課題等をお聞きするものです。

お答えいただいた項目はすべて統計的に処理され、お答えいただいた方に不利益になることは一切ありませんので、ぜひ率直な御意見をお聞かせください。

御多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

令和3年6月

むつ市

#### <記入上の御注意>

- ◆この調査は、団体を対象に実施しています。団体の御意向やお考えをお答えください。
- ◆記入については、濃い鉛筆、黒のボールペン又は万年筆でお願いいたします。
- ◆回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は、( )内になるべく具体的な内容を記入してください。
- ◆回答用紙の「整理番号」の欄は、こちらで使用しますので、何も記載しないでください。
- ◆設問は全部で22問あります。恐れ入りますが、御協力くださいますようお願いいたします。

御記入がお済みになりましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

**7月9日（金）までに**

御投函ください。（当日消印有効）



#### <調査についてのお問い合わせ先>

むつ市福祉部福祉政策課

電話：0175-22-1111（内線2511～2513）



整理番号

**むつ市地域福祉計画中間評価に関する調査票【回答用紙】  
(団体用)**

団体名	御記入者氏名
住所	
TEL	FAX

**I 団体の概要について**

問1 貴団体の組織形態を教えてください。(1つに○)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. ボランティアグループ | 3. NPO 法人  |
| 2. 社会福祉法人     | 4. その他 ( ) |

問2 貴団体の構成人数を教えてください。(1つに○)

- |          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| 1. 5人以下  | 3. 11~20人 | 5. 51~100人 |
| 2. 6~10人 | 4. 21~50人 | 6. 101人以上  |

問3 貴団体の活動年数を教えてください。(1つに○)

- |              |               |          |
|--------------|---------------|----------|
| 1. 1年未満      | 3. 3年以上~5年未満  | 5. 10年以上 |
| 2. 1年以上~3年未満 | 4. 5年以上~10年未満 |          |

問4 貴団体の構成員の平均年齢を教えてください。(1つに○)

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| 1. 20歳代 | 3. 40歳代 | 5. 60歳代   |
| 2. 30歳代 | 4. 50歳代 | 6. 70歳代以上 |

問5 貴団体の主な活動資金(財源)を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 会員の会費       | 5. 行政の補助金・助成金    |
| 2. 寄付          | 6. 市や外郭団体などの業務委託 |
| 3. サービス利用者の利用料 | 7. その他 ( )       |
| 4. 商品の製造・販売    |                  |

## II 団体の活動について

問6 貴団体で取り組んでいる活動分野を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |           |           |             |          |
|-----------|-----------|-------------|----------|
| 1. 保健医療関係 | 5. 子育て関係  | 9. 環境関係     | 13. 交通関係 |
| 2. 高齢者関係  | 6. 教育関係   | 10. 防災関係    | 14. その他  |
| 3. 障がい者関係 | 7. 地域活動関係 | 11. 防犯関係    | ( )      |
| 4. 生活困窮関係 | 8. 権利擁護関係 | 12. まちづくり関係 |          |

問7 地域での暮らし、活動分野ではどのような課題がありますか。また、その原因は何だと思えますか。地域課題の項目を問6の選択肢1～14の中から選んで、それぞれお聞かせください。

(3つまで選んで内容を記入)

地域課題の項目番号	現在、地域で困っていること (地域の課題)	課題を引き起こす原因
(例) 2	見守りの必要な高齢者の増加	一人暮らし、高齢夫婦のみの世帯の増加

問8 貴団体の活動範囲(地域)を教えてください。(1つに○)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. むつ市内全域 | 5. 旧脇野沢村地区  |
| 2. 旧むつ地区  | 6. 青森県内     |
| 3. 旧川内町地区 | 7. 隣接県を含む地域 |
| 4. 旧大畑町地区 | 8. その他 ( )  |

問9 貴団体が活動するうえで、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                 |                     |
|-------------|-----------------|---------------------|
| 1. 活動場所の確保  | 6. 関連団体との連携     | 10. 活動の充実にに向けた研修等の機 |
| 2. 活動資金の調達  | 7. スタッフの活動意欲の維持 | 会の不足                |
| 3. スタッフ不足   | 8. 活動ノウハウの不足    | 11. スタッフの固定化・人事の硬直化 |
| 4. 活動のマンネリ化 | 9. 他団体や事例等の情報不足 | 12. 特に問題ない          |
| 5. 周囲の理解不足  |                 | 13. その他 ( )         |



問 14 地域において特に課題となっていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 町内会や地域活動を行う人材がいないこと        | 7. 65歳以上の人同士の介護に関すること      |
| 2. 異変があったときなどに駆けつけてくれる人がいないこと | 8. 高齢の親と障がい者世帯に関すること       |
| 3. ひきこもりに関すること                | 9. 成年後見人制度の利用に関すること        |
| 4. 不登校に関すること                  | 10. 災害発生時に避難所までの移動支援に関すること |
| 5. ヤングケアラー※に関すること             | 11. その他 ( )                |
| 6. 介護と仕事や育児の両立に関すること          | 12. 特にない                   |

※「ヤングケアラー」…本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の若者のことを指します。

問 15 貴団体では、他の団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |             |                    |                   |
|-------------|--------------------|-------------------|
| 1. 町内会      | 7. 民間企業            | 13. 小・中・高等学校      |
| 2. 老人クラブ    | 8. 商工会議所           | 14. 保護者会・PTA      |
| 3. 子ども会     | 9. 障がい者施設          | 15. 行政機関          |
| 4. ボランティア団体 | 10. 医療施設           | 16. 特に交流・協力はしていない |
| 5. NPO法人    | 11. 社会福祉協議会        | 17. その他 ( )       |
| 6. 社会福祉法人   | 12. 保育所・認定こども園・幼稚園 |                   |

問 16 問 15で「16」以外に○をつけた団体は、どのような形で交流・協力しているか教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 活動や事業の日常的な交流・協力 | 4. 研修会・学習会の共同実施      |
| 2. イベントなどの共同開催     | 5. 事務所の共同設置等、運営面での協力 |
| 3. 活動に関する情報交換      | 6. その他 ( )           |

問 17 貴団体は、行政機関とどのような形で協働していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 委員会や審議会への参加を通じ、政策形成に対する協働 |
| 2. 事業・イベント等の共同開催             |
| 3. 協定書などの締結による継続的な事業協力       |
| 4. 活動に対する業務委託や補助金の交付         |
| 5. 特に行っていない                  |
| 6. その他 ( )                   |

問 18 行政と協働するうえで、行政に望むことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 情報発信・情報提供の迅速化           |
| 2. 柔軟な人材活用(専門知識を持つ職員の紹介など) |
| 3. 官民を含めた総合的な調整役           |
| 4. 利活用しやすい補助金等の検討          |
| 5. その他 ( )                 |

#### IV むつ市地域福祉計画の取り組みについて

問 19 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画を基に地域福祉に関する様々な施策を行っています。あなたはこの計画について知っていますか。(1つに○)

1. 計画があることを知っており、内容もおおむね知っている
2. 計画があることを知っており、内容は少し知っている
3. 計画があることは知っているが、内容は分からない
4. 計画の存在を知らなかった

問 20 「むつ市地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほかに、福祉団体の皆さんが主体となって取り組めることを記載しています。

各項目について貴団体の取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

なお、貴団体の取り組みとして、なじまない項目については「6.対象となる活動は行っていない」に○をして下さい。

##### 【基本目標1 理解と交流づくり】

項 目	取り組み状況					
	取 り 組 め て い る	取 り 組 め て い る や や	ど の こ も も と に え な い	取 り 組 め て い な い あ ま り	取 り 組 め て い な い	対 象 と な る 活 動 は 行 っ て い な い
(記入例) 学校において、福祉関係の講座を開催し、福祉に関する教育を推進している	1	②	3	4	5	6
<b>施策1 地域を担う人材の育成</b>						
(1) 学校において、福祉関係の講座を開催し、福祉に関する教育を推進している	1	2	3	4	5	6
(2) ワークショップ型の研修会や講座を開催し、担い手の発掘、育成を図っている	1	2	3	4	5	6
(3) ボランティアコーディネーターと連携を図りながら、活動の継続、活性に努めている	1	2	3	4	5	6
(4) 活動を見学したり体験する機会を設け、市民の皆さんとの交流を図っている	1	2	3	4	5	6
<b>施策2 地域資源の維持と有効活用</b>						
(1) 地域住民が参加できるイベントを計画している	1	2	3	4	5	6
(2) 地域で活動する団体同士で交流する機会をもっている	1	2	3	4	5	6
(3) 病気や障がい者を正しく理解できるよう情報提供している	1	2	3	4	5	6

【基本目標2 参加と居場所づくり】

項目	取り組み状況					
	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	対象となる活動は行っていない
<b>施策3 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり</b>						
(1) 活動やイベント等を通じて福祉情報、取り組み情報を発信している	1	2	3	4	5	6
(2) ホームページや団体の広報誌等により、受け手にわかりやすい情報提供に努めている	1	2	3	4	5	6
<b>施策4 集いと憩い地域社会の保全</b>						
(1) 市民が参加しやすい活動の提案や活動場所の提供に努めている	1	2	3	4	5	6
(2) 住民の困りごとや悩みを行政機関へつなぐネットワークを構築している	1	2	3	4	5	6
(3) 地域活動に参加するよう促している	1	2	3	4	5	6
<b>施策5 地域の防犯力の向上</b>						
(1) 防犯パトロールに協力し、町内会等と情報を共有している	1	2	3	4	5	6
(2) 防犯灯等、安全安心な生活に直結する設備の必要な箇所を把握している	1	2	3	4	5	6
(3) 地域と連携し特殊詐欺や悪質商法に関して注意喚起を行っている	1	2	3	4	5	6
<b>施策6 地域の防災力の向上</b>						
(1) ひとり暮らし高齢者等、災害時に支援が必要な人を把握している	1	2	3	4	5	6
(2) 町内会や自主防災組織等と連携した避難訓練等を行っている	1	2	3	4	5	6
(3) 災害発生時に備え、避難所等の運営への協力や備蓄等について検討している	1	2	3	4	5	6
(4) 災害等に備え、避難所や避難経路などを記載した地図や避難計画を作成している	1	2	3	4	5	6
(5) 福祉避難所としての協力、支援をしている	1	2	3	4	5	6
<b>施策7 地域活動の保全と交流の促進</b>						
(1) 関係づくりのきっかけとなる場の情報を地域に発信している	1	2	3	4	5	6
(2) 活動を通じて、困りごとを抱えている市民や支援の必要な家庭などの把握に努めている	1	2	3	4	5	6
(3) 地域の担い手として、活動に参加し、交流を深めている	1	2	3	4	5	6

【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

項目	取り組み状況					
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	ほとんど取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	対象となる活動は行っていない
<b>施策8 健やかであるための生活習慣づくり</b>						
(1) 健康相談や健康教室等の相談窓口の情報を積極的に発信している	1	2	3	4	5	6
(2) 関係機関とのネットワークを構築している	1	2	3	4	5	6
(3) 多職種による総合相談会を開催している	1	2	3	4	5	6
<b>施策9 健康寿命を延ばす取り組み</b>						
(1) 高齢者に対して、体操や機能訓練の継続を支援している	1	2	3	4	5	6
(2) 老人クラブへの積極的な参加を促し、イベントを支援している	1	2	3	4	5	6
(3) 高齢者の見守り活動に協力している	1	2	3	4	5	6
<b>施策10 生きがいのある生活への支援</b>						
(1) 福祉に関するネットワーク会議を計画し、団体同士の情報共有を図っている	1	2	3	4	5	6
(2) 保護者同士の情報交換を促進し、育児不安の解消に協力している	1	2	3	4	5	6
(3) 男女共同参画の推進を図っている	1	2	3	4	5	6
(4) 妊娠～子育て期を安心して過ごせるよう、関係機関と連携をとりサポートしている	1	2	3	4	5	6
(5) シルバー人材センター事業等において、高齢者の活躍の場の充実を図っている	1	2	3	4	5	6
(6) 町内会や地域と連携し情報収集に努め、必要な情報やサービス提供につなげている	1	2	3	4	5	6
<b>施策11 就労と社会的自立の支援</b>						
(1) 業種を越えて、就職活動の支援体制を構築している	1	2	3	4	5	6
(2) 事業者は法律を遵守して、高齢者や障がい者等の就労支援に努めている	1	2	3	4	5	6

【基本目標4 ゆりかご前から安心できる仕組みづくり】

項目	取り組み状況					
	取り組んでいる	取り組んでいる	どこかやまもこなしている	あまり取り組んでいる	取り組んでいない	対象となる活動は行ってない
<b>施策12 総合的な相談機能の整備</b>						
(1) 地域の身近な相談窓口として、民生委員等と連携して充実を図っている	1	2	3	4	5	6
(2) 相談窓口間の連携を図り、適切なサービスや支援へつないでいる	1	2	3	4	5	6
(3) 高齢者や障がい者に、介護支援専門員や生活相談員が相談支援することを周知している	1	2	3	4	5	6
<b>施策13 福祉・医療サービスの適切な利用推進</b>						
(1) 利用者がサービスを選択するために必要な情報を発信、提供している	1	2	3	4	5	6
(2) 市内の福祉・医療サービスについて周知を図り、新たな支援につなげている	1	2	3	4	5	6
(3) 利用者ニーズや満足度の調査などを行い、サービスの向上に努めている	1	2	3	4	5	6
(4) サービス向上のために、研修会等に参加している	1	2	3	4	5	6
(5) 利用者家族や地域住民との交流機会を設け、開かれた事業運営に努めている	1	2	3	4	5	6
<b>施策14 権利擁護と見守りの体制</b>						
(1) 権利擁護について周知を図り、利用者に不利益を生じないように配慮している	1	2	3	4	5	6
(2) 成年後見制度や市民後見人について研修等に参加している	1	2	3	4	5	6

【基本目標5 安心のあるまちづくり】

項目	取り組み状況					
	取り組んでいる	取り組んでいる	どこかやまもこなしている	あまり取り組んでいる	取り組んでいない	対象となる活動は行ってない
<b>施策15 暮らしやすいまちづくり</b>						
(1) 道路の清掃や除雪など、通行障害の解消を図っている	1	2	3	4	5	6
(2) 空き家を活用した地域拠点の形成など、地域での有効活用について検討している	1	2	3	4	5	6
(3) 地域行事やイベント等を通じて、若い世代が愛着の持てる地域づくりを推進している	1	2	3	4	5	6



## V 今後の福祉のあり方

問21 おつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

### ア 保健医療関係 (1つに○)

1. 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実
2. 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実
3. 医療機関の診療科の充実
4. この分野には関心がない
5. わからない

### イ 高齢者・障がい者 (1つに○)

6. 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実
7. 高齢者福祉施設（老人ホーム等）の充実
8. 障がい者福祉施設（入所、通所施設等）の充実
9. 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実
10. 虐待防止活動や成年後見人制度の活用促進
11. この分野には関心がない
12. わからない

### ウ 生活困窮関係 (1つに○)

13. 安定した収入が得られる就労先を増やすこと
14. 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実
15. 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活で必要なもののリユース※支援
16. 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり
17. 困難に直面している方（就職難、ひきこもりなど）への支援の充実
18. この分野には関心がない
19. わからない

### エ 子育て関係 (1つに○)

20. 妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実
21. 保育園、幼稚園やこども園の充実
22. 子育てに必要な費用の支援
23. 虐待防止活動や子どもの権利擁護
24. この分野には関心がない
25. わからない

※「リユース」…自身でくり返し使うことだけでなく、自分が使わなくなっても、未だ使えるものを捨ててしまう前に寄付などすることで、必要な人のもとで再利用されることです。

オ 教育関係 (1つに○)

- 26. 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成
- 27. 小中高生への学習支援による教育の充実
- 28. 大学や専門教育機関の充実
- 29. 就学費用の支援の充実
- 30. この分野には関心がない
- 31. わからない

カ 地域活動関係 (1つに○)

- 32. 町内会の活動を推進する人材の確保
- 33. 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める
- 34. 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所（サロン）の充実
- 35. 地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動
- 36. この分野には関心がない
- 37. わからない

キ 環境関係 (1つに○)

- 38. ゴミの分別収集全般の充実
- 39. 資源のリサイクル活動の充実
- 40. 空き家への安全対策の充実
- 41. ごみ屋敷問題の解消
- 42. この分野には関心がない
- 43. わからない

ク 防災・防犯関係 (1つに○)

- 44. 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実
- 45. 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実
- 46. 地域と警察との連携による防犯活動の充実
- 47. この分野には関心がない
- 48. わからない

ケ まちづくり関係・交通関係・その他 (1つに○)

- 49. コンパクトシティ（都市計画）に関する情報の充実
- 50. ジオパーク※活動の推進
- 51. 公共交通の利便性の向上
- 52. 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良
- 53. 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実
- 54. 性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別解消
- 55. この分野には関心がない
- 56. わからない

※「ジオパーク」…世界各地に多く存在する特徴的な大地や地質の資源を守り、研究するとともに、学習の場や観光資源として整備し、活用していく活動です。

問 22 問 21 のア～ケで選んだ番号の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選び下表に番号で記入して、御意見・御要望がありましたら自由に記入してください。

1 位	2 位	3 位
(記入例) 3	52	20

問 21 で選んだ番号：

	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--	--

問 21 で選んだ番号：

	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--	--

問 21 で選んだ番号：

	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--	--

以上で質問は終わりです。  
御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**7月9日（金）**までに御投函ください。



むつ市地域福祉計画施策中間評価に関する  
アンケート調査報告書  
(町内会・団体)

令和4年3月発行

発行者 むつ市福祉部福祉政策課

〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号

電話：0175-22-1111 FAX：0175-22-5044

ホームページ：<http://www.city.mutsu.lg.jp/>